

創造力、実践力。

UNIVERSITY OF FUKUI



福井大学だからこそ できる経験が たくさんあります。



入学式



大学祭 (文京キャンパス)



北陸地区国立大学体育大会



キャンパスイルミネーション



学位記ならびに修了証書授与式

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式 新入生オリエンテーション 定期健康診断 (教育地域科学部、工学部) 前期授業開始 新入生合宿研修 (教育地域科学部の一部、工学部) 留学生オリエンテーション	大学祭(文京キャンパス) 新入生合宿研修(医学部) 定期健康診断(医学部) 御遺骨返還式(医学部)	小学校、中学校教育実習	北陸地区国立大学体育大会 西日本医科学生総合体育大会 前期試験	夏季休業 オープンキャンパス インターンシップ	サークルリーダーシップ トレーニング 小学校、中学校教育実習	開学記念日 きてみてフェア2012 後期授業開始 医学部晩祭(松岡キャンパス) 北陸三県大学学生交歓芸術祭 合同慰霊祭(医学部) 留学生オリエンテーション 就職ガイダンス		キャンパスイルミネーション (文京キャンパス、松岡キャンパス) 冬季休業		後期試験 春季休業(2月上旬~) 医師国家試験 看護師・保健師・助産師国家試験 学内合同企業説明会	学位記ならびに 修了証書授与式



理念

福井大学は、学術と文化の拠点として、
高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための
科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、
地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、
独創的かつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、
先端科学技術研究及び医学研究を行い、
専門医療を実践することを目的とします。

長期目標

福井大学は、21世紀のグローバル社会において、
高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成します。

福井大学は、教員一人ひとりの創造的な研究を尊重すると共に、
本学の地域性等に立脚した研究拠点を育成し、
特色ある研究で世界的に優れた成果を発信します。

福井大学は、優れた教育、研究、医療を通して
地域発展をリードし、豊かな社会づくりに貢献します。

福井大学は、ここで学び、働く人々が誇りと希望を持って
積極的に活動するために必要な組織・体制を構築し、
社会から頼りにされる元気な大学になります。

学長メッセージ

全国トップレベルの教育で 自信と誇りを持った人材の育成を

現代はアジア近隣諸国との連携をはじめ、グローバル化が急速に進んでいます。異なる言語や文化を持つ世界の人々とのコミュニケーションの必要性から、我が福井大学では国際言語である英語の習得はもちろんのこと、異種文化を受け入れる寛容な精神、活動のベースとなる知識力、問題に取り組む際に不可欠な解決力、そして困難に立ち向かうための突破力の育成を重視しております。実践教育に重点を置き、教育地域科学部では子どもや地域の人たちと交流するカリキュラムを中心に、さまざまな教育や地域の問題に対処できる人材を育てます。医学部では医療現場での実習内容を充実させ、工学部では高度専門技術者を育成し、それぞれの学部で社会にいち早く貢献できる人材を送り出しています。

それらの教育活動が評価され、文部科学省が公表する基準による評価ランキングでは全国86校の国立大学で第7位。就職率は、すべての国公私立大学の中で第1位*（国立大学では4年連続第1位*）を獲得することができました。さらに、就職後の3年以内での離職率は8%と全国的にみて非常に低水準で推移しております。就職支援室や就職委員のきめ細やかなバックアップにより、意欲にあふれた学生たちと企業とがマッチングできている成果が数字にもよく表れています。地元企業や社会からの信頼を積み重ね、取り組みの一つひとつが期待される大学であると自負しております。

学生たちが自ら自信と誇りを持てる充実した学びの環境を整備し、福井大学で良かったと学生に思ってもらえる大学づくりを行ってまいりました。福井大学で輝く学生時代を送り、夢の実現を目指しましょう。

学長 福田 優

*サンデー毎日2011年7月24日号「就職特集第1弾 全国240大学 就職率ランキング」より

学長インタビューの
動画が
ここで見れます



Contents

UNIVERSITY OF FUKUI

- 5 理念・長期目標
- 6 学長メッセージ
- 7 目次
- 8 社会から頼りにされる、元気な大学を目指した取り組み
- 12 各学部・大学院の構成

教育地域科学部

- 14 特集「地域社会との協働で磨くそれぞれの専門性」
- 17 学部の特色
- 18 学校教育課程
- 23 地域科学課程
- 28 附属教育実践総合センター
附属地域共生プロジェクトセンター
総合自然教育センター
附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校
- 29 大学院教育学研究科
- 30 卒業生メッセージ

医学部

- 32 特集「医療の原点は患者さんから学ぶ」
- 34 Topics「画像を使った医学教育」
- 35 学部の特色
- 36 医学科
- 39 看護学科
- 42 附属病院
- 45 大学院医学系研究科
- 46 卒業生メッセージ

工学部

- 48 特集「夢中になれる、何かに出会う、創成教育プログラム」
- 51 学部の特色
- 52 機械工学科
- 53 電気・電子工学科
- 54 情報・メディア工学科
- 55 建築建設工学科
- 56 材料開発工学科
- 57 生物応用化学科
- 58 物理工学科
- 59 知能システム工学科
- 60 先端科学技術育成センター
- 61 大学院工学研究科
- 62 卒業生メッセージ

CAMPUS LIFE

- 64 部・サークル紹介
- 66 文京キャンパスマップ
松岡キャンパスマップ
- 70 総合図書館／医学図書館／語学センター
- 73 学生生活サポート
- 76 就職サポート
- 79 Pick Up 福大生
- 80 産学官連携本部／学内共同教育研究施設等
- 83 国際交流
- 84 入試情報
- 86 福井大学をもっと知りたい方へ
福井ってどんなところ？
- 87 アクセス

※本誌に掲載されている方の所属・学年等は取材時のものです。

社会から頼りにされる、 元気な大学を目指した取り組み

福井大学では社会から頼りにされる、元気な大学を目指して、人材育成や研究の分野で数多くの取り組みを行っています。文部科学省からの高い評価、世界をリードする高度な研究など、たくさんの実績を積み上げてきました。これまでの実績とその取り組みを紹介します。

[総合評価]

福井大学の教育、研究、社会連携、
国際交流、業務運営が高い評価を獲得

全国86国立大学の中で

地方総合大学
では
No.1

総合7位

項目別評価点

	教育	研究	達成状況	業務運営	総合評価
福井大学	8.58	3.50	4.00	6.00	56.24
86大学平均	6.14	2.80	3.49	5.93	45.65

※第1期中期目標期間(平成16~21年度)の教育研究活動状況についての評価順位。
第2期は平成22~27年度。

国立大学法人評価委員会(文部科学省)が
公表する基準による評価ランキング

順位	大学名
1	奈良先端科学技術大学院大学
2	滋賀医科大学
3	浜松医科大学
4	お茶の水女子大学
5	東京工業大学
6	東京大学
7	福井大学
8	東京外国語大学
9	東京医科歯科大学
10	京都大学

就職率は国立大学1位

■複数学部を有する国立大学では

4年連続1位

平成19年度 **95.3%** 平成21年度 **94.3%**
平成20年度 **97.2%** 平成22年度 **94.7%**

詳しくはP76へ

■卒業生が1,000人以上の大学(平成22年度実績)

就職率 **94.7%** は、

国立大学 **1位**
全ての国公立大学の中で **1位**

[人を育てる]

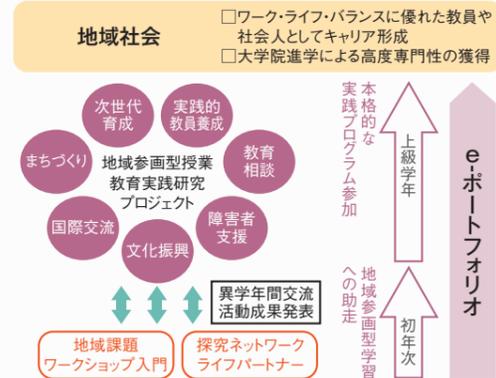
世代間交流と地域参画活動による 就業力の育成

■地域参画型の授業や実践教育を通じた
職業的・社会的自立能力の育成

- 初年次から上級学年までさまざまな実践的なプログラムを実施する
 - ・地域で活動する人たちが子どもたちと触れ合う
 - ・学校や地域のさまざまな課題を体験的に学び、理解する
 - ・学生と一緒に考え、行動し、自ら企画し運営する

■e-ポートフォリオの活用

- 個人の学びや就業力形成のプロセスを把握し、学習支援や就業支援に活用



高度な臨床能力を備えた 医療人の育成

■世界をリードする画像を使った医学教育

CT、MR、PET等の画像診断が格段に進展する一方、医学教育での「診断」に関する教育は大きな改革がなされず、求められる知識、経験と教育のギャップが顕在化しました。

この現状打破のために人体解剖画像、病理組織画像に加え、先進臨床画像や分子イメージング画像を統合した双方向対話型先進画像システムを導入しました。

現代医学と医学教育とのギャップを一挙に解消する世界でも例を見ない革新的な医学教育を実施しています。



■看護キャリアアップセンターでのキャリア支援

高度に専門化する医療のニーズに応えるために、より質の高い看護ケアを提供できる看護師を育成します。看護職のキャリアアップを支援し、附属病院とともに多面的な視野で実践研究に取り組み、看護学における教育や研究活動を地域社会に還元しています。



実践的能力を備えた技術者の養成

■充実した学士力を身につける初年次教育プログラム

- グループワークでジェネリックスキル(汎用的能力)向上
- JIBUNポートフォリオで自己教育・就職活動レポート
- 先輩セミナーにより職業観を形成・勉学意欲高揚
- 補習授業により基礎学力を定着
- 複合型高大連携で専門科目へ滑らかに接続

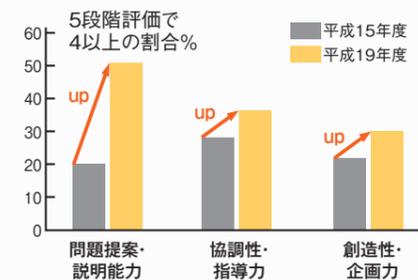
■夢をかたちにする技術者養成プログラム

- 学科や学年を超えた学生主体の創成活動

〈育成される能力〉
広い視野と創造力/自分で課題を発見・解決する力/
企画・提案・説明する力/協調する力

就職先企業からも高く評価

就職先企業に対するアンケート調査(78社)



[魅力ある研究]

地域の特性を活かした世界的水準の研究を展開

■附属国際原子力工学研究所

- 原子力研究のより一層の充実、また原子力発電所立地地域の安全・防災危機管理の向上に努めるため、部門を再編
- 「研究」「人材育成」「連携・拠点化」をキーワードに地域のポテンシャルを活かした活動を展開し、日本及び世界の原子力の安全・安心への貢献を目指す



平成24年3月に移転・教養キャンパス開所

■高エネルギー医学研究センター

- 医学、薬学、工学を融合し、生体画像診断、分子イメージング、新薬研究、高次脳機能研究等を通じて医療の向上と社会貢献を目指す

🏆 第1回福井県科学学術大賞受賞 (平成18年2月7日)

■遠赤外領域開発研究センター

- 電磁波の中で未開拓領域である“遠赤外領域”の電磁波発生器「ジャイロトロン」を独自開発

🏆 第6回福井県科学学術大賞受賞 (平成23年2月7日)

- 世界最高記録を10年以上維持。世界で唯一の研究・開発を展開



「ジャイロトロン」

■大学院工学研究科

- 次世代高効率太陽電池の研究開発
- 液体窒素冷却高温超電導モータの開発 🏆 第4回福井県科学学術大賞受賞 (平成21年2月7日)
- リチウムイオン電池の開発 🏆 第5回福井県科学学術大賞受賞 (平成22年2月7日)
- 宇宙太陽光エネルギー利用レーザーの開発 ○未来の新しい電力ネットワーク
- レアメタル回収を可能にする繊維の高次加工技術の研究開発
株式会社クラレとの共同研究で、水に溶けたレアメタルを回収できる不織布を開発

■医学部

- 薬品と結びついて効果を発揮する細胞の「受容体」の研究
尿道を制御する新たな受容体を発見。排尿障害の新薬開発が進み新薬開発に貢献
🏆 第7回福井県科学学術大賞 (平成24年2月7日)
- 細胞膜のたんぱく質分子「イオンチャネル」の研究
イオンが細胞膜を通過する際、水分子と交互に通過していることを世界で初めて発見
🏆 平成24年度文部科学大臣表彰を受賞 (平成24年4月9日)

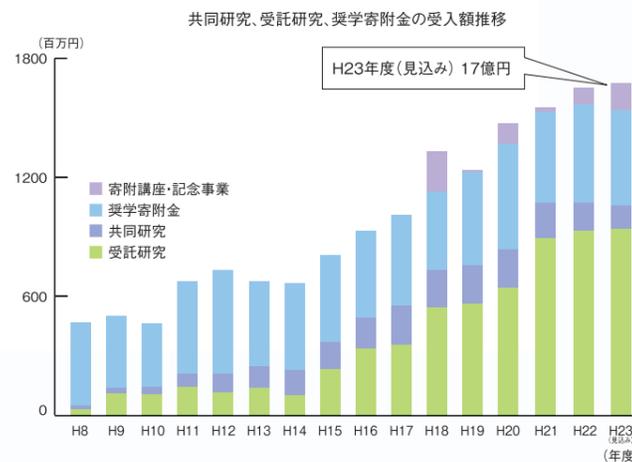
「福井方式」による 地元産業界との連携

■地元産業界との

“福井方式”による産学官連携・共同研究プロジェクトを推進

“福井方式”とは

大学とふくい産業支援センターが緊密に連携し、責任企業を決めて事業化までつなげることをいいます。



[質の高い医療]

最高・最新の医療を安心と信頼のもとで提供

■県内で唯一の特定機能病院として先進医療と高度医療を提供

「最後の砦」として最重症疾患の患者さんを受入

■大学病院初の北米型 (ER) 救急体制

一次救急から三次救急まで、全ての患者のニーズに応じた救急医療を実践するため、365日24時間の受入態勢を確立

■平成23年4月より全病棟でパートナーシップ・ナーシング・システムを実施

入院患者1人に対し看護師2人が担当する独自制度により、安心・安全性が向上し、より質の高い看護を提供

■平成23年8月開設、周産期母子医療センター (NICU)

産科・小児科医師の連携により、リスクの高い妊婦や新生児を受け入れ

■先端医療画像センター 最新の3テスラMRI 装置やPET-CT 装置を運用し、専門ドック(腫瘍ドック、脳ドック)を実施

■治験・先進医療センター 新しい治療法や薬剤の使用法の取組を実践展開

■臨床教育研修センター 研修医・新人看護師等、次代を担う医療人の育成拠点

地域医療の担い手の育成

■全国でも新しい取組である総合診療と救急の統合部門での研修による「救急に強い総合医養成」

- 病気からケガまであらゆる症状の患者を診断し、治療する救急外来
- あらゆる疾患を診療できる“総合医”の育成
- 指導医が常駐する地域診療所での研修

■医師は地域が育て、守る「地域プライマリケア講座 (福井県高浜町からの寄附講座)」

福井県の和田診療所、高浜病院にて学生や研修医教育を通じて地域医療再生の鍵となる家庭医・総合医を育成

■緊急被ばく医療に強い救急総合診療医



「健康長寿ふくい」のために

■福井県からの寄附講座「地域医療推進講座」を設置

研修医にとって魅力のある研修システムを考え、医師が不足している地域へ新たな派遣システムを構築するための取組みを行っています。

■医師派遣

福井県内唯一の医学部として、県内を中心に162の医療機関に医師を派遣

■産婦人科医が不足している地域の分娩を支援

分娩できる病院のない自治体のための設備を整備し、分娩を受け入れ、自治体から大学へ寄付の条件を緩和する法改正につなげるモデルケースになることを目指します。

■へき地医療への支援

テレビ会議システム、遠隔病理診断および遠隔画像診断により、へき地医療を支援しています。

各学部・大学院の構成



Q.
あなたが人や地域に
できることって
何だろう？

教育地域科学部

FACULTY OF EDUCATION AND REGIONAL STUDIES

- 学校教育課程
- 地域科学課程

地域になくてはならない人を育てる

実践的力量のある学校教員の養成、
地域の創造と発展に貢献できる人材の養成を目的とし、
教育科学や地域科学の学際的総合的な研究成果によって
広く社会の発展に寄与することを使命とします。



【特集／インタビュー】

地域社会との協働で磨くそれぞれの専門性

教育地域科学部には、学校教育と地域社会を支えるための活動を学ぶプログラムがあります。子どもたちや地域の人たちとの触れ合いのなかで、社会に求められることを理解し、実践力を身につけます。

地域の子どもの学習活動を支援する

探求ネットワーク

テーマごとに9つのブロックに分かれ、学生と子どもたちが協働してプロジェクトを練り上げます。子どもたちの興味を引き出しながら、継続的な活動を行っています。

Q.あなたが人や地域にできることって何だろう？

A. 活動を継続し、経験を伝え、子どもたちの学習活動を支援する

○子どもとの触れ合いから気づいたこと

探求ネットワークでは、子どもたちの興味を引き出すための新しい“学び”の活動を行っています。私が所属する「ふれあいフレンドクラブ(FFC)」は、福井大学教育地域科学部附属特別支援学校の子どもたちと一緒にさまざまな遊びを考え、一緒に活動し、子どもとのコミュニケーションを深めています。学生がそれぞれ子どもを担当するのですが、最初は子どもたちになかなか受け入れてもらえず、とまどうことばかりでした。子どもと同じ目線で接した時に、子どもとの距離が近くなったと感じた瞬間があり、じつりと時間を

かけて、子どもと向き合い、子どもと同じように楽しむ気持ちを持つことが大切なんだと気づきました。

○活動を続ける上で大切なこと

FFCでは、みんなで互いに協力し合いながら活動を創り上げていきます。長期間で活動をするには、やりっ放しにしないことが重要です。気づかなかった新たな視点を見つけるためには、継続する意味を問い直して、自分の経験を他の人に伝えることが大切。子どもも学生スタッフも発表する場を設けて、自分自身の体験を言葉で発信することで考える力がつくのだと思います。

「ふれあいフレンドクラブ」活動のポイント

●一緒に歌う

「はじまりのうた」で活動を開始、「おわりのうた」で解散します。手をつないで円になって、みんなで一緒に歌います。



●協働で学び合う

実践をやりっぱなしにするのではなく、活動ごとに報告書を持ち寄り、省察を行います。年間の活動が終わると、大きな展望での省察や、教職大学院でのラウンドテーブルで報告を行います。



●学生メンバーが一致団結

学生メンバーはみんな仲良し。互いに悩みを話し合ったり、活動方法を模索したり、仲間との絆がどんどん深まります。



よし なお
加藤儀直さん

学校教育課程
3年次
(現・4年次)

福井大学

子どもの学校生活をサポートする

ライフパートナー

教員免許資格取得を目指す学生が2年次から4年次で受講。週1回、学校になじめない子どもの学習支援・心理的支援を行います。

Q.あなたが人や地域にできることって何だろう？

A. その子のために何ができるかを考え、子どもの学校生活をサポートする

○子どもとの触れ合いから気づいたこと

ライフパートナーとしての活動は2年目です。学級のちょっと気がかりな子を担当させてもらっています。子どもにとって、先生でも友達でもない、大学生という立場でどう接すればいいのかわからない時もありました。それでも子どもたちと長期に渡って、継続的に関わることで先生には見せない一面を見せてくれるようになったり、子どもから話しかけてくれるようになります。子どものちょっとした変化に気づくためには、子どもの心に寄りそうことが重要なのだと思います。

○活動を通して身につけたこと

この活動では、学生同士で班を作り活動状況や悩みごとを報告したり、互いにサポートして、情報を共有しています。他の人の経験からも得るものは大きく、悩んでいる時には勇気づけられます。子どもたちにすごく近い場所で、1人ひとりを見てあげられるこの貴重な経験から、次の活動までにこんなことがやりたいと計画を立てたり、継続するために何が必要かを積極的に考えたり、向上心が持てるようになりました。その子のために何ができるだろうと考えることも、子どもたちとの関わりのなかで身についたのだと思います。

活動のポイント



●活動の報告会

難しいケースにとまどったり、悩んだ時に助けになる報告会。同じような問題を抱えた学生同士で解決策を考え、互いの経験を共有します。



ゆり
西見悠里さん

学校教育課程
3年次
(現・4年次)

Topics

大学から飛び出して、地域を学ぶ

大学を飛び出して地域で活動するさまざまなプロジェクトがあります。地域の人たちと話し合うことで、地域での問題や地域が必要とされていることを見つけ、それを解決する力を身につけます。

File.1 自由な発想で街を元気にするプロジェクト

Q.あなたが人や地域にできることって何だろう？

A. 地域の方の熱意を市民のみなさんに伝えることで、地域の活性化に貢献

○活動内容を教えてください

Enjoy MyTown Project(EMP)は「福井駅周辺の活性化を目指す」をコンセプトに、2年前に発足しました。学生の自由な発想で、街づくりを考える活動を行っています。昨年は学生を対象に、おしゃれなカフェや雑貨屋さんを回る「乙女ツアー」、ギャラリーなどの個展スペースを巡る「芸術ツアー」などを主催しました。ツイッターやブログを使って情報を発信したり、フリーペーパーを発行するなどの広報活動もしました。

○活動を通して気づいたこと、身についたこと

地域のみなさんとの交流を通して、現実起こっている問題にどう取り組むかを考える貴重な機会をいただきました。取材先では、駅前を活性化させたいという熱意のある人たちに出会い、そのお手伝いができるのがとても楽しかったです。活動中はEMPのメンバー同士で頻りに意見交換を行いますので、最初はあまり話さなかった人がどんどん自分

から地域の人に話しかけて積極的になっていることも。互いに良い刺激を受け合っているのだと思います。

入学した時には、将来どんな職業に就きたいのかわかりませんでした。EMPに参加したことで、やりたい仕事が具体的になってきました。地域の方の熱意を伝えるなどの活動を通して、地域の活性化に貢献できればと思います。



約10名が参加した「まち歩きツアーin福井駅前」



ワークショップ形式で行うプロジェクト会議

武田絵理さん

地域科学課程
3年次
(現・4年次)



岸下めぐみさん

学校教育課程
4年次
(現・教育学研究科1年)

File.2 E&Cギャラリーで企画展を主催

Q.あなたが人や地域にできることって何だろう？

A. 地域の人たちが気軽に立ち寄れる、身近なギャラリーを運営

○活動内容と参加のきっかけを教えてください

大学で学芸員の資格を取得したいと思っています。実際にキュレーター(学芸員)がどのようなことをするのかを知りたくて、福井駅前にあるE&Cギャラリーの活動に学生スタッフとして参加しています。学生キュレーターは6名で、主に作品の搬入や搬出、チラシやニュースレターなどの制作を行っています。直接、作家さんからお話をうかがったり、作品に触れる機会が多くなったことで、展覧会を企画する意味についても考えるようになりましたし、視野が広がったと思います。

○活動を通して身についたこと

年間約10本の企画展に関わっていますが、そのうち作家さんの選定や依頼など最初から学生が中心となって取り組む企画展は2本だけです。それでも忙しくて大変で、職業にされている方の苦勞が少し想像で

きました。出品の交渉から開催までのスケジュールリング、作品の扱い方など、さまざまなことが学べましたし、美術館やギャラリーは敷居が高いと思われる方に、気軽に足を運べる身近なギャラリーとしてE&Cギャラリーの存在があればいいなと思います。将来は、展覧会や空間作りを考える仕事がしたいと思います。



作品の取り扱いには丁寧に慎重に行います



展示スペース全体のバランスを考えることも重要

地域とのつながりから人に優しい社会を実現

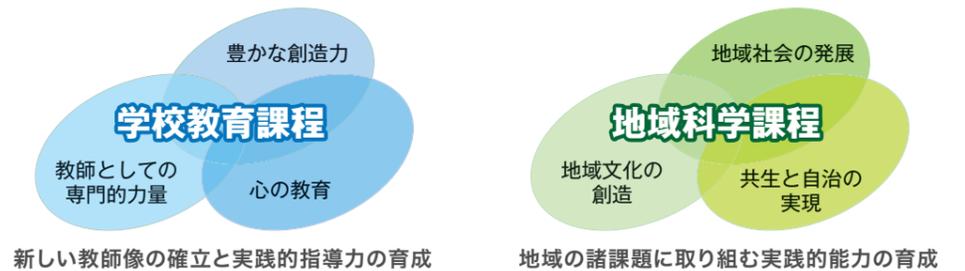
【学部の特徴】

教育地域科学部の大きな特徴として、文部科学省の優れた活動事業に選ばれた「探求ネットワーク」と「ライフパートナー」、さらに「地域課題ワークショップ」があります。一つのテーマを追求する「探求ネットワーク」と不登校の子どもたちに学生が対応する「ライフパートナー」。また、地域の諸問題を調査分析することを通じてプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を養う「地域課題ワークショップ」。このようなプログラムを通して、実践力の育成に力を入れています。

21世紀は知識基盤社会といわれています。この時代を担う子どもたちの教育と地域の創造は、これからの活動にかかっています。教育地域科学部では、人と人とのつながりを大切に、人に優しい社会を実現できる人材を育てます。「地域コミュニティに Outreach、人々と協働しながら、専門性を培う」ことを第一に考え、地域のさまざまな課題を探求し、学校教育や地域社会を支えます。

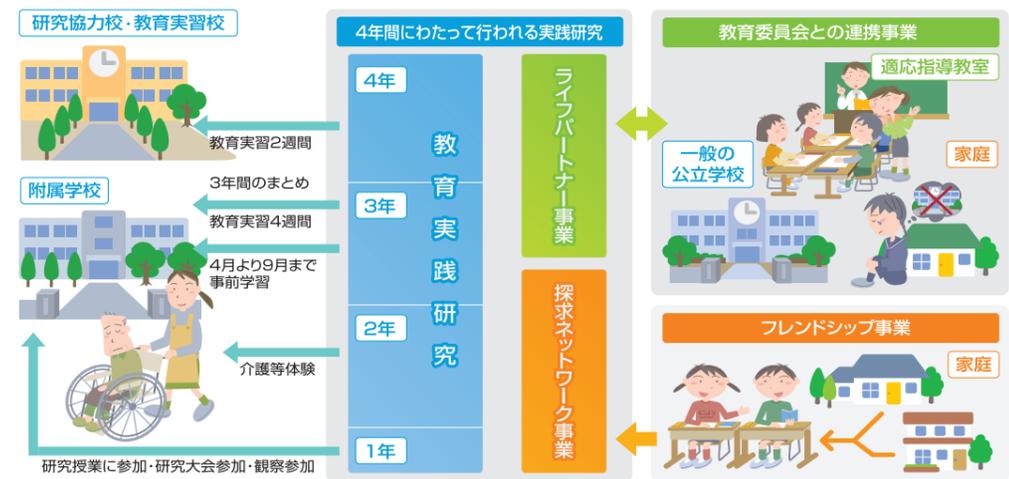
平成24年度からは、学校教育課程と地域科学課程を横断した特別プログラム「コミュニティ・学校支援研究」を開設して、互いの特色ある科目を系統的に学べるカリキュラムを用意し、学校教育と地域科学の双方の専門性を身につけた教員や職業人の育成に取り組んでいます。

2つの課程それぞれのテーマ



地域社会と協働したカリキュラム

学校教育課程の「探求ネットワーク」「ライフパートナー」



地域科学課程の「地域課題ワークショップ」

- I: 入門 (1年) グループによる課題探求体験
- II: 基礎 (1~2年) 問題発見的アプローチ
- III: 応用 (2~3年) 実践的・分析的アプローチ
- IV: 総合 (3~4年) 個人での探究結果発表と全体での省察

学校教育課程

地域と連携して教育環境を組織する 新しい教員像を確立



附属小中学校をはじめ県内の17校が教育実習を受け入れています

学校教育の課題に、柔軟に対応する能力の習得

学校教育は多くの課題を抱え、そのあり方が問い直されています。本当の学びを欲している子どもたちの期待にいかに応えるか、多様な個性や豊かな創造力を持った子どもたちをどう育むか、また、そのための学校作りや授業作りはいかにあるべきかなど。こうした課題に対処できる教員の養成が目標です。

教科に関わる「言語教育」「理数教育」「芸術・保健体育教育」「生活科学教育」「社会系教育」と、子どもたちの発達と教育に直接関わる

「教育実践科学」「臨床教育科学」「障害児教育」の計8コースを設置しています。

また、専門教科の学習に加えて、小中学校9年間を見通したカリキュラムの編成能力を習得し、「いじめ」「不登校」「科学技術離れ」など、今日の学校が直面している問題にも取り組みます。学校教育が抱える課題の社会的背景を理解し、問題解決のための探究を通して、教員に必要な資質を形成します。

地域と連携した実践研究で子どもとの関わりを考える

教員に求められる基本的なスキルとは、子どもとの関わりを振り返り、最新の情報を参考にしつつ、新たな関わりを創造していく力です。もちろん専門教科の習得も必要不可欠です。子どもとの関わり合いと学問の体系は、切り離すのではなく並行して探求することが求められています。そこで、「専門性を活かした実践力の養成」を理念に掲げ、カリキュラムには専門的学習に加え、多くの実践研究を設けています。実践研究の重視は大きな特徴の一つです。

また、地域との連携に特化したカリキュラムを実現。平成15年度には文部科学省がサポートする特色GP(特色ある大学教育支援プログラム)に採択されました。教員養成系の学部をもつ全国の大学の中で、教員養成をテーマにしたプログラムでは唯一です。特色GPは、優秀な教育を実践する大学を国が指定し、他大学のモデルとして選ばれます。地域と協働した教育内容が全国的に認められた結果といえます。



子どもたちとの関わり合いの中で学生自身が成長することができます

文部科学省に認められた実践教育プログラム

探求ネットワーク

学生が地域の子どもたちと関わり、子どもたちの主体的な学習活動を支援するプログラムです。学生と子どもたちが、人形劇、料理、歴史などをテーマにプロジェクトを協働して練り上げていきます。各プロジェクトの集大成は、12月の「なかまつり」で保護者や仲間を招いて発表します。参加した子どもたちの中には「大学生になってもう一度体験したい」との感想もあり、実際にスタッフとなった事例もあります。学生は毎週会議を開いて準備やミニコミ誌の発行を行い、他大学を招いた公開討論などで発表しています。活動への参加人数も多く、全国的にも注目されている取り組みです。

ライフパートナー

不登校の子どもたちや、一斉授業になじめない子どもたちへのサポートを目的に、行政と本学が協働して始めた取り組みです。実際に学校や家庭に出向き、不登校の子どもたちとともに活動し学習サポートも行います。学生は担当教員と相談しながら、子どもたちとの関係を深めていきます。児童生徒の年齢に近い、学生だからこそできる活動ともいえます。

「ライフパートナー」は、「学校教育相談研究I~IV」の講義内で行われる学生の実践活動です。授業の一部であるため、さまざまな課題への取り組みや自主研究も求められます。

教材開発に取り組み、教員養成のあり方を考える

今年で7年目を迎える「教育内容・教材開発研究会」は、教材の考案、開発、提案を目的とした活動です。さまざまな人材に恵まれた学部の特徴を活かし、教育内容・教材開発をキーワードにした取り組みで、教員養成のあり方について検討するユニークな研究会です。

月例のセミナーでは異なる専門研究者が、それぞれの教育や研究における創意工夫を聞き、活発な意見交換を行います。そのほかにも

小・中・高等学校の教員、および本学の学生を対象とした年1度のワークショップ、講演会(例年2月頃)なども開催しています。平成22年度のワークショップは、「言語活動の充実にとどのように取り組むか」をテーマに開催しました。教材開発を社会に提案する目的も持っており、若い感性を持つ学生や大学院生にも積極的に参加してもらいながら教材の完成度を高めています。



シンポジウムやワークショップには学生や院生も積極的に参加します

取得できる資格

学校教育課程で取得可能な教員免許状一覧

コース名	サブコース名	小学校一種 または二種	中学校一種 または二種	高等学校一種	特別支援学校一種 または二種	幼稚園一種 または二種
言語教育	国語教育	○	○(国語)	△(国語、書道)	△	△
	英語教育	○	○(英語)	△(英語)		
理数教育	数学教育	○	○(数学)	△(数学)	△	△
	理科教育	○	○(理科)	△(理科)		
芸術・保健体育 教育	音楽教育	○	○(音楽)	△(音楽)		
	美術教育	○	○(美術)	△(美術、工芸)	△	△
	保健体育	○	○(保健体育)△(保健)	△(保健体育、保健)		
生活科学教育	技術科教育	○	○(技術)	△(工業)	△	△
	家庭科教育	○	○(家庭)	△(家庭)		
社会系教育		○	○(社会)	△(地理歴史) △(公民)	△	△
教育実践科学		△	※	※	△	△
臨床教育科学		△	※	※	△	△
障害児教育		○	※	※	○	△

○=卒業要件となっている免許です。 △=必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。 ※=希望する免許の教科を選択して必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

小中学校の教員を包括的に養成する8つのコース

関わりの深い複数の教科をまとめたコースでの専門教科の学習に加えて、小中学校9年間を見通したカリキュラムの編成能力のある教員を養成します。

言語教育コース

国語や英語に強い小学校教員、小学校にも詳しい国語科・英語科の中学校および高等学校教員を育成。言語教育に深い理解力のある教員を育てます。国語と英語、2つの領域の知識や方法を共有します。



理数教育コース

自然現象を研究する理科では、数学を基礎とした考え方は不可欠です。そして数学は人間が自然から抽象した形式や概念です。理科や数学の専門的な知識を幅広く持つ教員を育てます。



芸術・保健体育教育コース

音楽科、美術科、保健体育科に強い教員の養成が目標。人間の心と体を使って行われる身体活動や芸術活動に関する実技能力と指導力を持つと共に、それらの活動に関する理論や科学的分析についても深く理解します。



生活科学教育コース

現代の社会生活や家庭生活の課題に目を向け、生活文化やものづくりの技術を実践的かつ体験的に学びながら、生活を科学的に探究できる教員の養成が目標。技術科教育、家庭科教育のいずれかのサブコースを選択します。



社会系教育コース

地理・歴史分野、公民分野および社会科教育学から構成されています。社会のさまざまな問題に対する観察眼と洞察力を養いつつ、幅広い知識と論理的思考力を備えた教員を養成します。



教育実践科学コース

私たちにっては当たり前の「学校教育」も、そこにたどり着くまでにさまざまな変遷がありました。あらゆる思想も関わり、内容や方法についての議論がありました。学校や授業のあり方を総合的に問い直し、21世紀の方向を探ります。



臨床教育科学コース

不登校、いじめ、発達障害、心身症等、学校生活になじめない子の支援をテーマに、教育相談、心理療法や発達障害児支援等の理論と実践を学び、子どもの多様性を理解できる臨床的視点を持った教員の養成を目指します。



障害児教育コース

さまざまな障害のある子どもの教育と研究がテーマ。障害児(者)がより豊かな生活を送るための教育と指導を学びます。実習やボランティアなどを通して、障害児(者)や現場スタッフと接する経験を重視します。



カリキュラム

区分		1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門センター	大学教育入門セミナー			
	基礎教育科目	第1外国語科目 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目		
	教養教育・副専攻科目	均等履修 集中履修 自由履修 (憲法A、憲法B含む)			
課程共通科目					教職実践演習
教職科目	教育実践研究A (教育実習)	教育実践研究A-I	教育実践研究A-II	教育実践研究A-III	教育実践研究A-IV 教育実践研究A-V
	教育実践研究B	学習過程研究 I 学習過程研究 II	学習過程研究 III 学習過程研究 IV		
	教育実践研究C		学校教育相談研究 I 学校教育相談研究 II	学校教育相談研究 III 学校教育相談研究 IV	
	教科の指導法	教科の基礎科目	各教科の教材研究	各教科の教育法	
	その他の教職科目	教育学研究 教育方法研究 教育課程研究 特別支援教育総論	教育制度・経営論 道徳の指導法 教育評価研究	発達心理学 教育情報処理	
言語教育コース	コース共通科目	ことばの獲得 ことばとコミュニケーション			
	コース専門科目 (主な科目)	楷書書法 英語学講義 I 英会話 I	国文学概論 英米文学講義 II 文章表現論	国語学演習 I 英語学講義 III	卒業研究
理数教育コース	コース共通科目	微分積分学 I 基礎物理学			
	コース専門科目 (主な科目)	線形代数 I 微分積分学 II 基礎地学 基礎生物学 基礎化学	初等幾何学 初等確率論 基礎実験(物・化・生・地)	確率・統計講義 代数学A 生理学 物理化学	数学特別研究 卒業研究
芸術・保健体育教育コース	コース共通科目	身体と創作表現A 身体と創作表現B 身体と創作表現C			
	コース専門科目 (主な科目)	ソルフェージュ I 素描基礎 I 学校保健学(偶)	和声学 I 美術史概論 運動生理学(奇)	作曲基礎 彫刻制作C スポーツ原論演習(偶)	日本音楽演習 デザイン制作D 体育学研究法 II 卒業研究
生活科学教育コース	コース共通科目	情報基礎 栄養学 衣生活論 住生活論 工業数学	保育学 I		
	コース専門科目 (主な科目)	食品学 木材加工法 金属加工法 生活保健	家庭経営学 機械製図法 調理実習 被服管理学	被服制作実習 II 家族関係 技術科総合研究	保育学実習 知識情報処理 卒業研究
社会系教育コース	コース共通科目	地誌概論 日本史概説			
	コース専門科目 (主な科目)	西洋史概説 人文地理学概説 哲学概論	労働法 地域社会学	経済学演習 法律学演習 地域生活研究	地理学総合演習 卒業研究
教育実践科学コース	コース共通科目		発達科学総合文献研究 心理学実験・検査実習 心理統計・調査法		
	コース専門科目 (主な科目)	生涯学習総論	教育学特講 発達心理学特論	教育方法学特講 教育経営学特講	教育学演習 教育方法学演習 教育経営学演習 卒業研究
臨床教育科学コース	コース共通科目		発達科学総合文献研究 心理学実験・検査実習 心理統計・調査法		
	コース専門科目 (主な科目)	臨床心理学 発達障害教育総論	臨床発達心理学特講 教育相談特講	学習心理学演習 発達相談演習	臨床心理学演習 教育相談演習 卒業研究
障害児教育コース	コース共通科目		発達科学総合文献研究 心理学実験・検査実習 心理統計・調査法		
	コース専門科目 (主な科目)	知的障害者の心理・生理・病理 発達障害教育総論 障害者教育総論	病弱者の心理・生理・病理 肢体不自由教育 障害の判別・診断とアセスメント	視覚障害者の心理・生理・病理 聴覚・言語障害教育	知的障害者教育課程演習 重複障害者教育課程演習 卒業研究

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/ ●主な科目のみ掲載 ●(偶)(奇)は隔年偶数年度、奇数年度において開講されるもの

教員 & 在学生メッセージ

Q.あなたが人や地域にできることって何だろう？

A. 自らの取り組みを振り返り、その意味を問い直せる教員を育てる



遠藤貴広 准教授
附属教育実践総合センター

○カリキュラムの特徴を教えてください

学校教育課程では、1年次から4年次の学生を縦割りでグループ分けし、活動する時間があります。学年やコースの違う学生が集まることで、同じテーマに対してさまざまなアプローチが生まれ、互いに高め合う環境を作っています。教師は教えるプロである前に、学ぶことのプロでなくてはなりません。生涯にわたって、みんなで学び合えるコミュニティをどのように培っていくのか、また、教師という専門職として学び続ける場をどのようにデザインするのか、学生自身が実践しながら考えます。

○授業でどんなことを伝えていますか

私が担当する教育方法学では、自分たちがどのような教育を受けてきたかを掘り下げながら、学習の仕方を拘束しているものを探っていきます。そして同時に、実践上のさまざまな課題を明らかにしていきます。困難な課題が持ち上がった時でも真面目に取り組んでくれる学生ばかりなので、学生が課題にうまく取り組めなかった時は、状況設定がまずなかったのかなど、学生のせいにはできませんね。学生には自分の実践的な取り組みを振り返り、その意味を深く、誠実に問い直せる教員になってほしいと思います。

Q.あなたが人や地域にできることって何だろう？

A. 生徒と正直にしっかりと向き合い、心を通い合わせる教育を実践する

○福井大学の独自プログラムについて

私は秋田県出身です。実家から遠く離れていますが、他の大学にはない教育地域科学部の取り組みに興味があったのでこの大学を選びました。福井大学ならではのプログラムは、学生が実際に子どもたちと活動することで実践力を身につけるといった内容です。そのひとつ、探求ネットワークは、子どもに貴重な体験をしてもらうためにさまざまな活動を考えます。地域の子どもの子どもと一緒に、同じ目線になって活動するのはとても楽しい。子どもたちに考えを伝えたり、子どもの気持ちを量るのは難しく、悩むこともありますが、正直にしっかりと向き合えば通じ合えることに気づきました。私たち学生も貴重な経験をさせてもらっているなど実感しています。

○将来の夢を教えてください

教員になろうと思っています。きっかけは、高校の世界史の授業です。世界史は覚えることが多く大変ですが、ストーリー仕立て、歴史上の人物を魅力的に描いて教えてくれる先生の授業を受けて、世界史が好きになりました。苦手な科目も好きになってしまう、そんな魅力的な授業ができる教員になりたいと思います。



鎌田健太さん
学校教育課程社会系教育コース
2年次（現・3年次）



教育地域
科学部

地域科学課程

専門知識+実践力で「魅力ある地域づくり」をリード

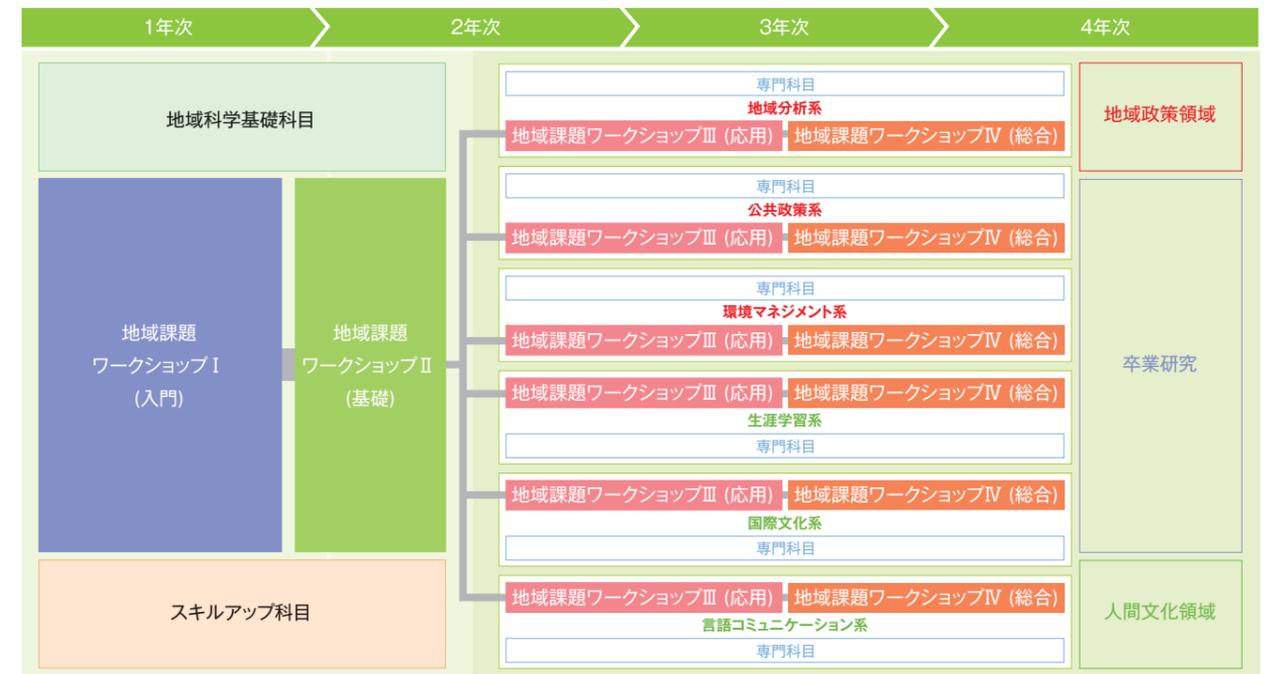


学生によるプレゼンテーション

6つの“系”が大きな特徴、系をまたいだ履修も可能

快適な生活環境の形成や地域文化の創造、多様な人々の共生、産業の活性化など、これからの地域社会には多くの課題が山積しています。本課程が目指すのは、これらを的確に分析して解決の方向を見出すことのできる実践的な能力、さらには地域をより深く理解するために必要とされるさまざまな専門知識を培い、職種や年齢、性別、人種などを異にする人たちと力を合わせて「魅力ある地域づくり」に寄与できる人材を養成することです。本課程には次のような特色があります。

カリキュラムの流れ



個々の関心に即した専門科目を履修

2年次後期以降、「地域課題ワークショップ科目」のⅢ(応用)、Ⅳ(総合)、そしてそれぞれの系で開講される「専門科目」(専門分野の授業)を中心に履修します。

「地域課題ワークショップ科目」

ワークショップとは、一般に、特定の課題について参加者が議論や作業を重ねることで知識や経験を共有する方式の研修会・講習会を意味します。「地域課題ワークショップ」は地域の諸課題をめぐってワークショップ形式で行われる授業で、入門、基礎、応用、総合が1年次から4年次にかけて段階的に開講されます。この授業の主たる目的は、課題に関する情報収集力や分析力、そしてそこから得られたものをわかりやすく表現して他人に伝える力(プレゼンテーション能力)を育てることにありますが、ワークショップはチーム・ワーキングの形をとるため、コミュニケーション能力も同時に養われます。



課題を決めてアプローチの方法を考える

「スキルアップ科目」と「地域科学基礎科目」

「スキルアップ科目」(英語コミュニケーション科目、調査・データ分析科目、行政運営基礎科目)のうちから2種を、1、2年次に選択履修します。それにより高学年次における専門的な課題探究に欠かせないツールを身につけるとともに、卒業後にさまざまな職場で必要とされる基礎的なスキルを習得することができます。

2年次後期以降に履修する各系の「専門科目」では、それぞれの専門分野に関する考究を深めることとなりますが、その際に役立つ基礎的な知識が、同じく1、2年次に開講される「地域科学基礎科目」の履修を通して蓄えられます。



実践的な英語を学ぶ「実用英語」の授業

系への所属と「専門科目」

入学後1年半の間に「地域課題ワークショップ科目」のⅠ(入門)、Ⅱ(基礎)や「スキルアップ科目」、「地域科学基礎科目」などの履修を通じて、自分の関心に合った専門分野、あるいは取り組むべき探求課題がきっと見つかるはずですよ。それを踏まえて、地域科学課程の学生は2年次後期以降、6つの「系」(専門分野)のいずれかに所属します。

所属する系の「専門科目」を中心に履修することで、地域の特性と諸課題に関する専門的な知識と能力を、それぞれの分野において身につけることができ、同時に、他の系の専門科目をも幅広く履修することで、分野の壁を越えた多面的な学習が可能となります。そうして得られた成果は、卒業研究を経て卒業論文へと結実します。

期待される成果

ワークショップ等で自ら課題に取り組む経験を通じて、さまざまな問題への関心が喚起され、その上で専門的な学習に取り組むことができます。

企業、行政、NPO等各種団体のスタッフやそのリーダーとして、また地域社会の諸課題の解決に積極的に取り組む市民として、卒業後に活躍するための多様な能力を身につけることができます。

「スキルアップ科目」の選択履修や系をまたいだ横断的な科目履修を通じて、専門性を活かせる就職先の選択肢を広げることができます。

取得できる資格

博物館学芸員

博物館に関する所定の科目の単位を修得し、博物館実習を受講することにより、資格が取得できます。

社会教育主事

社会教育主事は都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員。生涯学習系専門科目などから所定の科目の単位を修得することで、資格が取得できます。

社会調査士

日本社会学会などの3学会が作る社団法人「社会調査協会」が認定する資格。地域科学課程のスキルアップ科目(調査・データ分析科目群)や地域分析系専門科目などから所定の科目の単位を修得することで、資格が取得できます。

地域政策領域

地域分析系

地理学、社会学、生活経営学、統計学、情報処理などの専門分野について学びます。社会調査、情報処理、統計分析などの調査研究法を活用して、学生自身が実地での調査研究やデータ分析を行い、その結果を取りまとめます。こうした作業を通じて、地域社会や地域の住民生活の諸課題の詳細を明らかにし、その解決策を提言できる力を養成します。



公共政策系

今日の地域社会では、地域の公共的な課題をめぐり政策立案・遂行能力と地域社会や企業組織等の合理的で効果的な運営能力が必要とされています。この系では、法学、政治学、経済学、経営学を中心とする専門科目と演習型、ワークショップ型の実践的な科目から成るカリキュラムにより、こうした能力を備えた人材を育成します。



環境マネジメント系

農村環境の保全や希少生物の保護といった、環境に関する問題を幅広く扱います。市街地や郊外の里地、また人里離れた山地帯など、さまざまな場所でのフィールドワークをカリキュラムに取り入れています。人々の社会生活と調和した環境保全のあり方を探求します。



人間文化領域

生涯学習系

生涯学習について専門的理解を深めると同時に、健康分野では体の健康(生理学)、心の健康(心理学)、健康エクササイズ(スポーツ科学)について、文化芸術分野では社会教育学、芸術学、博物館学について専門的に探求し、まちづくり等の地域活動の企画運営や、市民の生涯学習を支援・コーディネートできる人材を育成します。



国際文化系

グローバル化が進行する一方で、文化の多様性を尊重する必要にも迫られている今日、このような複雑な時代の要請は地域にも向けられています。この系では、英米の文化、ドイツやフランスの文化、そして中国の文化に関する理解を深めることで、複眼的な視座から地域の文化的発展に貢献できる人材を育成します。



言語コミュニケーション系

言語とコミュニケーションに関する専門分野について学びます。英語と中国語を主に、言語とコミュニケーションについて専門的な知識を身につけると同時に、その実践的運用能力の向上を図ります。英語や中国語を通じて外国人とコミュニケーションができる多文化共生社会のリーダーの人材を育成します。



カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	大学教育入門センター	大学教育入門セミナー			
	基礎教育科目	第1外国語科目 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目		
	教養教育・副専攻科目	均等履修 集中履修 自由履修			
課程共通科目	地域科学基礎科目	中央・地方の行財政 生活保障論 地域と環境 地域における生涯学習 国際文化交流論 福井地域の歴史 言語コミュニケーション論 情報技術基礎			
	地域課題ワークショップ科目	地域課題ワークショップⅠ(入門) 地域課題ワークショップⅡ(基礎)	地域課題ワークショップⅡ(基礎) 地域課題ワークショップⅢ(応用A) ワークショップ支援	地域課題ワークショップⅢ(応用A) 地域課題ワークショップⅢ(応用B) 地域課題ワークショップⅣ(総合A)	地域課題ワークショップⅣ(総合A) 地域課題ワークショップⅣ(総合B)
	スキルアップ科目	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 社会調査入門 統計入門 データと情報処理 地理情報分析 地方自治法 民法Ⅰ 民法Ⅱ 民法Ⅲ 刑法 簿記論 経済理論基礎Ⅰ(ミクロ経済学) 経済理論基礎Ⅱ(マクロ経済学)	実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ データ分析入門		
地域政策領域専門教育科目	地域分析系科目群		社会学概論 家族社会学 地域社会学 地域と福祉 環境社会学 地域分析演習Ⅰ 地図と地域調査 環境と行動 統計基礎 共生社会論 情報処理システム データベース	地域生活研究 都市と村落 地域情報システム 多変量解析 地域分析演習Ⅱ	
	公共政策系科目群		法学概論 行政法Ⅰ(総論) 労働法 社会保障法 会社法 政治学概論 国際政治学 政治行動論 行政学 地域経済論 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 経営情報処理論Ⅰ 経営管理論 マーケティング論 公共政策演習Ⅰ 経済学概論	行政法Ⅱ(行政救済法) 国際法 公共政策論 経済政策論 国際経済論 金融論 経営情報処理論Ⅱ 公共政策演習Ⅱ 公共政策演習Ⅲ	公共政策演習Ⅳ
	環境マネジメント系科目群	地域環境概論	地域環境マネジメント 地域環境概論Ⅰ 地域環境概論Ⅱ 自然環境学実験 生物環境論 地域と生態系 生物野外実習法 多様性生物学 地域環境野外実習	保全生物学実習 環境生物学演習 環境マネジメント実習Ⅰ 環境マネジメント実習Ⅱ 環境実践業務研修Ⅰ	環境実践業務研修Ⅱ
人間文化領域専門教育科目	生涯学習系科目群	ライフスタイルと健康	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 社会教育計画Ⅰ 学びの認知科学 社会教育活動論 市民の学習と社会 生涯発達心理学 博物館概論 音楽史概論 音楽理解の視点 美術史概論 美術理解の視点 スポーツ文化論 健康心理学 健康カウンセリング 公衆衛生学 人間健康科学研究Ⅰ 博物館経営論 博物館教育論 博物館資料保存論	社会教育計画Ⅱ 社会教育演習 生涯スポーツ論 博物館資料論 博物館実習 芸術創作演習(音楽) 音楽文化論演習 世界音楽概論 芸術創作演習(美術) 人間健康科学研究法 地域スポーツ論 人間健康科学研究Ⅱ 博物館展示論 人間健康科学研究Ⅲ 情報・メディア論 健康心理学特講 臨床心理調査 健康の生理学 地域予防医学	博物館実習 生涯スポーツとフィットネス 人間健康科学研究Ⅳ
	国際文化系科目群		英米文化論 イギリス言語文化論Ⅰ アメリカ言語文化論Ⅰ 英米言語文化論 ドイツの文芸Ⅰ ドイツの歴史と民族Ⅰ ドイツ現代事情Ⅰ フランス言語文化論Ⅰ フランス言語文化論Ⅱ 日仏文化交流論 ヨーロッパ文化理解 ヨーロッパ文化特論Ⅰ ヨーロッパ文化特論Ⅱ 中国文化論 中国の文学 中国の歴史	イギリス言語文化論Ⅱ アメリカ言語文化論Ⅱ ドイツの文芸Ⅱ ドイツの歴史と民族Ⅱ ドイツ現代事情Ⅱ フランスの文芸 フランスの現代事情 フランス文学講読 現代中国語講読Ⅰ 現代中国語講読Ⅱ 古典中国語講読Ⅰ 古典中国語講読Ⅱ 中国文化演習 中国文化特殊講義	
	言語コミュニケーション系科目群		日英対照言語学 ドイツの言語Ⅰ 中国の言語 中国語音声理解 中国語音声表現Ⅰ 中国語文章表現Ⅰ 中国語文章表現Ⅱ 日本語音声学 日本語文法論	英語圏の言語と文化 現代英文法論 英語ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語コミュニケーション総合Ⅰ 英語コミュニケーション総合Ⅱ ドイツの言語Ⅱ 中国語音声表現Ⅱ 中国語文章表現Ⅲ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ 中国語文法研究	
関連専門科目	西洋近代史 西洋現代史 自然地理学概説 基礎地学 日本建築史 基礎生物学 キャンパ	環境化学 都市計画 認知心理学特講 教育心理学 心理学コンピューター演習	第四紀学 絵画制作基礎Ⅰ 精神医学 心理統計・調査法	庭園学	
卒業研究				卒業研究	

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/

教員 & 在学生メッセージ

Q.あなたが人や地域にできることって何だろう？

A. 調べて、見て、触れて、
国際感覚を持った社会人を育てる



○授業でどんなことを伝えていますか

講義では日本と中国の伝統演劇を比較し、同じアジア圏の文化ということから共通点を見つけ、また両者の違いに注目してその背景を探ります。比較から自国の伝統文化の魅力を知るきっかけが生まれることもありますし、自分の価値観を相対的に眺める視点を身につけてほしいと思っています。多くの学生が持っている外国に対する印象は、ほとんどがマスメディアからの情報によるもの。与えられた情報だけでは視野が狭くなります。自分で調べ、実際に見て、触れてわかることがたくさんあります。日本とは違う文化を面白がり、尊重する感覚を養ってほしいですね。

○福井大学の魅力を教えてください

大学の魅力の一つは、バックグラウンドが全く違う人たちと出会えることです。たくさんの人から影響を受けて、すぐに役立つことではなくても、学生時代にしかできないことを見つけて感性を磨いてほしいと思います。福井県は環境も、地域の人たちの人柄も良く、私自身がここに来て、こんなに住みやすい場所があるのかと驚きました。この恵まれた環境で勉強し、他では得られない経験をしてください。



田村容子 准教授
人間文化講座

Q.あなたが人や地域にできることって何だろう？

A. 実践的な言語能力を身につけ、
仕事を通して社会の役に立つ



鎌谷有紀さん
地域科学課程言語コミュニケーション系
3年次(現・4年次)

○専攻を選んだ理由を教えてください

将来、どの道に進むかを入学時に決めてしまいたくなかったので、幅広く学べる地域科学課程を選びました。最初は公共政策の分野を勉強したいと思っていましたが、授業を受けてみると言語系の分野に興味湧き、今は中国語を中心に他国の言語と文化を学んでいます。言語は時間をかければかけた分だけ身につきますので、長い期間をかけてじっくりと学べる点が魅力です。大学の留学プログラムを利用して、来年は中国に留学したいと思っています。

○地域科学課程の特徴を教えてください

言語系の授業では4~5人に対して1人の先生が担当してくれます。中国語の先生だけでも3人いらっしゃるの、授業は少人数制の場合が多く質問しやすい環境です。先生方も学生のことを良く見てくださっていますし、困っている時には声を掛けてくれます。外国語を話したいという気持ちから始めた言語の勉強。就職してからも海外へ行って、他国の文化を学ぶと同時に、実践的な言語能力を身につけ、仕事につなげたいと思います。



附属施設

○ 附属教育実践総合センター

教育研究活動を支援し、発表の場を提供

附属学校園、学部教員、公立学校の教員等を対象にセンター研究員および特別研究員を募集し、地域に根ざした教育研究活動の支援と成果公表の場を提供しています。

また、地域に開かれた教育地域科学部の主要な窓口の1つとして、

特に教育研究を中心とした各種事業を行います。成果と活動は、センター研究紀要、各種テクニカルレポート、ニュースレター、公開講座、シンポジウム等で公表。教育工学研究会や大学院生の研究発表の場も提供しています。

○ 附属地域共生プロジェクトセンター

大学の教育・研究活動と地域との橋渡し

教育地域科学部の特徴の一つは、学生や教員が地域参画型教育や地域研究活動を通して、地域の子どもたちや人々とともにさまざまな地域課題の解決に取り組むところにあります。

センターは、こうした教育・研究活動をプロジェクトとしてまとめあげ、

必要な支援を行います。また、地域で活動する団体などの活動に便宜を図ったり交流を促進することを通して教育地域科学部の教育・研究活動と地域との橋渡しの役割を担います。

○ 総合自然教育センター

子どもたちの自然観を育成し、栽培体験学習の場を提供

教育地域科学部学生及び附属学校、幼稚園の子どもたち、さらには地域の子どもたちを対象に、米やトマトなどの野菜の栽培、果樹の栽培体験を通して、食物の知識や大切さを身につけ、実感してもらっ

ています。また、豊かな自然観を育成するための樹木や草花、水辺の観察を行うことができる場を提供し、花壇製作や作物育成実験も行っています。

○ 附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校

子どもたちと共に活動することで、たくさんのことを学び、成長する

教育地域科学部の附属学校園には、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校があります。幼稚園では、幼児教育と子育て支援における、地域の中核として協同的な遊びを中心とした総合的な保育活動を展開。小学校では、自主的で自立的な児童の育成に努め、異学年のつながりを大切に活動や専門性を活かす教科担任制を一部実施。中学校では、探究型学習を全教科で展開。特別支援学校には、小学部、中学部、高等部があり、知的障害児が、その障害に応じた生活上の困難を改善・克服し、可能なかぎり社会参加することを目指して、12年間一貫の総合的教育を行っています。

それぞれの学校園で、役割に応じた特徴のあるカリキュラムを実施しています。子どもたちと創造的な活動を共にすることで、教育実習生は多くのことを学び、人間として大きく成長します。



附属小学校の多目的ホール



特別支援学校のシンボル大壁画

大学院 教育学 研究科

現代社会の変化のスピードに対応できる、 教員の力量形成と質の向上を目指す

21世紀の知識基盤社会で生きる力を、学校教育でいかに身につけさせるのか。教員の力量形成や質の向上が議論され、学校改革と教育改革が求められています。この要求に応えるために、学校教育専攻、教科教育専攻、教職開発専攻(教職大学院)の3つの専攻を設置。実践と研究を融合させた「協働実践研究プロジェクト」などの方法を共有し、各専攻のテーマを追究します。

学校教育専攻

学校教育が直面する課題は、学校の努力だけで解決できるものではありません。学校を支える地域との協働により解決の糸口を探ることが求められています。地域に支えられた学校のあり方を実践的に学び、地域と学校間の新しいモデルとなる関係を創生します。

「新たな学校教育の課題にかなう教職専門の資質と能力」「これまでの障害児教育専攻で培ってきた、多様なニーズに応える学習支援を行う資質と能力」「学校とそれを支える地域コミュニティの協働」という三つの柱で構成。

「学校心理士」や「臨床発達心理士」等の資格取得が可能です。

教育課程 (計30単位以上)

協働実践研究プロジェクト
教育を支えるコミュニティ形成
コミュニティ学習支援
特別支援教育コーディネータ
知識基盤社会に生きる リテラシーを育てるカリキュラム開発
PISA型
探究と体験型
(8単位)
専門科目
コミュニティと人間
学校コミュニティ
コミュニティ学習支援
(計18単位以上)
課題研究(4単位)・修士論文

教科教育専攻

PISAのリテラシーに象徴されるような実践的、探求的な学力は、21世紀の知的基盤社会に生きる力と考えられます。教科専門の力を伸ばすとともに、リテラシーと人間力を育むためのカリキュラム開発を通じて、児童生徒の真の学力向上を支援できる教員あるいは教育専門家の養成が目標。

8つの領域別専門科目と課題研究の履修および修士論文作成を通じて、教師に求められる高度な教科専門性と指導力を身につけます。教育現場での授業開発や共同研究において、中心的な役割を果たし得る人材を養成します。

教育課程 (計30単位以上)

協働実践研究プロジェクト
知的基盤社会に生きる リテラシーを育てるカリキュラム開発
PISA型
探究と体験型
教育を支えるコミュニティ形成
コミュニティ学習支援
特別支援教育コーディネータ
(8単位)
領域別専門科目
教科教育研究
教科に関する科目
(計18単位以上)
課題研究(4単位)・修士論文

教職開発専攻(教職大学院)

教職開発専攻(教職大学院)は、教員養成のモデルとなるカリキュラムを作ることを任務とし、次のことを目的としています。

21世紀の知識基盤社会で生きる力を培うためには、子どもたちが自主的に学び合い、成長することのできる学校教育が求められています。その実現は教員の専門的力と協働の努力にかかっています。学校教育を担うスクールリーダー、中核教員の専門的力の開発を目的として、教員の専門性、協働実践力、組織マネジメント能力を培います。この目的を実現するために、大学ではなく、学校を拠点にした力量形成を図るユニークな方式をとっています。

教育課程 (計45単位以上)

学校における実習
学校1年間のサイクルに沿って 1年間にわたって行います (10単位)
共通科目
5つの領域について、 実践的なカンファレンスや 事例研究を中心に学びます (20単位以上)
コース別選択科目
カリキュラムと授業
子どもの成長発達支援
コミュニティとしての学校 (15単位以上)
長期実践報告

卒業生メッセージ

Qあなたが人や地域にできることって何だろう？

A. 苦手意識を
植えつけない授業で、
子どもの
「勉強好き」を伸ばす

宮脇悠司さん

学校教育課程理数教育コース 2009年卒業
鯖江市東陽中学校勤務



○どんな教師を目指していますか

小さい頃から学校が大好きで、中学生の時に教師になりたいと思いました。部活はずっと野球を続けており、今は野球部の顧問をしています。子どもたちと関わるのは楽しいですし、授業や部活を通して、子どもと一緒に成長していける教師という職業は魅力的だと思います。年齢が離れていても、子どもの気持ちを理解して上手にくみ取ってあげている先生方を見ると、すごいと思いますね。私も生徒たちの間に入って、心を通い合わせられる教師になりたいと思います。担当科目は数学ですが、私自身は高校まで数学が苦手でした。中学に入ると、算数

から数学に変わり、生徒たちの理解度に差が出てきます。中学は数学の基盤を作る大切な時期ですから、生徒たちに苦手意識を植えつけないように楽しい授業をしていきたいです。

○学生生活を振り返って

大学で楽しそうと思えばどれだけでもできますが、全力でさまざまなことに取り組めば、そこでいろいろな人に出会って、貴重な経験ができます。4年間はあっという間で、学び切れなかったという思いもありますが、友人にも恵まれて、向上心をもって取り組めたことが良い思い出。いろいろなことに取り組める環境が整っています。ぜひ挑戦してください。

Qあなたが人や地域にできることって何だろう？

A. 人が好きという
気持ちを大切に、
心のこもった接客で
地域の方々を笑顔に

榎谷美有さん

地域科学課程行政社会科コース 2011年卒業
北陸銀行福井支店勤務



○学生生活を振り返って

北陸銀行で窓口業務を担当しています。もともと接客業に興味がありました。大学で学んだ経済学を活かしたいという気持ちから、就職先には銀行を志望しました。仕事はいつも緊張の連続ですが、学ぶことが多くて充実した毎日です。高校の時から政治経済に興味がありました。特に、経済をもっと詳しく学びたいと思い、福井大学に入学しました。先生方や先輩、友人に恵まれ楽しい大学生活でしたが、ひとつ心残りがあります。福井大学の授業は実践的で、社会に出てから役に立つことが多いので、もっと多くの授業を履

修すれば良かったかなと。もっとたくさん吸収できることがあったんじゃないかと思うと少し心残りです。

○大学で学んだこと

課外活動ではボランティアサークルに参加しました。学校へ行けない子供たちが通う施設を訪問して一緒に遊んだり、留学生の生活面での相談などのお手伝いをしたり、立場の違う人との関わりのなかで大切なことを学びました。学生時代に実感した人が好きという気持ちを大切に、職場での心のこもった丁寧な接客を心がけていきたいです。みなさんには、学生時代にしかできないことに積極的に取り組んでほしいと思います。

※所属等は取材時のものです。

Q.
命に携わるために
必要な素養、
能力とは？

医学部

FACULTY OF MEDICAL SCIENCES

- 医学科
- 看護学科
- 附属病院

生命の尊厳、医の倫理を学び 社会に貢献する医療人を育てる

学術の中心として、高度に発展した医学および看護学の知識を修得させ、生命尊重を第一義とし、医および看護の倫理に徹した、人格高潔な、信頼し得る臨床医、医学研究者、看護職および看護学研究者を育成することを目的とし、もって、医学および看護学の進展、国民の健康増進および社会の福祉に貢献することを使命とします。

【特集／病院実習】

医療の原点は患者さんから学ぶ

医学科では5、6年次に、看護学科では3、4年次に病院での臨床実習があります。患者さんに接し、医療スタッフの姿を見て、実践的な知識と技術、そして人間力を身につけます。病院実習に取り組む医学科、看護学科の学生を紹介します。

医学科

5年次に10ヶ月、5～6人で1つの班を作り、附属病院で各診療科を2週間ずつローテーションし、基本的技能を学びます。また、6年次に1ヵ月半、教育関連病院でさらに深く広く学びます。

Q. 命に携わるために必要な素養、能力とは？

A. 諦めずに取り組む気持ちと、患者さんに頼ってもらえるだけの実力

○実習で何を学びましたか

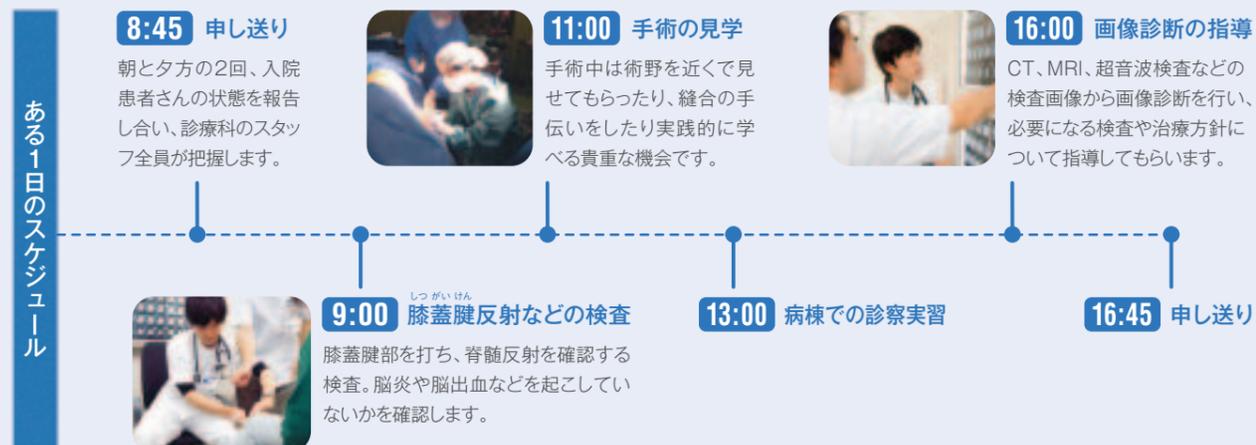
働く先輩医師の姿を間近に見て、早く医療に携わりたいという気持ちが強くなりました。附属病院の先生方は患者さんのちょっとした変化にも気がついて、その患者さんに合った治療法が何かを考えて実践しています。実習に参加して、医師として目指すべき姿が明確になりました。最先端医療を選択肢として患者さんに提供するためには、豊富な知識が必要です。そのためには、一生勉強し続ける覚悟が必要だと実感しています。

○どんな医師を目指していますか

実習では、患者さんの身体を診せてもらったり、毎日会いに行って話をする機会をいただいています。今、できることは話を聞くことですが、学生の私たちに期待をかけて、協力してくださる患者さんに感謝の気持ちで一杯です。患者さんにとって、医師の言葉は影響力があるので気をつけなければと感じることも。それだけ患者さんに頼られる職業ですから、頼ってもらうからにはしっかりと治してあげられる、実力を備えた医師になりたいと思います。

青山太郎さん

医学科
5年次
(現・6年次)



看護学科

3年次の9月末から4年次の7月上旬までの約10ヶ月間、病院や施設を回り、実際に患者さんを受け持ちます。

Q. 命に携わるために必要な素養、能力とは？

A. 患者さんの人生に寄り添う気持ちと、必要としていることを把握する能力

○実習で何を学びましたか

産婦人科の実習では、手足の冷えて悩んでいる患者さんに足浴をしたり、便秘の方にはお腹を温めることを勧めたり、患者さんに合わせてさまざまなプランを考えます。実習後のショートカンファレンスで、実践したアイデアや工夫について話し合っています。看護は患者さんの生活のほんの一部分に関わることしかできませんが、重要なのは患者さんの人生にどれだけ寄り添えるかということ。患者さんが必要とする看護は、人それぞれ違うんだと、実習を通して学びました。

○どんな看護師を目指していますか

大学の先生は熱心な方ばかりです。学生のレベルに合わせて、その一歩先の指導をしてくださるので、自分の成長を実感できます。今の目標は、実習中にお世話になった先輩看護師のようになることです。患者さんの話をじっくりと聞き、何を必要としているのか、ポイントを押えてきちんと把握して、さらに患者さんには気負わずに接することができる、そんな看護師を目指したいと思います。

大竹口友香さん

看護学科
3年次
(現・4年次)



画像を使った医学教育

～ イメージングシステムによる革新的な医学教育の実施 ～

医学生に求められる知識は膨大な量。ただ覚えるだけでは、知識が平面的になってしまいます。福井大学が取り組む「革新的な画像医学教育」は、論理的な思考を育み、臨床診断能力を効率的に引き上げるプログラム。世界レベルの医学教育への試みです。

病気の診断に必要なのは形態学

病気の原因を調べ、**診断していく分野を病理学**といいます。診断の手がかりとするのは、人体解剖やX線写真など。これらを目で見て、**病気を形捉えるのが形態学**です。医療の現場では、常に病気に対して的確な診断を行わなければなりません。そのために形態学が必要となります。画像から異常を見つけ、必要に応じた検査をすることで病気の**早期発見、早期治療**につなげます。福井大学では、病気を形から見極める**形態学教育**に力を入れています。

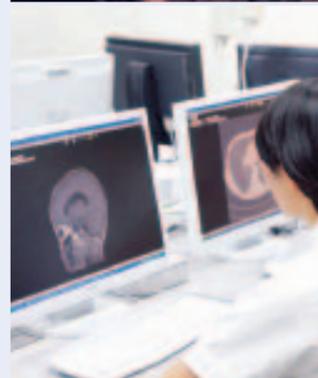
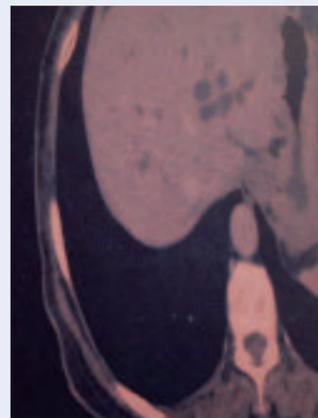
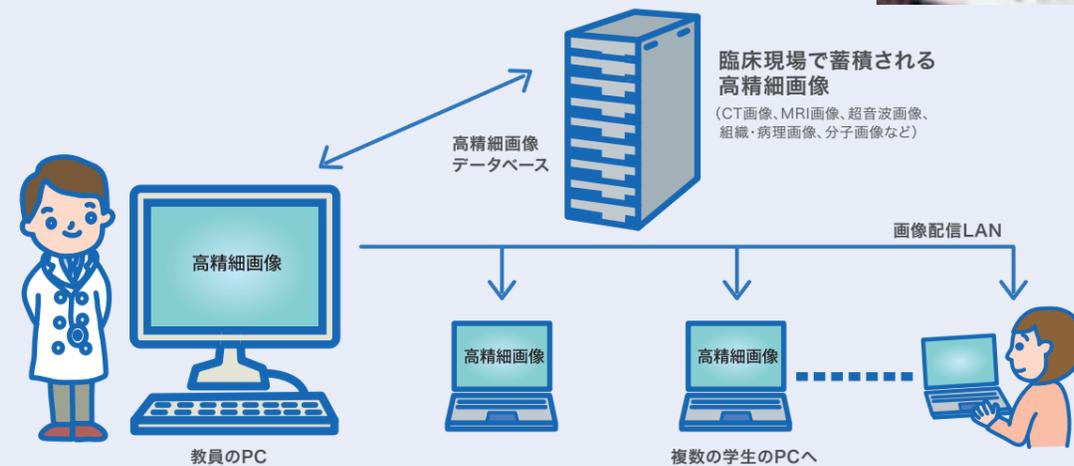
臨床で役立つ知識を効率的に身につける

福井大学の形態学教育の一つに、**総合的先進イメージングシステム**があります。CT画像や超音波画像、MRI画像、組織・病理画像、分子画像など、臨床現場で蓄積された数多くの**臨床画像をデータベース化**。学生と教員がモニター上で討論できる、双方向対話型画像システムを導入。臨床現場で使われている、さまざまな種類の高精細画像を使い授業を行うことで、学生の**知識を補い、意欲の向上**を図ります。

プロセスを重視、臨床診断能力を養う

亡くなった患者さんの死因を特定するため、オートプシーイメージングシステム(画像診断システム)を導入。解剖をしなくてもCT画像によって、死因のみならず**死に至ったプロセス**までも解明することができます。臨床現場では、診療科の違う複数の医師が診断に携わります。授業でも、専門分野の違う医師(臨床医、放射線科医、病理医)が連携して**診断に至るまでのプロセス**を解説し、プロセスに重点を置きながら実践的に**臨床診断能力**を育成します。

画像を使った医学教育の仕組み



幅広い知識と高度な臨床能力 患者中心の医療が実践できる 人材を育てる

【学部の特徴】

臨床の第一線で活躍する優れた医師や看護師等を養成し、医学の進歩に貢献できる研究者を育てます。高度で先進的な医療を提供し、地域に貢献するとともに、世界レベルでの医学、医療の進歩に貢献。附属病院や地域の病院と密接に連携するなど、確かなバックアップ体制で支えます。

また、英語が使える医療人の育成を目指した「医学英語と医学・看護学の統合的一貫教育」は、文部科学省の現代GP(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)に採択され、その取り組みが認められています。

医学部のこれまでの教育活動や成果等は、大学評価・学位授与機構によって、全国の国立大学法人医学部42機関の中で第3位と高い評価を受けています。

○ 医学科

医師に求められるものは、安心と信頼の下で最高の医療を提供すること。この要望に応えるため、“医の倫理に徹した、人格高潔な、信頼し得る臨床医・医学研究者の育成”を開学以来の目的としています。そのために医学準備教育、臨床前医学教育、臨床教育が一連のものとして習得できる6年一貫教育を実施し、コアカリキュラム、チュートリアル教育などで自ら学び、考え、理解することを重視。臨床実習ではクリニカル・クラークシップ(診療参加型臨床実習)を導入し、学外実習も多く取り入れています。

○ 看護学科

人間理解を深め、多様化する社会のニーズに応えることのできる専門的な看護力を養成します。また、将来にわたり自らの資質向上を目指すための基礎的能力を養成。将来の幅広い職業選択(看護師・保健師・助産師)が出来るよう、選択科目を多くし、学生の希望に沿った履修を可能にしています。学業面や生活面については、学年主任をはじめ、多くの教員がきめ細かくサポート。また、実践能力の高い医療人を育成すべく、個別相談も含めた実習指導体制になっており、附属病院での臨地実習では、臨床教員の指導を受けながら最新の医療を体験できます。

本学が育成する医療人

1. 幅広い医学や看護学の知識、高度な臨床能力、優れたコミュニケーション能力と高い倫理観を持つ医療人
2. 日々進歩する医学や看護学の知識、医療技術を生涯にわたって学ぶ習慣を身につけた医療人
3. 患者中心の科学的根拠に立脚した医療が実践できる医療人
4. 地域や国際社会の健康増進と疾病の予防、根絶に寄与できる医療人

取得できる受験資格

医学科	医師国家試験
看護学科	看護師国家試験、保健師国家試験*、助産師国家試験* (※所定の単位取得が必要です)

医学科

高度な臨床能力、研究能力を身につけた
人間性豊かな医師を育成する



病理組織学実習の様子

臨床を見据えた効果的な学習で、医師としての基盤を形成

医学に関わる学問領域は急速に発展し、その知識量は膨大になり、求められることも多様化しています。社会のニーズに対応するために、医学準備教育、臨床前医学教育、臨床医学教育を一連のものとして習得する6年一貫教育を実施。1年次に医学準備教育、2年次から3年次前期には臨床前医学教育「生命科学の基本的知識・疾患の原因・機序／人体の構造・機能」、3年次後期から4年次には「人体の生理的変化・病態・診断／症状から診断する基本的診療知識・技能・態度」を学びます。コアカリキュラムに準拠した統合型カリ

キュラムを取り入れ、チュートリアル教育などにより、自ら問題を提起し、探究、解決する能力を身につけます。5年次から6年次前期に行うクリニカル・クラークシップ（臨床実習）では、学外での臨床実習も数多く取り入れています。

それぞれの領域を有機的に連携させるために、全教員参加の授業配置や病棟看護体験実習（1年次）、最新の医療（医学）を学ぶアドバンストコースなどを設定。効率的かつ効果的に学習ができるカリキュラムとなっています。

生命を学ぶ覚悟と社会に貢献する熱意

医学科を卒業し、医師免許を取得した後は、臨床医や医学研究者をはじめ、医療行政職、法医・監察医務官、国際医療保健担当医務官など、卒業生が進む道はさまざまです。しかし、医学部は「人の生命」を学ぶ学部。高い学力以上に求められるのは人間性です。

周囲との協調性と奉仕の精神、幅広い基礎学力と応用能力、社会に貢献しようとする熱意、生命科学への強い関心、地域医療に従事する覚悟が必要。生命を尊ぶ謙虚な心と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる医師を育成します。



シミュレーターでの実習

カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
総合教育科目等	総合教育科目	総合教養ゼミナール 倫理の基礎から応用へ 生命倫理学入門など					
	基礎教育科目	医学のための物理学入門 医学のための生物学入門 語学(英語・ドイツ語・フランス語・中国語)など					
専門教育科目	医学準備教育	医学概論 医学入門 人の行動と心理など	医科学基礎実習				
	医学外国語		医学英語1、2	医学英語3、4	医学英語5 実用医学英語		
	医学基本事項	コミュニケーションと チーム医療 入門チュートリアル		コミュニケーションと チーム医療	医の原則 医療における安全性への 配慮と危機管理 コミュニケーションとチーム医療		
	社会医学		地域医療学		医学・医療と社会1、2 地域医療学 死と法	医学・医療と社会3	
	基礎医科学		生命現象の科学 細胞の基本構造と機能 組織・各臓器の構成、機能と位置関係 個体の調節機構と ホメオスタシス 個体の発生 生体物質の代謝 遺伝と遺伝子 生体と微生物 免疫と生体防御 人体解剖学1、2	生体と動物 生体と放射線・電磁波・超音波 生体と薬物 原因と病態			
	基礎臨床医学1			血液・造血系・リンパ系 循環器系 呼吸器系 消化器系 腎臓内科 泌尿器系 女性生殖機能・乳房 内分泌・栄養・代謝系	神経系 皮膚系 眼・視覚系 運動器(筋骨格)系 耳鼻咽喉・口腔系 精神系		
	基礎臨床医学2				感染症 腫瘍免疫・アレルギー疾患 物理・化学的因子による疾患 成長と発達 加齢と老化		
	診療の基本				症候・病態からのアプローチ 基本的診療知識 基本的診療技能 画像・放射線を用いた診断と治療		
	臨床研修			地域医療学実習		クリニカル・クラークシップ (臨床実習)	
	その他			アドバンストコースI～IV 研究室配属		実践臨床病理学	

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/

チュートリアル教育

自ら問題を提起し、探究、解決する能力を身につけるための学習方法です。1年次に入門履修し、3年次から4年次にかけて、循環器系、消化器系、神経系を扱い、繰り返し学びます。疾患を見つける力、さまざまな状況を知識と合わせて診断する力、治療方法を考える力を養います。

医学英語

英語が使える医療人 (medical professionals) の育成を目指し、医学英語教育に力を入れています。「ECLNC(医学英語演習室)」、「ECSC(臨床医学英語演習室)」では、病院内を模した設備を利用し、最新の視聴覚教材や外国人模擬患者などによる授業を行います。英語論文の読解力やプレゼンテーション力も習得できます。

コア・カリキュラム

質の高い医師を育成するために、また、社会のニーズの変化に対応するために、従来の記憶中心、詰め込み型の教育内容から脱し、医学生が基本的な内容を確実に身につけられるように、文部科学省が掲示したガイドライン。医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した統合型カリキュラムを取り入れています。

アドバンストコース

医学生が習得すべき基本となるコアカリキュラム(必須科目)に加えて、最新で高度な医学、医療知識の習得を目的としたアドバンストコース(選択科目)があります。3年次に履修することができます。

CBT・OSCE

4年次に行われる共用試験。5年次から始まる臨床実習で必要となる知識、技能、態度が身についているかを評価します。CBTは医学知識の習得を確認する多肢選択型のパソコンによる試験。OSCEは臨床技能が試される実技試験。共用試験に合格した学生だけが臨床実習に参加できます。

クリニカル・クラークシップ

クリニカル・クラークシップ(臨床実習)では、学生が医療チームの一員として診療に参加します。指導医の指示のもとで実際に患者さんの診療に携わることで、医療現場での臨床を経験し、医師に不可欠なコミュニケーション力や連携する力といったさまざまな素養を身につけます。

教員 & 在学生メッセージ

Q. 命に携わるために必要な素養、能力とは？

A. 医療の実践に必要なのは、
思いを伝える力と
科学的に考える能力



○授業でどんなことを伝えていますか

医師を志す学生には、思いを伝える力と科学的に考える能力を身につけてほしいと思います。医師は、患者さんの協力が得られなければ病気を治すことはできません。協力してもらうためにはコミュニケーション力が必要です。本学は、学生と教員との距離が近く、何でも話しやすい環境です。人と通じ合いたいと思うだけでも、何か手ごたえがあるはずです。考えや思いを話して、学生のうちに伝える力を身につけてください。

○医師に必要な能力とは

科学的に考えることが大切です。教えられたことをそのまま信じるのではなく、まずは疑って考えてほしい。医師国家試験は、1人の患者さんに1つの病気がないという前提で問題が作られています。しかし、実際の患者さんは複数の疾患を持っている場合がほとんど。医師になれば科学的に考える能力が必ず求められます。治療方針を決める際に必要となるディスカッション力は科学的に考えることで身につきますし、科学的に考える力は研究に打ち込むことで鍛えられます。医師を目指す方には、世界を視野に活躍する大きな夢を持って、医学の発展に貢献してほしいですね。



菊田健一郎 教授
医学科脳脊髄神経外科学

Q. 命に携わるために必要な素養、能力とは？

A. 待っているだけでは何も得られない、
自分から動き可能性を広げる

○どんな医師を目指していますか

私は医学部に入学する前に、日本とアメリカの大学で生化学を学びました。人間の身体への興味から人間そのものへと興味が広がり、医師を目指そうと考えるようになりました。大学の小児ボランティアサークルに所属し、自然体験活動を支援するNPOの活動に参加するなど子どもの成長を見守る活動に積極的に取り組んでいます。将来、小児科の医師になって、自分が学んだことを子どもたちに伝えていくことが私の目標です。

○大学時代に取り組みたいこと

福井大学では3年次前期、研究室に学生が配属され、医学研究の手ほどきを受けます。私はこのカリキュラムでインドネシアに行き20日間の研修をさせていただきました。海外研修は前例がなく、私の行きたいという気持ちに、先生方や学務室の方、受け入れ先の先生やスタッフに伝えていただきました。何かを得たいと思ったら、待っているだけではだめです。興味のある方向にアンテナを向けて行動すれば、情報が入ってきますし、協力してくれる人も現れます。これからも自分から動き、可能性を広げていきたいと思っています。

宮永光次さん
医学科3年次（現・4年次）



医学部

看護学科

職業選択の幅がぐんと広がる
多彩な講師陣と多様なカリキュラム



基礎看護学実習の様子

○看護学の基礎を学び看護師としての一步を

基礎看護学では、看護の基本となる考え方や知識、技術を身につけます。看護技術の演習は、学生が看護師役、患者役となり、患者さんに適切な技術が提供できるよう、血圧や脈拍の測り方、洗髪

や着替えなどを学びます。また、臨床実習では、聞いて、見て、触れることのほとんどが学生にとって初めての体験。さまざまなことを感じ、考えながら、看護師となるための第一歩を踏み出します。

○多様な健康問題と看護ケアを実践的に学ぶ

臨床看護学では、青年期・壮年期・老年期にある人やその家族、周産母子や新生児期（胎児期）にある人やその家族を対象とした健康問題と看護を学びます。特に患者さんの生活に着目し、腎臓病の方には塩分を抑えた食事の指導をするなど自己管理やセルフケア能力を高めるための援助について学びます。また、救命救急士を招きAEDの使い方を学んだり、マタニティ教室を開催するなど、臨場感のある講義や演習、多様な場での臨床実習で高い実践能力を身につけるとともに、災害看護やがん看護など社会のニーズに即したカリキュラムで学生の意欲を高めます。

○社会から期待される看護職を育成

地域看護学では、役所や企業の健康管理センターなどで働く保健師の資格取得に向けたプログラムや、子どもや高齢者の看護を家庭訪問で提供する在宅看護を学びます。

また、保健所や市町村保健センターなど「病院の外」で働くスペシャリストのための臨床実習や演習もあります。ある地域に暮らす人々の健康を分析する演習や、保育園や公民館で子どもや高齢者に健康に関するミニ講座を開催することを通して、実践能力を養います。



身体の流し方など、慢性呼吸不全患者さんの生活を支える看護について学びます



保育園では、手の洗い方やバイ菌のことを子どもに分かりやすく説明します

カリキュラム

初年次生学習グループ

話し合い、共有することで、悩みや不安を拭い取る

新入生4~6人で1つのグループを作り、話し合います。部活やアルバイト、人間関係などで楽しかったことや困ったことなど、近況を話し合い、共有するとともに、一人では学べないことをみんなで学んでいきます。また、担当教員が入り、普段は聞けない素朴な疑問に答えます。



どんな話題でもOK
一緒に頑張る仲間と何でも話し合います

看護学入門

大学での学び方を考え、大学で身につけることを理解

高校までの受け身で「覚える」学習から、自ら学ぶ意欲や疑問を持つ「考える」学習への転換を目的に、初年次教育の取り組みとして「看護学入門」を行っています。講義やワークショップ、演習、グループワークなどを行い、大学で何を学ぶのかを理解し、大学における具体的な学び方を知り、看護学生としての基本的マナーを身につけます。授業を通して、看護職になることへの心構えを持ち、目標を持って自ら学習に取り組むことを目指します。



話し合った内容を発表して
他のグループとも考えを共有

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎科目	人間理解	哲学 法学 心理学	教育学	哲学Ⅱ	
	情報処理	情報科学	統計学		
	語学	語学(英語・ドイツ語・フランス語・中国語)	英語Ⅲ 英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ
	体育	健康・スポーツ科学			
専門基礎科目	生命基礎科学	生命基礎科学(化学、生命科学、物理学) 生命基礎科学実験(化学、生命科学、物理学)			
	健康科学	健康科学論 形態機能論・実習 生体反応論・実習	薬理作用論 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 健康管理論 成長発達論 人間行動論	心理測定論	
	環境科学	生活科学論 環境科学論	疫学 保健統計論	保健医療福祉論Ⅰ 保健医療福祉論Ⅱ	
専門科目	基礎看護	看護学入門 看護学概論 日常生活援助論	看護過程論 看護コミュニケーション論など	看護倫理 リスクマネジメント論 看護管理	
	健康時の看護		地域看護学概論 地域看護活動論Ⅰ	地域看護活動論Ⅱ ケア提供システム論など	学校保健論 産業保健論 助産論など
	健康障害時の看護		急性期看護活動論 慢性期看護活動論 リハビリテーション看護活動論 老年看護活動論 母子看護学概論 精神看護学概論	災害看護論 がん看護論 ターミナル看護論 小児看護活動論 母性看護活動論 精神看護活動論 在宅看護活動論	
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	実習(公衆衛生看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、 母性看護学、精神看護学)在宅看護学、看護技術、キャリアアップ	助産学実習
卒業研究				卒業研究	

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/

看護キャリアアップセンターの取り組み

医療人は、国家資格を得た後も専門知識を深め技術を高めるため、継続的に学ぶ必要があります。看護キャリアアップセンターでは、このような看護継続教育を看護の基礎教育(大学や専門学校など)を終えた看護師に対してさまざまなレベルで提供します。

- 1. キャリアアップ教育(慢性呼吸器疾患看護認定看護師養成)
- 2. 生涯学習支援(社会人学び直し教育)
- 3. 看護実践能力開発(継続教育)
- 4. 情報発信(セミナー開催)
- 5. 研究支援(看護研究教育・支援)
- 6. 国際的・学術的交流(国際交流、国際看護学セミナー開催)



注射の実習

教員 & 在学生メッセージ

Q. 命に携わるために必要な素養、能力とは？

A. 専門分野を磨き、協力して質の高い看護を実践すること



長谷川智子 教授
看護学科基礎看護学

○カリキュラムの特徴を教えてください

患者さんの生活を理解して、あるべき生活の形に整えてあげることが看護の仕事です。基礎看護学では、それぞれの患者さんに合った看護を考えるために、さまざまな理論を扱い、基礎的な看護技術を検証します。また、患者さんが必要としていることが何かを正しく判断し、提供までのプロセスを研究する看護診断を学びます。

○大学の特徴と学生に身につけてほしいこと

キャリアアップのためのサポート体制が充実しています。従来の保健師や助産師のコースに加え、2012年4月からの新カリキュラムで海外の大学病院で実習を選んで受けることができます。本学で学ぶ学生の可能性を広げたいという思いが形になりました。卒業生に対しても、継続的に学習できるよう看護キャリアアップセンターでさまざまな講義が開講されています。

学生には、看護の面白さを伝えたいと思っています。興味があれば、知識も技術もどんどん吸収できます。一人でできることには限りがありますから、専門分野を磨き、多くの人と協力して質の高い看護の実践を目指してほしいと思います。

Q. 命に携わるために必要な素養、能力とは？

A. 一般教養から専門まで幅広い知識と、いろいろな人とつながる力

○大学の雰囲気はどうか

初年次生学習グループは4~6人で1つのグループを作り、休み時間に集まって、学業や一人暮らしの不安などいろんなことを相談し合います。友達になるきっかけにもなりますし、自分だけじゃなくみんなの不安がわかるので心強いですね。同じ目標を持った学生同士が、互いに高め合いながら学べる環境だと思います。2年次では専門的な科目が多くなり、少しずつですが知識も増えて、もっと勉強したいという気持ちが高まってきています。今、学べることをどんどん吸収していきたいと思っています。

○大学で身につけたいこと

4年制ですので、一般教養から専門までしっかりと学べて、幅広い知識が身につきます。また、希望すれば1年次からでも附属病院で看護のアルバイトができます。看護の現場を実際に見る貴重な機会ですし、病院の仕組みもわかり、とても勉強になります。部活動は、医学科と看護学科と一緒に活動しているので、将来違う職種に就く人たちの輪が広がります。いろいろな人とのつながりを大切に、人間的にも成長したいと思っています。



高溝祥子さん
看護学科2年次(現・3年次)



附属施設

附属病院

高度な先進医療を提供し、地域医療を支える基幹病院



附属病院は600床を有する県内唯一の特定機能病院であり、25の診療科、4つの中央診療施設、12の特殊診療施設からなる病院です。一般の医療機関では実施することが難しい専門的な診療や高度な先進医療を推進し、特に高エネルギー医学研究センターとともに、全国的にも特色のある高度先進医療を研究・実践しています。

「最高・最新の医療を安心と信頼の下で」を基本理念に、専門的で高度な医療を提供し、基幹病院として地域医療に貢献するとともに、優秀な医療人の育成に努めます。

[特色]

高度な医療技術を提供

血液疾患の化学療法、小児がんの治療、未熟児診療、循環器関係手術、消化器関係手術等治療、脊髄・腰椎関係手術、前立腺がん治療、口腔外科手術など、大学病院だからできる高度な医療技術を提供しています。

医療環境制御センター

「医療安全管理部」と「感染制御部」からなる「医療環境制御センター」。医療の安全管理と院内感染の対策を一元化するために設立。医療スタッフと事務局が一体となって事故をゼロにするための活動を行っています。

地域がん診療連携拠点病院

質の高いがん医療の提供、県民のみなさんへのがん医療の情報提供を行っています。がん看護の相談や支援を行う看護師が常駐し、緩和ケアチームと連携し、地域におけるがん医療の向上に取り組んでいます。

ISO9001(病院を評価する国際規格) 認証

病院の総合的レベルを評価する国際規格ISO9001を2003年9月に取得。透明性、立証性、公平性、信頼性に対する積極的な取り組みを継続的に行い、質の高い医療を提供しています。

エイズ治療の中核拠点病院

エイズ診療の充実と、地域内および地域間の連携を充実させることを目的とした中核拠点病院に厚生労働省から認定。進歩する治療や診療方法の情報を収集し、地域の医療機関へ情報を提供しています。

地域医療連携部

高度な医療を担う大学病院と地域医療機関が連携し、患者さんの紹介や受け入れをスムーズに行うために設置された医療サービス部門です。入院・転院患者の手続きや受け入れ施設との連絡調整などを行います。

[取り組み]

次代を担う医療人を育成するために

① 新しい技術が習得できる臨床教育研修センター

臨床研修医をはじめ、新人看護師の研修や薬剤実習、学生の実技練習や診断学実習、また地域の医療関係者の研究会、講習会など、日進月歩の医療において新しい技術や知識が得られる施設です。

センター内の「スキルラボ」には、コンピュータ内臓の人形(シミュ

レーター)が置かれ、医学生、看護学生、研修医、新人看護師たちがいつでも実技練習ができるように24時間利用が可能となっており、医療現場で必要となる技能の向上に役立っています。電子カルテ端末機や仮眠室を備えた研修医室など、次代を担う医療人をサポートします。



臨床教育研修センター



約130名収容の白鷺会メインホールでのセミナーの様子

入院患者さんへの安全で質の高い看護と看護師教育のために

② パートナーシップ・ナーシング・システム(PNS)のスタート

附属病院では、看護部職員が自ら開発した新看護方式「パートナーシップ・ナーシング・システム(PNS)」を平成23年度から全病棟でスタートさせました。副看護部長を中心としたチームを構成し、パートナーとなった看護師同士が対等な立場で相互に補完・協力し合い、質の高い

看護を患者さんに提供しています。その成果と責任をチームで共有することにより、「気づく力と自覚性」「迅速・適切」「看護品質の維持・管理」の追求を、「協働」「強い組織づくり」「やりがい」につなげます。



パートナーと患者さんのお世話をする看護師チーム



ミーティング中のナースステーション

子どもの健やかな成長を支援する医療のために

③ 子どものこころ診療部を開設

平成23年9月、子どものこころ診療部を開設しました。子どものこころの問題の診断・治療を専門とする、全国でも数少ない医療機関です。小児科、神経科精神科と連携し、発達障害を始めとした「子どものこころのひずみ」とそれに伴う諸症状を解明することにより、こころの危機的状況にある子どもを救出し、支援することを目指しています。

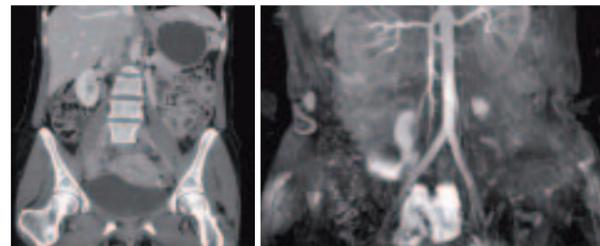


診察室内の様子 入口の廊下にある本学教育地域科学部附属小学校児童が描いた絵

早期発見と適切な診断・治療のために

④ 世界最高水準の画像診断装置を設置

平成23年9月、移転による新棟建設にともない、最新技術を搭載したMRI(磁気共鳴断層診断装置)3T-MRI装置2台、1.5T-MRI装置1台と、2台目の64列X線CT装置が稼動しました。



ASiR搭載により、画質を犠牲にせず被ばくを抑えて撮像できる(64列X線CT) 腹部動脈を造影剤なしで抽出できるInhance技術を搭載(3T-MRI)

医療職を目指す高校生のために

⑤ 外科手術体験セミナーを開催

高校生が最新の外科医療を体験し、医療への関心や理解を深めるための試みとして、平成19年から毎年開催しています。最新の内視鏡外科手術シミュレーター操作による胆嚢摘出の模擬手術体験や超音波凝固切開装置(超音波メス)による鶏肉の切開体験、自動縫合器(瞬時に縫い合わせが行える器具)の操作体験、トレーニングボックスを使用し

た鉗子操作体験といった5種類のプログラムを用意。高校生には外科医師の仕事を経験する機会となり、参加した医療従事者には、初心にかえり、知識や技術を体系的に教えることの大切さを再確認する貴重な場となっています。



内視鏡外科手術シミュレーター操作による胆嚢摘出の模擬手術体験



手術用縫合糸による縫合体験

附属病院の基本理念を実現するために

⑥ 病院の再整備が始まりました

附属病院の建物は、築30年を経過しました。今後、更なる急性期医療の充実を目指し、「最高・最新の医療を安心と信頼の下で」の基本理念を実現するために、平成26年9月に新しく生まれ変わります。



新棟完成予想図



平成26年9月の松岡キャンパス予定写真(合成)

大学院 医学系 研究科

基礎医学、臨床医学、看護学の
さまざまな領域で世界レベルの研究を実施し、
優れた成果を発信

医学・生命科学領域を対象とした博士課程と看護学領域を対象とした修士課程で構成する大学院医学系研究科。その教育活動や成果等は、大学評価・学位授与機構によって、全国の国立大学法人大学院医学系研究科41機関の中で第1位と高い評価を受けています。

博士課程(医科学専攻、先端応用医学専攻)

※平成25年4月より博士課程(統合先進医学専攻)に改組予定

対象者……医学科卒業生及び修士課程修了者

先進的医科学、高度先端医療のリーダーを育成する博士課程では、国際的に活躍できる研究者や優れた医療技能を備えた人材の育成に力を入れています。転写因子の働きや脳、免疫、生殖医学に関する研究では世界的に高い評価を受けており、独創的な数多くの研究を展開しています。特に、生体画像医学研究は得意とする分野でもあり、「21世紀COEプログラム」(日本の大学に世界最高水準の研究教育拠点を形成することを目的とした文部科学省の補助金事業)に選ばれました。

医科学専攻では優れた創造性と研究能力、開発能力を有した研究者を育て、先端応用医学専攻では地域社会や国際的レベルで臨床研究を遂行できる高度医療職能を有した人材を育成します。



博士課程の講義の様子

修士課程(看護学専攻)

対象者……看護大学卒業生及び看護師・保健師・助産師として3年以上の経験者

専任教員の講義や演習に加え、外部の専門家による講義で最新の看護、医療を履修できます。実践的な課題に関する実験や調査などを行い、ゼミや個別指導形式によって修士論文を作成。基礎・地域看護学では多様な生活の場での看護援助、成人・老人看護学では高齢者の援助や慢性疾患、がん患者、家族の援助、災害看護など、母子看護学では母子を取り巻く健康問題について実践的に研究します。

高度な理論と技術を持ち、専門的看護ケアの実践能力を備えた看護専門職と指導的役割を担う教育・研究者を育成。看護学の基盤となる幅広い領域の習得と実践、研究能力の向上を目指します。



看護学専攻での実験の様子

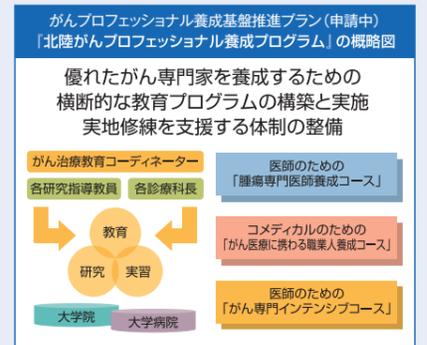
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(申請中) 北陸がんプロフェッショナル養成プログラム

高い臨床能力と研究能力を併せ持ったがん専門医師及びコメディカルを養成するためのプログラム。北陸地域の5大学(金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学)が共同で取り組み、ICT(Information & Communication Technology)による融合型教育システムと「がんプロネット」を構築。北陸地域内外で、がん情報の発信や交換をすることができず。

参加する大学病院及びがん診療連携拠点病院は、北陸地域のがん患者の70%以上を診療しています。参加する全病院に各種がん診療の標準化を求め、地域のがん診療の質的向上、均てん化を図ります。また、集積されたがん診療のデータベースを用いて、アウトカムの検証を行い、診療向上のためにフィードバックするとともに、臨床共同研究に発展する予定です。

チームワークを重視した医師及びコメディカルの融合型教育システムは、日本のがんプロフェッショナル養成システムのモデルとして期待されています。

さらに引き続き、平成24年度「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」を申請中です。



卒業生メッセージ

Q. 命に携わるために必要な素養、能力とは？

A. 患者さんの話をじっくりと聞き、本当に訴えたいことを汲み取る能力

水野優美さん

医学科 2010年卒業
福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター勤務



○初期臨床研修で学んだこと

卒業後の初期臨床研修では、各診療科を数ヶ月ごとにローテーションでまわります。病棟では担当する患者さんのカルテをチェックしたり、患者さんの話を聞いて、些細なことでも気づいてあげられるよう努力しています。学生の頃は、患者さんの質問に答えられなくてもどかしい思いをしましたが、答えてあげられることが増えてきましたし、頼りにしてもらえると嬉しいですね。ちょっとしたことで、わからないと不安になるものです。小さな疑問に答えてあげるだけでも、患者さんの助けになれることを実感しています。

○どんな医師を目指していますか

附属病院では、救急部と診療科が連携して治療に当たるER型の救急医療を行っています。母校ですから、他の診療科でも知っている先生が多くて相談しやすい環境です。月に数回、救急部を担当することもできるので、総合医としてのスキルも身につけたいと思っています。まだまだ勉強不足で日々悩むことばかりですが、患者さんの話をじっくり聞き、患者さんが本当に訴えたいことを引き出してあげられる医師になりたいと思います。

Q. 命に携わるために必要な素養、能力とは？

A. しっかりとした知識と信頼してもらえる姿勢を身につける

堀岡昭広さん

看護学科 2010年卒業
福井大学医学部附属病院消化器外科勤務



○卒業して気づいたこと

看護師を目指したきっかけは、高校の時に看護師体験をする機会があり、患者さんの入院生活を支える姿に憧れたことです。職場に配属されたばかりの頃は、学生実習とは比べものにならない重い責任とプレッシャーでとまどいました。大学の授業で学んだ身体の基礎的な知識が実務にも大きく関わっていて、教科書を引っ張りだして勉強し直したこともあります。看護は患者さん身体の状態によって変わります。病気が身体にどのような影響を与えるのかといった医学の基礎を熟知しているのと熟知していないのでは、看護師としてできる

ことが大きく違うのだと実感しました。

○どんな看護師を目指していますか

まだ一人では、患者さんのお世話を十分にできませんが、力仕事や男性の患者さんのお世話など、男性看護師だからできることに積極的に取り組み、自分にできることを増やしていきたいです。患者さんがちゃんと納得できるように、真摯に丁寧な受け答えができる看護師になることが目標です。しっかりとした知識と信頼してもらえる姿勢を身につけていきたいです。

※所属等は取材時のものです。

Q.
これまでにないものを
創るために
何をすればいい？

工学部

FACULTY OF ENGINEERING

機械工学科

電気・電子工学科

情報・メディア工学科

建築建設工学科

材料開発工学科

生物応用化学科

物理工学科

知能システム工学科

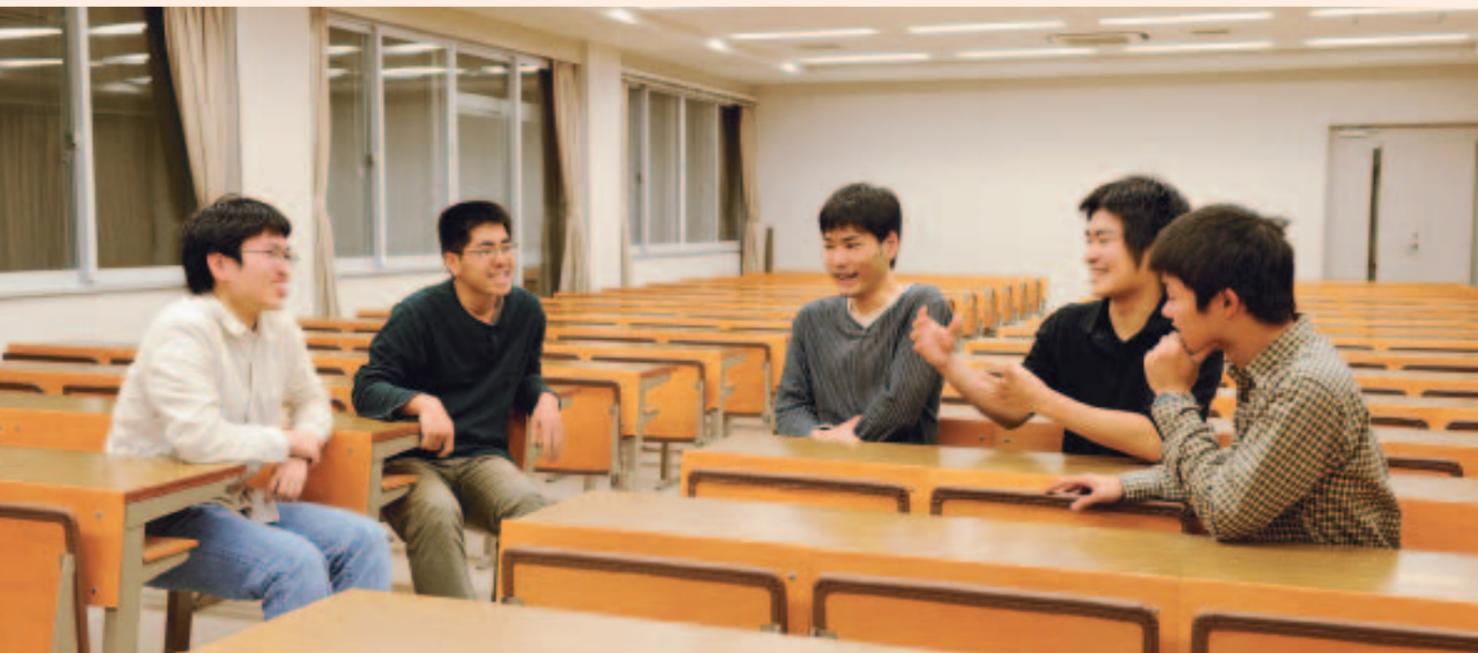
夢を描き、それをかたちにする
IMAGINEERを育てる

基礎的な知識・教養と高度な専門能力に加え、創造力、評価力、自己学習力およびコミュニケーション能力を併せた総合能力を持つ技術者・研究者を養成します。また、地域社会と国際社会の豊かな発展に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。

【特集／座談会】

夢中になれる、何かに出会う、創成教育プログラム

全工学部生が共通の時間枠で自由度の高い実践活動をする「学際実験・実習」と授業終了後も続けて参加できる「創成活動」。これらを柱とした工学部の取り組みは、学生のやる気と自信を引き出す技術者育成プログラムとして文部科学省からも高く評価されています。「創成活動」に参加した学生5名が活動と自身の成長を振り返りました。



興味を刺激され さまざまな創成活動が生まれた

近藤 「学際実験・実習」は2年次から開講されている科目ですが、ロボットが作れると聞いて、せっかく福井大学に入ったのだからと1年次で受講を申請しました。ロボットを作るといっても易しいレベルと聞いていたので、それほど不安はありませんでした。課題に合わせて2種類の知能ロボットを製作します。私が受講した年のテーマは、棒を倒すゲームができるロボットと自由なパフォーマンスを披露して競い合うロボットを作ることでした。

諸岡 私も1年次に知能ロボットの製作に参加しました。1年次でも参加したいと思う学生に受講する機会を与えてくれるのは、福井大学の良いところだと思います※1)。課題は毎年、変わるので続けて受講しても面白いし、経験を重ねていくとできることが広がって楽しいです。

中尾 エコロジー&アメニティプロジェクト(通称:エコアメ)で自転車のリユースに取り組み始め、その後、継続して活動しています。きっかけは、学内に放置されている自転車が多くのに気

Q これまでにないものを創るために 何をすればいい？

**A. 人脈を広げ、アイデアを育み
挑戦し続ける**

諸岡 睦さん
知能システム工学科3年次(現・4年次)
マウスロボット
参加



づいて、もったいないなと思ったこと。そのことを話したら、同じように考えている学生がいて、一緒になんとかしようと立ち上げました。この活動は今年で3年目になります。自転車は数百台見つかりました。エコアメにはパソコンのリユースに取り組んでいるチームもありました。

山本 福井大学の「創成活動」は入学前から知っていましたし、ロボット相撲をやっていたなと思っていました。大学がいろいろと支援をしてくれることを聞いていたので、好きなことが思いっきりできそうで期待は大きかったです。実際に、先生方にどんなことを相談しても親身になって聞いてくれますし、前向きなアドバイスをしてくれます。熱意を持って取り組みれば、補助してもらえるので製作で困ることはありませんね。

やりたいことに集中 興味の幅がどんどん広がる

本井 F1が好きで、大学ではフォーミュラカーの製作チームに入ろうと思っていました。所属するフォーミュラカー製作プロジェクトは、年に1度、全国日本学生フォーミュラ大会に出場しています。競技の種類はいろいろありますが、一番難しい競技に20kmを連続走行するものがあって完走するのが難しい。今年度は完走することを目標に、昨年の車をベースに改良して参加。福井大学として初めて完走することができました。大会ではコンセプトからコスト管理、プレゼンなどが評価の対象になります。完走したという経験は大きな自信になりましたね。

諸岡 マウスロボットも誤作動の調整などで完走するのが難しい競技です。迷路を赤外線センサーで探索し、ゴールまでに達する最短距離と最短時間を競います。数あるロボット競技の中でも30年以上と歴史が長く、膨大な知識や技術を積み上げています。OBから技術を教えてもらえる月例会のような集まり

Q これまでにないものを創るために 何をすればいい？

**A. どうすれば目標が達成
できるかを考えて
実践する**

本井嘉浩さん
機械工学科4年次
(現・工学研究科1年)
フォーミュラカー製作プロジェクト
参加



Q これまでにないものを創るために 何をすればいい？

**A. 良いものを作ろうと団結したり、
意見をぶつけたり、互いに
刺激し合える関係を築く**

山本晋吾さん
電気・電子工学科3年次(現・4年次)
ロボット相撲
参加



に参加すると、勉強になることが多いです。他の大学と交流する機会もありますし、いろいろな人に会えて楽しいですよ。人脈も広がりますね。

山本 ロボット相撲は、ロボットを土俵に置き、センサーで対戦相手を見つけて、磁石で踏んぱりつつ、押し合って競います。大きな電力とモーターを使うので、電気回路が複雑でシステムの影響が出やすいのが特徴です。電気回路を使ってモーターを回すという点で、マウスロボットとロボット相撲は仕組みが似ています。電気回路の授業と平行して学ぶと興味がどんどん広がって面白いです。

諸岡 私は知能システム工学科でロボットは専門に近いのですが、最初は教えてもらうことばかりでした。高校が普通科だったのでロボットの知識が全くなくて。でも、2年次になってベーシックマウスに対するプログラムが使えるようになってからは、一人で作れるようになりました。学内には24時間使えるロボット工房があって、そこでいつでも製作できるから便利です。

本井 フォーミュラカーも製作工房があって、活動しやすいですよ。24時間勉強できる自習室もあり、試験前になるとたくさんの学生が勉強しています。

中尾 入学したばかりの頃は、どのくらいのペースで単位を取っていけばいいのかかわからなくて、助言教員制度※2)を利用して担当の先生に相談していました。苦手な分野を分析してくれたり、あと少し頑張ってみたらなどのアドバイスが心強かったです。

近藤 私も1年次の「学際実験・実習」を経験して、もっと柔軟な考えができるようになりました

※2 各学生に助言教員がつき学生の各種相談に応じます。

※1 教員の承認を得た上で、受講者数に余裕がある場合に受講できる制度になっています。

夢をかたちにする技術者 IMAGINEERを目指して

【学部の特徴】

私たちの暮らしを支える、最も身近な学問のひとつに工学があります。身の回りの豊かな生活や社会を支えているのが科学技術、それらはすべて工学に基づいています。工学とは、人類の叡智を、人類のためにかたちにする学問です。

工学部は、8学科で構成。工学分野のほとんどを網羅した、日本有数の大規模な工学教育研究機関です。また、全国的に高い評価を得ている教育プログラムは、文部科学省からも特色のある優れた大学教育として多数採択されており、その成果は高い就職率となって表れています。

夢を描き(IMAGINE)、それをかたちにする人(ENGINEER)。高度専門技術者(IMAGINEER)を育成することが本学部の教育目標です。高度専門技術者は、最先端の専門的知識や技術を習得することに加え、広い教養と自らを省みる批判的精神をもち、常に創造力を高めることが必要とされています。科学技術で世界をリードすることが期待される日本。その将来を担い、各分野での世界のリーダーとなる人材を育成します。

【取得可能な資格】

学科	資格	備考	
機械工学科	エネルギー管理士(熱管理士、電気管理士) 第一種・第二種 ボイラー・タービン主任技術者 特級・一級・二級 ボイラー技士 第一種冷凍空調技士、第一種冷凍機械責任者 一級・二級・三級 自動車整備士 一級・二級 建設機械施工技士 自動車整備管理者 建築設備士 工業標準化品質管理推進責任者	受験資格の取得に実務経験要	
電気・電子工学科	電気主任技術者	所定の授業科目を取得し、実務経験を積むことで資格を得ることが可能	
	無線従事者	所定の授業科目を取得すれば、無線従事者国家試験の第一級・第二級陸上無線技術士の科目「無線工学の基礎」が免除	
	電気通信主任技術者	所定の授業科目を取得すれば、電気通信主任技術者国家試験科目「電気通信システム」が免除	
	第一級陸上特殊無線技士、第二級海上特殊無線技士、第三級海上特殊無線技士	所定の授業科目を取得すれば、資格を得ることが可能	
情報・メディア工学科	基本情報技術者 応用情報技術者	受験により取得可能	
建築建設工学科	一級建築士	建築学コース 建設工学コース	2年の実務経験により受験資格 所定の単位を取得することにより、2年の実務経験を経て受験資格
	二級建築士、木造建築士	建築学コース 建設工学コース	卒業と同時に受験資格 所定の単位を取得することにより、卒業と同時に受験資格
	測量士	建設工学コース	正味1年間の測量実務経験の後、申請により資格取得
	測量士補	建設工学コース	申請により資格取得
	技術士		第一次試験免除
材料開発工学科	危険物取扱者(甲種)	受験資格	
生物応用化学科	危険物取扱者(甲種)	受験資格	
物理工学科	第1種・第2種 放射線取扱主任者 高圧ガス製造保安責任者	受験により取得可能	
知能システム工学科	基本情報技術者 応用情報技術者	受験により取得可能	
学科共通	国家公務員I種、II種、地方公務員上級 消防設備者甲種	受験により取得可能	
	一級技術士、一級技能士 技術士補	受験資格の取得に実務経験要 試験の一部免除	
	公害防止主任管理者、公害防止管理者 第一種・第二種 作業環境測定士 労働安全・労働衛生コンサルタント 第一種・第二種 衛生管理者 廃棄物処理施設技術管理者 建築施工管理技士、管工事施工管理技士 造園施工管理技士、電気施工管理技士、土木施工管理士 1級・2級 建築機械施工管理技士	受験資格の取得に実務経験要	
	FE Fundamentals of Engineering	受験により取得可能	
	PE Professional Engineer	受験資格の取得に実務経験要	

いと思って助言教員の先生に相談しました。じっくり話を聞いてくれましたし、参考になる本を貸してくれたり、相談して良かったと思います。

Q これまでにないものを創るために何をすればいい？

A. もっと人間に近い
ロボットを作る、
夢をどんどん膨らませる



近藤 耀さん
知能システム工学科1年次(現・2年次)
知能ロボット
〔「学際実験・実習」〕に参加



成長し、刺激し合える 仲間と出会う

山本 ロボット相撲ではみんなで1体のロボットを扱うので、メンバーの意見がぶつかることがあります。でも一緒にやることでロボットの知識が広がりますし、話し合う中でより良いものを作ろうと団結したり協調する力が身につきます。一方で、全員が集まって活動をするため、誰かが参加できないと進行が滞ったりすることも。得意な分野を率先してやったり、不得意分野をカバーしあったりお互いに刺激し合える関係が築けます。

中尾 活動を始めたばかりの頃は、学内で許可をもらうための交渉が必要だったり、直した自転車の安全性を保証する責任が生まれたり、放置自転車の所有権といった法律上の問題をクリアするために警察に問い合わせたりと修理するだけではなく、多くのことを学びました。それに、自転車のリサイクルをしていると、遊房や雑木林を楽しむ会といった他の創成活動のグループから誘われることもあって、他学科の友達が増え、他学科の知識や考え方も身につきました。

近藤 「学際実験・実習」のロボット作りは、リーダーとハード、プログラムと担当を分けて3名で活動しました。リーダーが具体的な提案をして、それに合わせて製作しましたが、だんだんと全体の要求レベルが高くなって困ることも。やっていくうちに問題点に対してどうすれ

ば良いかを考えるようになり、要求に応えられた時には達成感と自分の成長を感じることができました。

実践して、ものづくりの魅力を感じ、 将来の夢をふくらませる

本井 製造業に就職するのなら、学生時代に車を1台作るということは大変貴重な経験。もちろん、大学やスポンサー企業から活動費を出してもらっているので責任があります。限られたコストで作れる部品を考えたり、自分にできる範囲で責任を持ってやるということを学びました。将来は、自動車関係の仕事に就いて、ここで学んだことを活かしたいと思います。

中尾 大学に進学した理由のひとつに教員免許を取ることがありました。高校の時から人に教える仕事がしたいと思っていて、創成活動では自分の経験を伝えたり、後輩に教えるという良い経験ができたと思っています。

山本 この活動でロボット製作がもっと好きになりましたね。分野は決めていませんが、将来は、工業用ロボットや知能ロボットを作る仕事に就きたいと思っています。

諸岡 ロボットといっても産業用だったり、サービス業に使われるものだったり、さまざまです。車を作る産業用ロボットなど、ものづくりを支えるシステム系のロボットに興味があります。

近藤 ロボットのプログラミングを経験してみても、プログラムで動くロボットはあるひとつの行動を覚えさせるだけでも、いろいろな不具合やトラブルを起こします。もっと人間に近い、自分で考えて動くようなロボットを作りたいいなと夢がふくらみました。

Q これまでにないものを創るために何をすればいい？

A. 思いつきも、まずは実行
そこからの発見も
大事にする

中尾義則さん

材料開発工学科4年次(現・工学研究科1年)
エコロジー&アメニティプロジェクト
〔「学際実験・実習」〕に参加



機械工学科

環境と調和したもののづくりに貢献できる人材を育てる



【左】創成科目「機械創造演習」の授業風景

【中】演習で超精密加工機を用いて製作した車いす

【右】CADによる車いすの製作図

機械工学は、ハードとソフトの両面から、環境と調和した快適な社会生活を過ごすためのものづくりを進める分野です。ものづくりに貢献し、国際社会で倫理観を持って活躍できる機械技術者を育成することを教育目標としています。

カリキュラムは「材料技術」「設計加工技術」「熱・流体システム技術」「計測制御技術」といった、機械工学に含まれる幅広い基礎学習か

ら始まります。基礎学力を身につけた上で実践力を養う「創成科目」へと進み、ものづくりを通して未知の問題を解決する能力を育みます。仕上げである卒業研究では問題解決能力にさらに磨きをかけ、国際的に活躍できる機械技術者として送り出します。

創設から約80年。機械工学科には、長い年月をかけて培ってきた実績があります。

専門分野での連携教育で幅広い知識を習得

3つの講座を設置。各講座が連携して専門分野を指導します。

- 機能創成工学講座**
機械の設計や生産に必要な材料設計、加工技術の研究と、それらに関する研究を行っています。
- 熱流体システム講座**
熱システム、流体システム、および環境エネルギーに関する研究を行っています。
- システム制御工学講座**
機械システムの動的挙動の解析・モデル化・同定・設計・計測・制御、メカトロニクスに関する研究を行っています。



原子間力顕微鏡を使ってナノスケール(10⁻⁹m)での表面解析を行っている様子



新しい燃料に支えられた新方式の自動車エンジン燃焼研究(噴霧の微細構造の研究風景)



カモ型ロボットによるアイガモ農法支援システム

在学生メッセージ

Q. これまでにないものを創るために何をすればいい？

A. 一つひとつの課題を解決していくプロセスを身につける



高田耕太さん
機械工学科
2年次(現・3年次)
機械工学科では、機械について幅広く学べますし、フォーミュラカーの製作活動を通して一つひとつの課題を解決していくプロセスが身につけることができます。先生や先輩、同級生が課題解決のために協力し合う校風があり、それが大学の魅力だと思います。

電気・電子工学科

地球的視点で物事を捉える“実行力のある技術者”を育成



【左】AVR(自動電圧調整装置)を用いたプログラムの検証(システム工学講座)

【右】デバイス特性評価装置 窒化物半導体を用いた新構造トランジスタの基本特性を測定(電子物性講座)

現代社会や神経系統として社会を支える情報・通信および電力ネットワークにおいても、生産やサービスなど産業の現場を支える計測・制御・管理システムにおいても、ハードウェア・ソフトウェア両面で電気・電子工学は中心的な役割を果たし大きく貢献しています。このため産業構造が高度化し、複雑化する中で、電気・電子工学の重要性が一層高まっています。

電気・電子工学科は「次世代を担う新しい産業創生への挑戦者の

養成」を目指し、各分野における専門知識・応用能力を習得し、広範囲なニーズに柔軟に対応できる“実行力のある技術者”を育成します。

また、近未来の知的基盤社会は、「先進的な電子・光デバイスとソフトウェアの開発」「新しい設計思想に基づく高度なシステム化」「高効率・安定・クリーンなエネルギー供給」があって初めて実現されるものです。これらの要素をふまえ、“地球的視点”に立った研究を行っています。

社会のニーズに対応した充実の3講座9分野

3つの講座を設置。次世代技術者の育成に取り組みます。

- 電子物性講座**
電子材料分野
半導体光物性及びテラヘルツ領域物性
電子デバイス分野
電子輸送・界面物性と電子デバイス応用
量子エレクトロニクス分野
レーザ装置の開発とレーザ分光研究
光エレクトロニクス分野
光デバイス研究とレーザ応用・環境センシング
- エネルギー工学講座**
電気エネルギー分野
エネルギー変換に関する新材料・デバイスの研究
電力システム分野
電力系統運用の効率化と高機能化
- システム工学講座**
システム工学基礎分野
回路・システム理論とシステム技法・ソフトウェア技術
計測制御分野
システム最適化と制御の理論・技術の研究
情報通信システム分野
誤り制御、情報セキュリティ



電力システムシミュレータ
電力システムの安定性や自然エネルギー利用の分散型電源の系統連係に伴う、さまざまな課題を解析(エネルギー工学講座)

在学生メッセージ

Q. これまでにないものを創るために何をすればいい？

A. 違う分野のことも、興味があれば積極的に自由に学ぶ



秋山直輝さん
電気・電子工学科
2年次(現・3年次)
共通教育科目が多く、所属の学科と違う分野のことも興味があれば自由に学べます。電気・電子工学科では、2年次の後期から学生実験が始まり、自分の力で結果をレポートにまとめます。専門に入る前に、しっかりと基礎を固めて、本格的な研究に備えたいと思います。

機械工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 基礎教育科目 保健体育科目 教養教育・副専攻科目	大学教育入門セミナー 第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目 均等履修 集中履修 自由履修	第1外国語科目(英語)	
専門基礎科目	線形代数I 線形代数II 微分積分I 微分積分II 数学演習I 数学演習II 運動力学 物理学II 物理学実験 工業日本語I 工業日本語II 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	微分方程式 確率統計基礎 応用数学II 応用数学III 物理学III 工業日本語III 工業日本語IV 学際実験・実習I	応用数学IV 統計学 学際実験・実習II 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
専門科目	図学及び製図基礎 機械工作実習 機械リサーチI 機械技術と社会 機械材料基礎 材料力学 材料力学演習 機械加工学 機械運動学	機械製図及びCAD基礎 機械設計製図 プログラミング及び演習 機械リサーチII 機械英語 機械材料 構造設計工学 固体力学 機械要素設計I 成形加工学 基礎熱力学 応用熱力学 流れ学 流体システム 熱流体力学演習I 熱流体力学演習II 基礎振動工学 システム制御演習 基礎計測制御 電気工学概論	機械工学実験 数値解析 機械創造演習I 機械創造演習II 機械技術者の倫理 環境材料学 機械要素設計II トライゴロジ 加工解析 伝熱学 エネルギー変換工学 エネルギー機械 内燃機関工学 流体力学 機械力学 制御システム 計算機制御 メカトロニクス 生産システム工学	機械工学ゼミナール 機械技術英語特別講義
卒業論文				卒業論文

電気・電子工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 基礎教育科目 保健体育科目 教養教育・副専攻科目	大学教育入門セミナー 第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目 均等履修 集中履修 自由履修	第1外国語科目(英語)	
専門基礎科目	線形代数I 線形代数II 微分積分I 微分積分II 確率・統計I 確率・統計II 物理学I 物理学II 計算機基礎 ベクトル解析 力学 力学演習 工業日本語I 工業日本語II 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学I 応用数学II 物理学III 電磁気学I 電磁気学II 電磁気学演習I 電磁気学演習II 計算機基礎 ベクトル解析 力学 力学演習 工業日本語I 工業日本語II 工業日本語III 工業日本語IV 学際実験・実習I	応用数学IV 学際実験・実習II 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
専門科目	電気・電子数学演習I 電気・電子数学演習II 線形回路入門演習 半導体デバイス概論 システム情報数学	アナログ電子回路 デジタル電子回路 数値解析 量子力学 固体電子論 計測工学 エネルギー工学 信号処理工学 技術英語 技術史 電気・電子工学実験I	光エレクトロニクス 量子統計力学 電子エレクトロニクス 電磁波工学 半導体工学 電子デバイス 回路理論III 制御理論基礎 パワーエレクトロニクス 電気エネルギー発生 エネルギー変換工学 制御理論 電気機器学 電気エネルギー伝送 プラズマ工学 情報理論 ソフトウェア工学 情報ネットワーク基礎 システム工学 情報通信工学 電気・電子工学実験II 電気・電子工学実験III	電気エネルギー応用 電気機器設計 電気法規及び施設管理 応用システム工学 電波・電気通信法規 技術者倫理 電気・電子工学実験演習
卒業論文				卒業論文

情報・メディア工学科

これからの高度情報化社会に貢献する技術者を育成



[左] 計算機室での実験の様子

[右] 計算機室での空き時間を使った自習の様子

インターネットや携帯電話の急速な普及は、社会に大きな変化をもたらしています。20年ほど前に計算機室を占有していた大型コンピュータも、半導体の技術進歩により手のひらに載るほど小型化し、高性能化しました。さらには分散処理技術で高速大容量化が進展。人びとの活動の維持と改善のためには、優れた情報技術の確立が必要不可欠となっています。「情報工学」と「メディア工学」の二つの分野で成り立っている情報・メディア工学科。「情報工学」は、大量の情報を効率よく正確かつ安全に伝

達、蓄積、処理する技術。「メディア工学」は、人間の五感に訴える形で情報を表現、交換、処理する技術。いずれも変わりつつある現代社会を豊かな高度情報化社会へと結びつける基礎となる専門分野です。これからの「情報工学」と「メディア工学」を健全に発展させることが、安心で安全な「高度情報化社会」を作ることに結びつきます。情報・メディア工学科は、情報・メディア工学をハードウェア・ソフトウェア両面から捉え、新時代に適した教育と研究により、高度な技術者を育成します。

〇 系統的、段階的に学ぶ情報通信システム

2つの講座を設置。ハードとソフト、双方の分野の理解を深めます。



計算機・通信講座

コンピュータハードウェア(コンピュータ通信を含む)に関する計算機構成・情報通信がテーマです。「トランジスタ」「超微細・超高速電子デバイス」「高性能コンピュータの先進的アーキテクチャ」「コンピュータ通信とコンピュータネットワーク」「システムLSIと設計法」に関する研究・教育を行います。

メディア・情報処理講座

コンピュータシステムを効果的・効率的に活用するソフトウェアとマルチメディア情報処理がテーマです。「コンピュータ本体やデータベース」「通信システム・数学計算・グラフィック処理などのアルゴリズム」「ソフトウェアアーキテクチャ」「ソフトウェア開発技術」「マルチメディア情報処理(画像・音声などの認識、合成、情報交換など)」に関する研究・教育を行います。



[上] PICを用いた回路の製作
[下] 情報工学実験の様子

在学生メッセージ

Q. これまでにないものを創るために何をすればいい?

A. わからないことがあってもそのままにしない

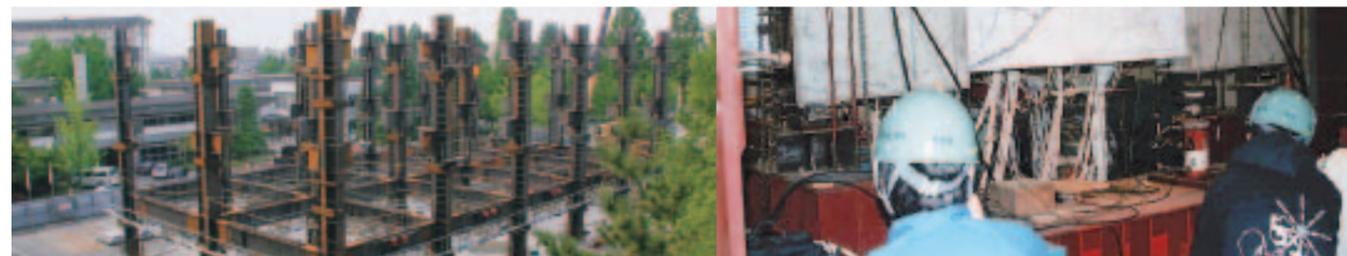


小野宏介さん
情報・メディア工学科
1年次(現・2年次)

将来はIT関係の仕事に就きたいと考えていて、プログラミングの勉強をしています。就職率の高さが福井大学のすごいところ。わからない学生がそのままにならないよう、念入りに指導して下さる先生方の姿勢が就職率の高さにもつながっているのだと思います。

建築建設工学科

実践的な研究をベースに総合技術を身につけた人材を育てる



[左] 建設中の総合研究棟

[右] 鉄筋コンクリート梁の載荷実験

建築学と土木工学の特徴を活かしながら両者を有機的に結びつけ、人文・社会科学的な知恵も含めて、環境を総合的に捉えることが建築建設工学科のテーマです。これまで、建築学は住宅・店舗・オフィスビル・学校・劇場などの建築物を対象にし、土木工学は道路・鉄道・橋梁・堤防・港湾・ダムなど公共構造物を主な対象としていたため、両者はそれぞれ独自の発展を遂げてきました。しかし近年、生活や社会が多様化・高度化・国際化していく中で、地球

環境の保全と自然災害に対する万全の備えの必要性が高まっています。人間の生活環境を再構成するための総合技術として「建築建設工学」を見つめ、これまでの工学技術の枠を超えた「社会の多方面で貢献できる、総合的で実践的な研究者・技術者の育成」を目指しています。安全で豊かな生活と環境共生社会の構築は、文化的、社会的、国際的な観点から広く環境を捉える「建築建設工学」があってこそ実現します。

〇 多彩な科目で身につける高度な建築学と建設工学

2つのコースは、教育プログラムの審査を行うJABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けています。

学生の個性に対応しながら少人数教育を実現するため、緩やかなコース制を採用しています。最初の1年半で総合的な問題意識と基礎学力を習得。その後の2年半は「建築学コース」「建設工学コース」に分かれ、それぞれの目標に応じて、より専門的な授業を行います。

建築学コース

生活空間構築に関わる建築学と関連分野(構造・材料・施工・環境・設備・計画・設計・歴史・意匠)の専門知識を備えた上で、計画・設計・施工・維持・管理などに応用できる能力を身につけます。



福井城跡天守台階段照明

建設工学コース

生活空間構築に関わる土木工学と関連分野(構造工学、水理学、地盤工学、土木計画学、材料学、環境工学)の専門知識を備えた上で、計画・設計・施工・維持管理などに応用できる能力を身につけます。



小辻家住宅 保存・改修



測定の授業

在学生メッセージ

Q. これまでにないものを創るために何をすればいい?

A. グループ課題に取り組み、協調性とリーダーシップを学ぶ



犬石真紀子さん
建築建設工学科
3年次(現・4年次)

良い意味で、こじんまりとしたキャンパスが魅力です。講義は少人数で受けられますし、数々のグループ課題にみんなで取り組むので、クラス全員と仲良くなれましたね。将来はショップのデザインなど、内装まで手掛けられるような建築士になりたいです。

〇 情報・メディア工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)		
教養教育・副専攻科目	均等履修 集中履修 自由履修			
専門基礎科目	履修セミナー 線形代数I 微分積分I 力学と微分方程式 線形代数II 微分積分II 確率統計 数学演習 ものづくり基礎工学 日本の工学と技術 工業日本語I	履修セミナー 応用数学 物理学II 応用電磁気学 学際実験・実習I 工業日本語III 工業日本語IV	履修セミナー 学際実験・実習II インターンシップ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー	履修セミナー ベンチャービジネス概論
専門科目	離散数学I 離散数学II プログラミングI プログラミングII	形式言語とオートマトン 論理回路 情報理論 フーリエ解析 電気回路 情報工学実験I データ構造とアルゴリズム コンピュータアーキテクチャ オペレーティングシステムI プログラミングIII 多変量解析 電子デバイス基礎 コンピュータネットワーク	情報工学実験II ソフトウェア工学 オペレーティングシステムII データベース コンパイル 信号処理 電子回路 制御工学 情報工学実験III 情報技術英語 計算論とアルゴリズム設計 プログラミングIV コンピュータグラフィックス 情報伝送システム 画像処理 数値解析 集積回路工学 情報工学実験IV	情報コロキウム
卒業論文				卒業論文

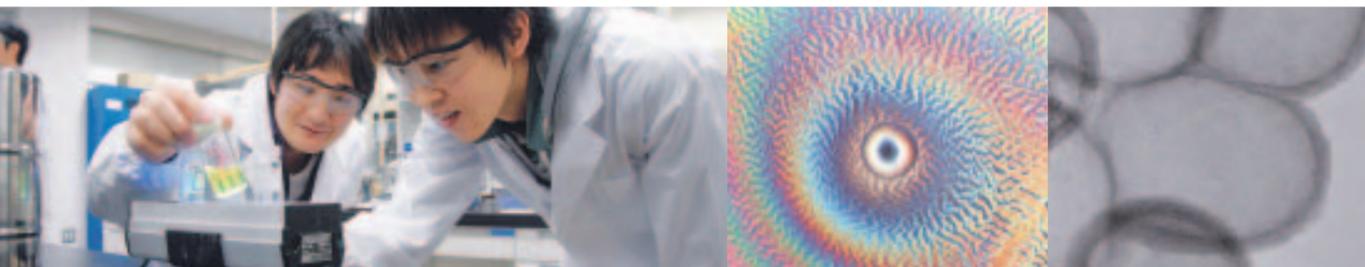
〇 建築建設工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)		
教養教育・副専攻科目	均等履修 集中履修 自由履修			
専門基礎科目	線形代数I 線形代数II 微分積分I 微分積分II 物理学I 物理学II 物理学実験 工業日本語I 工業日本語II 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学 学際実験・実習I	応用数学I 応用数学II 確率・統計 工業日本語III 工業日本語IV 学際実験・実習II	学際実験・実習III 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
専門基礎共通科目	測量学第一及び実習 建築構造基礎第一及び演習 建築構造基礎第二及び演習 構造力学第一及び演習 応用地質学	材料学 建築建設技術者倫理 構造力学第二及び演習		
専門科目	設計演習基礎第一 建築計画通論	設計演習基礎第二 日本建築史 西洋建築文化史 地球・都市環境工学 都市計画	構造力学第三及び演習 地盤工学第一 水理学第一	骨組力学 建築耐震工学 建築基礎工学 建築施工 鉄筋コンクリート構造及び演習 鋼構造及び演習 構造材料実験 構造設計演習 地盤工学 地盤工学第二及び演習 建設施工法 水理学実験 水理学第二
卒業論文又は卒業計画	近代建築史 建築設計演習第一 造形演習第一 建築計画各論第一 建築環境工学第一 建築法規 建築設備 計画数理 居住地計画 地域計画 都市計画設計演習	建築設計演習第二 建築設計演習第三 造形演習第二 建築計画各論第二 建築意匠論 建築環境工学第二 建築法規 建築設備 計画数理 居住地計画 測量学第二及び演習 都市計画設計 建設工学設計演習 都市デザイン 交通計画	底園学 国際開発及び援助論	卒業論文又は卒業計画

緑字…建築学コース 青字…建設工学コース

材料開発工学科

枠にとらわれない知的好奇心で、夢あふれる新素材を開発する



[左] 研究の様子

[中] 高分子超薄膜結晶

[右] ナノ中空体粒子

「材料」が関わる革新的技術は、ナノテクノロジー、バイオ、情報通信技術、エレクトロニクス、エネルギー工学、土木・建築技術、機械工学、ロボット工学などのあらゆる工学分野にわたります。「材料」はこれらの新技術と、人や地球環境との調和を実現するキーテクノロジーでもあります。

材料開発技術は、化学を中心に物理・数学・生物など幅広い基礎学問を土台としています。一方で、学問の枠組みにとらわれない柔軟な発想、エネルギー的な知的好奇心も必要とされ、夢のある新素材を作り出す分野でもあります。材料開発技術を通じて豊かな社会に貢献する研究者・技術者を育成します。

○ 少人数による密度の高い教育システムを実施

産業と社会を支える材料開発技術者を育成するために、3つの講座が連携して、材料開発に求められる分子設計、合成、物性、加工、プロセス開発などの基礎的能力を育成します。

エネルギー・物質変換化学講座

新しい機能を持つ無機、有機、高分子材料の開発、環境科学に関連した物質の分析や分離についての研究を行います。



本学科で開発したリチウムイオン電池を用いた電車運転実験

インテリジェント材料講座

刺激応答性を有した能動的機能材料の探索および材料の構造と物性の制御、機能評価に関する研究を行います。



学生実験の授業で、学生自身が考案した「どこまでも伸びるスライム」

生産加工プロセス講座

材料の生産と加工に必要な装置や機器の基本原理解明と設計、新たな生産加工プロセスの開発に関する研究を行います。

「学生一人ひとりが理解する喜びを実感できる教育」がモットー。数学と物理を重視しながら、化学と工学の基礎的能力が総合的に身につくように構成しています。重要科目では、小クラス編成で演習をふんだんに取り入れています。また、学生が主体的に創造力と実現力を育む教育に力を入れています。

在学生メッセージ

Q. これまでにないものを創るために何をすればいい？

A. さまざまな素材、広い分野での研究に触れる



高松直矢さん
材料開発工学科
3年次(現・4年次)

化学と物理が好きで両方を学びたいと思い、どちらの学問も体現していた材料開発工学科を選びました。さまざまな素材に触れる機会があり、広い分野で研究が行われているのが魅力。将来は化学分野の職業に就きたいので、熱力学や設計力学をしっかりと学びたいと思います。

生物応用化学科

持続可能な暮らしを見据え、応用化学を発展させる人材を育成



微生物・動物細胞の培養は、雑菌の混入を避けるため、クリーンベンチにて無菌操作します

これまでの化学は、自然現象を分子レベルで解明し、それをもとに多くの新しい化合物を作り出し発展してきました。しかし、環境汚染や資源荒廃などが社会問題となる中で、環境に優しい化学品や製造方法が求められ、「応用化学」が必要とされるようになりました。

一方で、DNAの二重らせん構造と自己複製機構が提唱されて以来、生命現象を分子の機能として理解する生命科学、さらにバイオテクノロジーも急速に進展してきました。生命科学は遺伝子工学、蛋白工学、細胞工学などの新しい技術(物質生産、医薬、診断といった分野に應用)を生み出し、また、環境保護、エネルギー生産、資源の有効利用などへの應用研究も進められています。

生物応用化学科は、「応用化学」分野、ついで「生物化学」分野を充実させてきた長い歴史を持ちます。生物化学と応用化学の融合を図ることによって、新時代に向けた科学教育と研究体制を整えています。21世紀を生きる私たちが目指すのは、自然と共生し、持続的に成長できる社会を実現すること。社会発展のために創造的な研究に取り組むことが本学科の大きな特長です。

生物応用化学科は、「応用化学」分野、ついで「生物化学」分野を充実させてきた長い歴史を持ちます。生物化学と応用化学の融合を図ることによって、新時代に向けた科学教育と研究体制を整えています。21世紀を生きる私たちが目指すのは、自然と共生し、持続的に成長できる社会を実現すること。社会発展のために創造的な研究に取り組むことが本学科の大きな特長です。



NMR(核磁気共鳴分光装置)超伝導磁石に入れた試料に電波を当てて原子核を検出。分子構造が測定可能な装置

○ 個性的な2つの講座で学際的領域を開拓

化学とバイオテクノロジーを融合させ、豊かな社会の実現を目指します。



[上] LB培地 細胞膜と類似の構造を持つ超薄膜の作製と高機能化を行っています
[下] 四分子解析装置 顕微鏡を用いて酵母の母細胞と娘細胞を分離。遺伝情報がどのように伝わるかを解析しています

応用化学講座

生物有機化学：生理活性物質の合成、生体関連分子の捕捉、環境低負荷有機合成

高分子化学：高分子反応および精密重合による高機能性ポリマーの合成と応用

生物物理化学：分光法による分子構造と相互作用の解析を通じた自然現象の解明

応用物理化学：繊維・高分子に関わる加工技術の開発とその物理化学現象の解明

生物化学工学講座

生物化学：遺伝子工学的手法を用い、分子レベルでの機能解析から応用までを行う

分子生物物理：生物物理学や細胞工学によるタンパク質機能解明や再生医療の研究

生物プロセス工学：さまざまな生体関連物質の工業的利用を目指した生物化学工学的な研究

生命機能工学：遺伝子レベルでのタンパク質の設計と生体分子反応システムの構築

環境分析化学：物質を分離および定量する方法の理論と応用に関する研究

在学生メッセージ

Q. これまでにないものを創るために何をすればいい？

A. 学科をまたいで受講、幅広く学び興味を持つ



大阪一主さん
生物応用化学科
2年次(現・3年次)

一般の方が受講できる科目もあり、地域社会に密着した大学です。学科をまたいで受講できる「学際・実験実習」では、プログラミングを教えてもらい、とても興味を持ってました。創造的なバイオテクノロジー分野を幅広く学び、国際的に活躍できる技術者になりたいと思います。

○ 材料開発工学科 カリキュラム

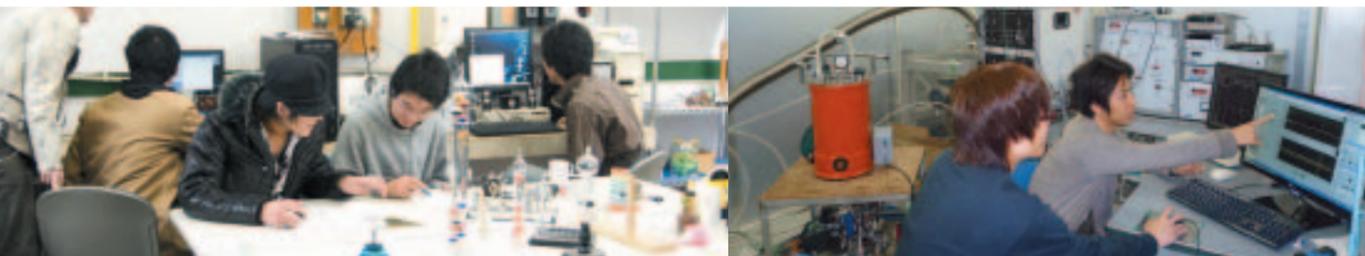
区分	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 基礎教育科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)	
教養教育・副専攻科目	均等履修 集中履修 自由履修			
専門基礎科目	初等化学 初等物理 線形代数I 線形代数II 微分積分I 微分積分II 力学 物理学II 熱力学I 熱力学II 分析化学 有機化学I 無機化学I 工業日本語I 工業日本語II 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学I 応用数学II 応用数学III 確率・統計 材料力学 波動・光学 有機化学II 無機化学II 基礎科学実験 工業日本語III 工業日本語IV 学際実験・実習I	学際実験・実習II 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
専門科目	情報処理演習	溶液科学I 溶液科学II 化学結合論 反応速度論 高分子化学 高分子物理 流体力学 移動現象論 機器分析化学 有機反応	環境と材料開発の科学 社会と技術者 環境化学 材料化学実験 材料物理実験 無機材料化学 応用電気化学 電子セラミクス 有機合成化学 高分子合成 機能性高分子 分子相互作用論 レオロジー 固体物理学 固体力学 複合材料 シミュレーション工学 材料加工工学 化学工学 テキスタイル工学 繊維科学概論 材料開発工学特別講義及び演習	技術英語演習 科学技術英語特別講義
卒業論文				卒業論文

○ 生物応用化学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 基礎教育科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 第1外国語科目(英語)		
教養教育・副専攻科目	均等履修 集中履修 自由履修			
専門基礎科目	線形代数I 線形代数II 微分積分I 微分積分II 物理学I 物理学II 物理学実験 化学I 化学II 生化学入門 基礎化学実験 生物科学 科学演習 工業日本語I 工業日本語II 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	物理学III 応用数学I 応用数学II 工業日本語III 工業日本語IV 学際実験・実習I	学際実験・実習II 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
専門科目		分析化学I 分析化学II 無機化学 化学熱力学 物理化学I 有機化学I 有機化学II 生物化学I 生物化学II 生物化学III 高分子化学I 生物応用化学実験I 生物応用化学実験II 生物応用化学演習I 生物応用化学演習II	物理化学II 有機化学III 生物化学IV 高分子化学II 化学工学I 化学工学II 応用微生物学 生物情報科学 基礎量子化学 ナノ材料化学 機能分子化学 生物有機化学 高分子合成 薬業工学 微生物工学 細胞工学 分子構造・機能解析概論 遺伝子工学 社会と技術者 創成型化学演習 繊維加工工学概論 テキスタイル工学 生物応用化学実験III 生物応用化学実験IV 生物応用化学実験V 生物応用化学実験VI 科学基礎英語演習	情報処理演習 科学技術英語特別講義
卒業論文				卒業論文

物理工学科

物理学を工学へ応用し、先端技術の架け橋となる



[左]学生の自主的な活動の場として、「物理博物館」が創られました。学年の枠を超えた交流ができます [右]卒業研究の様子

物理工学科では、物理学、数学、化学といった自然科学の基礎を学び、これらを用いて物質のミクロな構造や極限状態に迫ることが目標です。物理学の基礎科目をじっくり学ぶ点は理学部の物理学科と同じですが、工学への応用を重視した内容という点で理学部とは大きく違い、講義・実験とも基礎的なものに加えて応用的なものも多くなります。

研究グループは大きく3つの講座に分かれ、物理学を中心に工学の基礎から応用まで幅広く扱っています。グループは数学、理論物理、物性実験、

分子科学などの広範囲な自然科学分野の約20名のスタッフで組織されています。卒業論文では、物理学の理論・実験以外に、計算機シミュレーションや環境、原子力、遠赤外光に関する問題に取り組むこともできます。

現代社会を支え、私たちにさまざまな恩恵をもたらしてくれる最先端テクノロジーの多くは、20世紀前半に始まった物理学の革命に源を発しています。テクノロジーを理解するには、物理の基礎をしっかりと学ぶことが必要です。科学的に見て面白いことこそが、革新的な技術につながるのです。

独自の研究グループで技術革新に応える技術者を育成

3つの講座を設置。幅広い研究分野の教員で構成した研究グループで学びます。

数理・量子科学講座

素粒子、原子核、宇宙線、相対論、超伝導、磁性、量子情報などの理論物理学や、その基礎となる数学に関する教育と研究を行っています。

物性・電磁物理講座

物質の光学的・電磁的性質や、放射線、粒子線、量子エレクトロニクスに関する実験分野の教育と研究を行っています。また、本講座は遠赤外領域開発研究センターとも密接に連携しています。

分子科学講座

計算機シミュレーションや実験的手法を用いて、高分子、ガラス、生体分子など複雑な構造をもつ物質の研究を行っています。



量子力学的な効果によるトンネル電流を利用した、走査型トンネル顕微鏡 (STM) を使って、並んだ原子を映像化しています

在学生メッセージ

Q. これまでにないものを創るために何をすればいい？

A. 興味のあることには、どんなことでも自由に試してみる



森下 剣さん
物理工学科
2年次(現・3年次)

自然の原理や法則を解明し、エネルギー分野が学べる学科です。どんなことでも学生が自由に試せる場所があるので、電気回路を作成したり、液晶テレビを分解したりいろいろ取り組んでいます。講義も面白くて、物理がもっと好きになりました。

知能システム工学科

柔軟で総合的な思考を持った知識基盤社会を支える人材を育成



[左]最新のヒューマノイドロボットに触れることができるロボット工房は24時間オープン [中]サッカーロボットの実験や調整が行われる進化ロボット研究室 [右]充実した環境でコンピュータの仕組みから情報処理、知能の生成について学びます

21世紀は共生の時代。「いかに人と共生できるか」を追求した新しいモノづくりが求められています。その要求に応えるためには、マルチメディアやメカトロニクス、さらにはヒトそのものや自然についても知らなくてはなりません。知能システムの探求・開発は、文学・芸術作品をつくるような、知的で創造的な作業です。

福井大学の知能システム工学科は、日本で最初の知能システムを専門とする学科です。知能システムで世界をリードする人材を育てること

を目指し、新しい科学技術の基礎と応用を教育する先進的で革新的な学科です。

カリキュラムは計算機ソフトウェア、知識情報、メカトロニクス、ロボット、計測、制御システム、人間情報、生体システム、ヒューマンインターフェース、医療福祉システム、複雑系科学などの分野によって組まれています。21世紀の中心となる科学技術を担う、柔軟で総合的な思考のできる人材を育みます。

基礎から応用領域まで4年間を通じた一貫教育

3つの講座を設置。人や生物から学んだ知能システムを作るため、必要な技術を、基礎から応用まで一貫して指導します。

知能基礎講座

生体の知能と行動生成メカニズムから、非線形科学・制御システム・生体システムを学びます。

知能処理講座

知識情報処理・知能センシング・マルチメディア処理を追究します。

支援システム講座

自然言語理解・ロボット工学・ヒューマンインターフェースを通して、人間を支援するシステムを開発します。

柔軟な思考を育む基礎教育

基礎教育は、コンピュータサイエンス・メカトロニクス・自然科学と、バランスのとれたカリキュラムで構成。

ものづくりのできる人材を育成

豊富なコンピュータ演習とメカトロニクス実験が多様な講義と並行。知能システムは社会に役立つ実学です。

問題発見能力を養成

4年次の卒業研究では、独自のテーマで研究に励み、実践的な研究開発能力を養います。

20人の研究者が学生の個性を伸ばす

講座は情報工学・機械工学・電子工学・自然科学の最先端の研究者たち20人が協力して構成しています。

在学生メッセージ

Q. これまでにないものを創るために何をすればいい？

A. “大学生”の時期にしかできないことを進んで行い、自分のモノにする



杉浦拓己さん
知能システム工学科
1年次(現・2年次)

福井大学は、学科の隔てなく交流できるのが魅力。私は学生広報スタッフとしても多くの人々と関わり、また多くの交流から人間力を高めています。人間の知能や心の仕組みが学べる学科なので、たくさんの人と出会い、勉強も遊びも、今しかできないことを思いっきり頑張ろうと思っています。

物理工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 基礎教育科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)		
教養教育・副専攻科目	均等履修 集中履修 自由履修			
専門基礎科目	線形代数I 線形代数II 微分積分I 微分積分II 基礎実験 線形代数演習I 線形代数演習II 微分積分演習I 微分積分演習II ベクトル解析 物理学基礎力学I 力学演習 電子計算機 電子計算機演習 工業日本語I 工業日本語II 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学I 応用数学II 熱力学 分子科学 電磁気学I 電磁気学演習 創造システムデザイン 工業日本語III 工業日本語IV 学際実験 実習I	学際実験・実習II 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
専門科目	力学II 力学講義 物理計測	数理解析 電磁気学II 電磁気学講究 物理化学I 統計力学I 統計力学演習 電気電子回路I 量子力学I 量子力学II 量子力学演習I 量子力学演習II 解析力学 物理学実験I	物理化学II 群論入門 物理学 物理学講義 物性物理学I 量子力学III 流体力学 統計力学II 物理光学 物性物理学II 電気電子回路II 分子シミュレーション 外書講読 工業と技術者 現代物理学概論 応用電磁波物理学 物理学実験II 物理学実験III	
卒業論文				卒業論文

知能システム工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 基礎教育科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)		
教養教育・副専攻科目	均等履修 集中履修 自由履修			
専門基礎科目	線形代数I 線形代数II 微分積分I 微分積分II 力学演習I 力学演習II 電磁気学演習I 工業日本語I 工業日本語II 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学I 応用基礎数学 確率・統計 電磁気学演習II 工業日本語III 工業日本語IV 学際実験・実習I	学際実験・実習II 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
専門基礎科目	知能システム工学入門セミナー 生命科学入門 計測工学 基礎メカトロニクス 回路理論 エレクトロニクス 知能科学 離散数学基礎 計算機演習 計算機システム 計算機言語 計算機言語演習 オートマトン入門	自然科学概論 神経科学 医用福祉工学 制御工学基礎 制御システム応用 メカトロニクス論 製図・CAD演習 デジタル回路 信号解析 グラフ理論演習 データ構造とアルゴリズム演習I データ構造とアルゴリズム演習II 人工知能基礎論 知能システム工学実験I 知能システム工学実験II	科学英語基礎 数値解析演習 画像処理演習 知能システム工学実験III 知能システム工学実験IV	卒業研究セミナー
専門科目				
人間・複雑系				
ロボティクス系				
インフォマティクス系				
卒業論文				卒業論文

附属施設

先端科学技術育成センター

地域社会を巻き込んで、創造力の育成をサポート

新しい工学教育プログラムの実施、最先端工学技術の利用と継承、学内外の人々との連携を行う施設です。先端科学技術育成センター(Center for Innovative Research and Creative Leading Education)の頭文字を取った「創成CIRCLE」の名前で親しまれています。この施設を利用して、「創造力」をキーワードに集まった学生たちが活動します。やる気のある学生を結びつけるサークルとなり、その輪を地域社会へとひろげることが創成CIRCLEの目標です。

創成CIRCLEは**創成教育部門**、**精密工作部門**、**地域連携部門**の3部門からなります。

創成教育部門 Creative Education

創造力を育む新しいタイプの工学教育を開発・実践・普及させる核となる部門です。工学部共通科目「学際実験・実習Ⅰ」、「学際実験・実習Ⅱ」の運営の他、学生や教職員の提案に基づいた各種の「創成教育活動」を支援します。



学際実験・実習をはじめ、実践サイエンス寺子屋、灯りプロジェクト、フォーミュラ製作プロジェクトなどの創成活動をサポート。

精密工作部門 Machining Technology

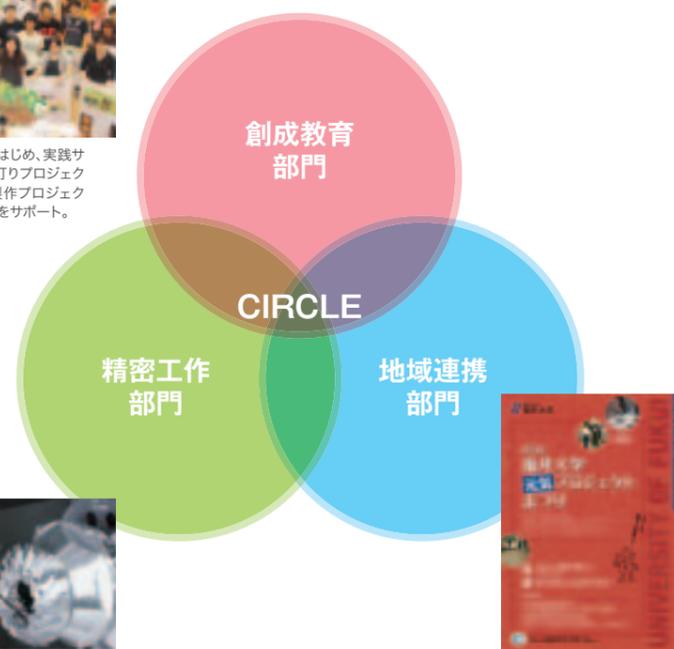
ものづくりを通じた創造力育成をハード面からサポートする部門です。マシン創造ラボにある各種工作機械の活用を通じてものづくり技術を支援します。また、地域から技術相談にもお答えしています。

地域連携部門 Regional Partnership

学内外のやる気のある人々を結びつけるCIRCLE形成を担当する部門です。市民公開型のイベント「元気プロジェクトまつり」や各種シンポジウム・講演会を開催するとともに、広報誌(CIRCLE News)やホームページ等を通じて、地域との科学技術コミュニケーションを促進します。



複合加工CNC旋盤、2次元/3次元レーザー加工機、立型5軸マシニングセンタ、ワイヤカット放電加工機などの最先端の工作機械が利用できます。



教育GP2008-2010に採択「夢をかたちにする技術者育成プログラム」

創成CIRCLEが進める「夢をかたちにする技術者育成プログラム」は、平成20年度～22年度の育成GPに採択されました。教育GPは、「質の高い大学教育推進プログラム」の略称で、文部科学省が日本全国の大学から公募して特に優れたものを選定し、重点的な財政支援を行うという事業です。工学部全体で取り組む創成CIRCLEの活動は高く評価されています。

「夢をかたちにする技術者育成プログラム」では、学生主体の統合型体験学習を通じた創造力と実現力の育成に取り組めます。統合型体験学習としては、工学部共通科目「学際実験・実習」(選択1単位)と課外教育活動である「創成活動」、活動を知識面でサポートする学習支援科目、活動の意欲を高める発表会として「元気プロジェクトまつり」などを用意。意欲と知識と体験のホップ、ステップ、ジャンプでフットワークの良い技術者を育成していくプログラムです。



大学院 工学 研究科

科学技術の創造を通して、 人類の幸福に寄与する 世界水準の研究を行う

博士前期課程では工学部の8学科に対応した8つの専攻と、独立した2つの専攻の計10専攻を設置しています。博士後期課程は2つの独立した専攻を含む4専攻。工学部の専門教育を支えるのは約180人の教員。その全てが大学院工学研究科に所属し、世界水準の研究を行っています。

博士前期

機械工学専攻

材料設計加工技術、熱・流体システム技術、計測制御技術の教育・研究

電気・電子工学専攻

先端材料とデバイス、電気エネルギー、情報通信システム分野の研究

情報・メディア工学専攻

コンピュータシステム、情報処理システム、ネットワークなど総合的に研究

建築建設工学専攻

生活空間の企画、設計、デザインの理論と実践

材料開発工学専攻

無機、有機、高分子などの新材料創成技術に関する教育と研究

生物応用化学専攻

バイオテクノロジーによる地球環境にやさしい化学工業の研究開発

物理工学専攻

物理学の基礎から応用にいたる学際的な教育と研究

知能システム工学専攻

環境や人間にやさしいロボットなど、知能的人工システムの開発

博士後期

物質工学専攻

物質の科学とその工学的利用に関する総合的な教育と研究

システム設計工学専攻

合理的なシステムの設計、構築、運用に関する教育と研究

※平成25年4月より物質工学専攻とシステム設計工学専攻は総合創成工学専攻に改組予定



博士前・後期 独立専攻

ファイバー・アミニティ工学専攻

※平成25年4月よりファイバー・アミニティ工学専攻(博士前期)は繊維先端工学専攻に改組予定
※平成25年4月よりファイバー・アミニティ工学専攻(博士後期)は総合創成工学専攻に改組予定

「ファイバー」を基盤材料として、高度情報技術による快適な人間社会をデザインし、維持と発展に取り組めます。ファイバーを取り巻く学際的総合的研究開発能力を育み、確かな技術と倫理観をもった研究者を育てます。高機能性繊維材料の開発を基盤とした多面的な教育・研究を通して、総合的な研究と教育を展開します。



原子力・エネルギー安全工学専攻

※平成25年4月より原子力・エネルギー安全工学専攻(博士後期)は総合創成工学専攻に改組予定

福島第一原子力発電所の事故後、「原子力の安全と安心」や「地域社会との共生」を含めた総合的なエネルギー問題の解決が求められています。当専攻では、「安全と共生」という観点から、原子力とエネルギーに関連するさまざまな分野の問題に取り組む、附属国際原子力工学研究所(敦賀キャンパス)や学外の研究機関、民間企業、公共団体などと協働して、「エネルギーと安全」に関して総合的・学際的な教育と研究を進めています。



教員 & 卒業生メッセージ

Q. これまでにないものを創るために何をすればいい?

A. 夢中になって続けられる
何かを見つけて夢につなげる



小林泰三 准教授
建築建設工学専攻

○専門について教えてください

専門は地盤工学で、建物を建てる前の地盤の状態や斜面災害の危険性などを調べる調査技術に関する研究を行っています。なかでも私が取り組んでいるのは月面の地盤調査。将来の月や惑星の探査計画では、レゴリス(月・惑星の表層を覆う土)の力学特性を解明し、探査車などのロボット設計に反映させることが重要になってきます。現在、JAXAなどと連携して、月面着陸探査機「セレーネ2」の計画に向け、月面の地盤調査装置を開発しています。「月面地盤工学」という分野を創設し、将来の月面基地建設に貢献することが私の夢です。

○学生に身につけてほしいこと

授業では、学生が飽きないよう対話型の形式で、多くの学生が前向きに取り組んでくれていますね。工学部のカリキュラムは内容が充実していますので、4年次までにしっかりと勉強して吸収すれば、卒論の1年間で見違えるほど成長する学生も少なくありません。学生には夢中になれる何かを見つけてほしい。夢を持ってといっても難しいのかもしれませんが、好きなことを夢中になって続けられれば、その一つひとつがふくらんで大きな夢につながるのだと思います。



Q. これまでにないものを創るために何をすればいい?

A. 利用者の
使いやすさのために
工夫することを
怠らない

木村圭介さん
機械工学科 2006年卒業
株式会社PFU勤務



○仕事の内容を教えてください

当社の主力商品であるスキャナーの機械設計をしています。2009年に発表した商品「ScansnapS1100」では、製作の全工程を担当させていただきました。大きな責任を感じましたが、自分の企画をどうすれば実現できるかを実践で学べ、良い経験になりました。スキャナーは、決められた部分に角度を注意しながら原稿を差し込むのが普通ですが、「ScansnapS1100」はどの部分にどんな角度で差し込んで、補正した傾きのないデータが作れます。利用者のちょっとしたストレスを取り除き、商品化するにはどうすればいいかを必死

に考えました。量販店でお客様に感想を聞く機会があり、そこで共感してもらえた時は本当に嬉しかったです。

○福井大学で学んだこと

福井大学では、基礎的なことから、幅広い専門分野までじっくりと勉強できます。学生の時にはわかりませんでした。就職して、講義やゼミでやっていたことが仕事に役立っているなど日々実感しています。学生時代に頑張ったことは将来の自分につながります。ぜひ積極的にいろいろなことに取り組んでください。

※所属等は取材時のものです。

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

Club & Circle

【部・サークル紹介】

たくさんの仲間と感動を共有しよう



文京キャンパス(体育系)

Achiever(アチーバ)
E.V.C(Exchange Enjoy Volleyball Circle)
Ex+(エグブラ)
nofis
合気道部
アウトドア
アメリカンフットボール部
エクストリームサークル
カヌー部
弓道部
競技スキー部
極真空手同好会
車イスバスケットボール

剣道部
航空部
硬式卓球部
硬式庭球部
硬式野球部
サッカー同好会
サッカー部
ざる部
シーズンスポーツクラブ
自動車部
シャトル
柔道部
準硬式野球部
女子ソフトボール部
女子バスケットボール部

水泳部
ソフトテニスサークルもあ
ソフトテニス部
だるめしあん
男子ソフトボール部
男子ハンドボール部
男子バスケットボール部
男女バレーボール部
テニス愛好会
テニス同好会
軟式野球サークル
ノダレポ
のむら
バスケットボール愛好会
バスケットボール同好会

バドミントン部
バレーボール同好会
フォーミュラ製作プロジェクト(FRC)
福大ストリートダンスCrew
フットサル愛好会
ボーリュシカ・ボー
よっしゃこい
ラグビー部
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部

文京キャンパス(文化系)

BBS(Big Brothers and Sisters movement)
Bible Study Club

E.S.S(English Speaking Society)
Free Music Club(FMC)
IFC(International Friendship Club)
Music Life
Peace Creators Club
SF研&ゲーマーズクラブ
V.T.E(ボランテ・チーム・エンターテイナー)
囲碁部
映画部
エクリプス2012
演劇部
からくり工房I, Sys
口笛音楽サークル ハッピーバード
クリケン
グリーンエコー合唱団

茶道部
児童文化研究会
社会思想研究会
写真部
将棋部
書道部
吹奏楽部
青年赤十字奉仕団ココロ
電子工学研究会
フィルハーモニー管弦楽団
福大コンピュータ部
邦楽部
放送部
ポピュラーミュージック研究所
ボランティアサークルTogether

麻雀サークルMFC
漫画研究会(Fukui Comic Studio)
ロック研究所

松岡キャンパス(体育系)

TTC(テニスサークル)
鹿島神流武道部
空手道部
弓道部
剣道部
硬式庭球部
ゴルフ部
サイクリングサークル
サッカー部

柔道部
準硬式野球部
水泳部
スキー部
ソフトテニス部
卓球部
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
ハンドボール部
フルコンタクト空手部
ヨット部
ラグビー部
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部

松岡キャンパス(文化系)

DADADA★DANCE
FEAL
Juggling Jam(ジャグリング)
アカベラサークル
囲碁部
演劇部
華道部
管弦楽団
グルメ部
軽音楽部
献血推進サークル
考古学 in フクイ
合唱団 Vocal Society

写真部
精神医学研究会
茶道部
熱帯医学研究会
野ばら会
美術部
福井ACLS部
ぶちぶら
文藝・漫画研究会

Bunkyo Campus

【文京キャンパス】

教育地域科学部と工学部があり、
福井市中心部に位置します



- 1 正門
- 2 総合研究棟V(教育系1号館)
- 3 共用講義棟
- 4 総合研究棟VI(教育系3号館)
- 5 教育実践総合センター
- 6 北門
- 7 通用門
- 8 総合図書館
- 9 学生会館/就職支援室
- 10 学生食堂/売店/書店
- 11 学生支援センター
- 12 掲示板
- 13 課外活動共用棟
- 14 保健管理センター
- 15 総合研究棟III(工学系1号館)
- 16 工学部売店
- 17 総合研究棟IV(工学系2号館)
- 18 総合研究棟VII(工学系3号館)
- 19 総合研究棟VIII(工学系4号館)
- 20 総合研究棟I
- 21 総合研究棟II(遠赤外線開発研究センター)
- 22 アドミッションセンター/留学生センター/入試課
- 23 産学官連携本部
- 24 東門
- 25 超低温物性実験施設
- 26 先端科学技術育成センター
- 27 第1体育館/プール
- 28 第2体育館



1 正門
正門から右手が工学部、左手の奥に教育地域科学部の講義棟があります。



2 総合研究棟V(教育系1号館)
2009年にリニューアル。教育地域科学部がメインとして使う新しい講義棟。



12 掲示板
授業や課外活動についての大事な連絡が掲示されます。見落とさないよう1日1回は確認。



13 課外活動共用棟
部・サークルの活動拠点。学生たちの自由で楽しい活動がここから生まれています。



15 総合研究棟III(工学系1号館)
工学部がメインとする講義棟。広い敷地に1号館から4号館まであります。



20 総合研究棟I
文京キャンパスのシンボリック建物。文理融合による、学部の枠を越えた教育研究の場です。

Communication Area

10 学生食堂

味菜 Ajisai

忙しい学生の味方!
朝も、夜も
満足度100%

全国各地の郷土料理や
食材を使った企画メニューも
好評(不定期)

●営業時間/月~金曜 8:00~19:30
土曜 11:00~13:30
●定休日/日曜・祝日



豊富なメニューと低価格がうれしい、540席ある大食堂。昼食や休憩時のコミュニケーションスペースとして学生たちで賑わいます。営業時間が長いので夕食にも利用可能。

栄養バランス
赤0.5点
緑0.4点
黄3.9点
382kcal

チキン竜田和風 240円
ほろれん草胡麻和え 70円
揚げだし豆腐マーボー 90円
味噌汁 30円
ライスM 110円

栄養バランス 赤1.1点 緑0.3点 黄10.3点 946kcal



野菜たっぷりの
四国風うどん
「しっぽく風うどん」
300円

体育会系男子も
満足のボリューム
540円

10 売店

Shop Manten

●営業時間/月~金曜 8:15~19:30
土曜 11:00~14:30
●定休日/日曜・祝日



営業時間が長いのが特徴。学生さんの憩いの場となるよう居心地の良い空間作りを心がけています。

生協スタッフ
森岡さん



- ファイル(75円)
- ボールペン(84円)
- シャープペン(84円)
- ストラップ(525円)
- コインケース(682円)
- 土産菓子「五月ヶ瀬」(1,050円)

10 書店

ブックカフェ 明日輪

Book Cafe Asuwa



雑誌から小説、専門書まで取り揃えています。
●営業時間/月~金曜 9:30~17:30
●定休日/土曜・日曜・祝日

16 工学部売店

Satellite Shop Comet

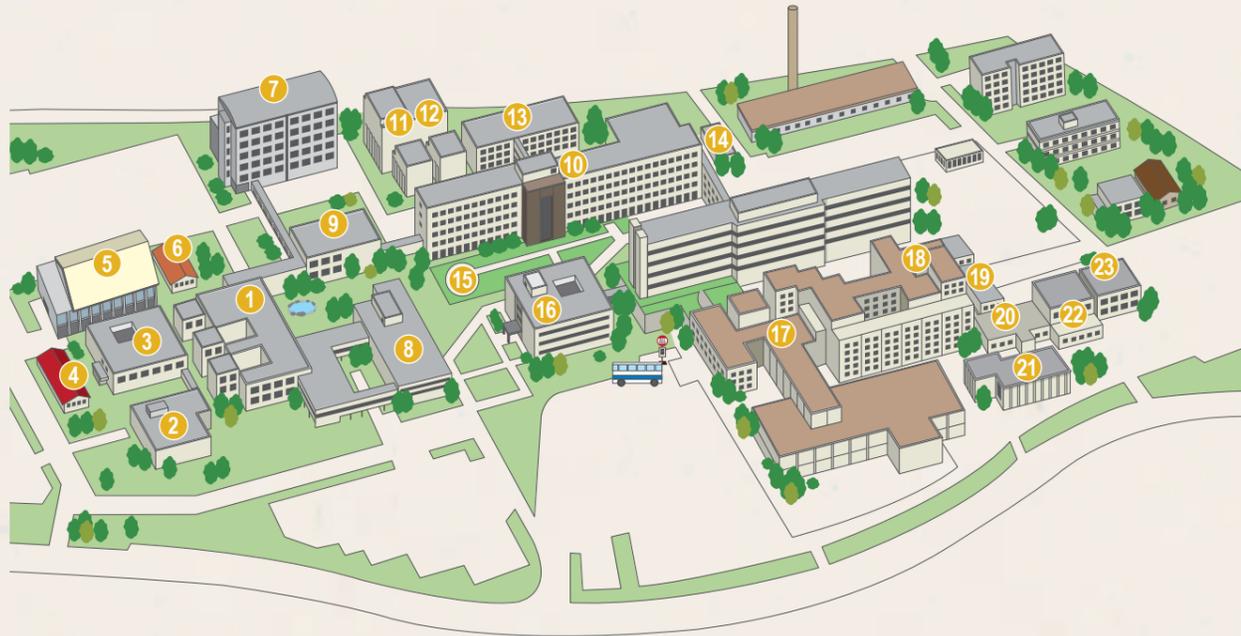


工学部1号館で弁当、スナック類を販売しています。
●営業時間/月~金曜 11:30~14:00
●定休日/土曜・日曜・祝日・休講期間

Matsuoka Campus

【松岡キャンパス】

医学部があり、附属病院と隣接しています



- 1 講義棟
- 2 福利棟/学生食堂
- 3 福利施設/売店・書店
- 4 武道場
- 5 体育館
- 6 弓道場
- 7 看護学科棟
- 8 医学図書館
- 9 基礎実習棟
- 10 研究棟
- 11 生物資源棟
- 12 RI実験施設
- 13 院生研究棟
- 14 病理解剖棟
- 15 プラザ
- 16 保健センター/学務室
- 17 医学部附属病院/売店・書店
- 18 RI治療棟
- 19 MR棟
- 20 高エネルギー治療棟
- 21 医学部附属臨床教育研修センター
- 22 医用サイクロترون棟
- 23 高エネルギー医学研究センター



1 講義棟
医学部がメインとして使っている講義棟です。講義や演習などが行われます。



15 プラザ
講義の合間や昼休みに学生たちが憩う広場。春や秋には木陰でランチを楽しむ学生も。



7 看護学科棟
看護学科の講義や演習が行われます。



16 保健センター
心身ともに健康な大学生活を送れるように、健康相談はもちろん心のケアも行っています。



10 研究棟
附属病院に隣接し、各診療科の医局をはじめ、最先端の医学を研究する施設があります。



17 附属病院
地域を支える基幹病院として高度な先進医療を提供。医学部の病院実習を行っています。

Communication Area

2 学生食堂 PLUM CAFE

粗挽きハンバーグ240円、かぼちゃ煮80円、味噌汁30円、ライスM110円



時間がない時もさっと食べられる栄養満点のランチ 460円

バランスの良い食事で
学業をバックアップ!!



学生に一番人気の
醤油ラーメン
300円

栄養バランス 赤2.0点 緑1.2点 黄8.7点 963kcal



栄養バランス 赤0.4点
緑0.1点 黄6.0点 527kcal

試験前のスタミナ補給に
ローズカツカレーとみそ汁
420円



栄養バランス 赤1.4点 緑0.4点 黄10.5点 992kcal

おいしさはもちろん栄養面も考慮したメニューを低価格で提供しています。忙しい医学生、看護学生を栄養バランスの良い食事でごバックアップします。200席。

●営業時間/月~金曜 11:00~13:30
●定休日/土曜・日曜・祝日

カリキュラムが過密で忙しい医学部の学生さんを栄養面でサポートしています。心ごもった料理が自慢。

2 shop PLUM

生協スタッフ
桑原さん



パンや弁当、飲み物、お菓子が揃っています。

●営業時間/月~金曜 8:30~17:00
●定休日/土曜・日曜・祝日

3群点数法で 栄養バランスをチェック

学生食堂では、バランスの良い食事より多くの栄養が摂取できるように3群点数法を利用。学生の食生活をサポートする取り組みです。3群点数法は、食品を栄養の働き別に3つのグループ(赤、緑、黄)に分け、点数配分に沿って各グループから食事を摂ることで必要な栄養素を満たすことができる食事法です。文京キャンパス、松岡キャンパスの学生食堂の全てのメニューに点数をつけ、シートには合計点数を表示。学生が自分で栄養バランスをチェックできます。

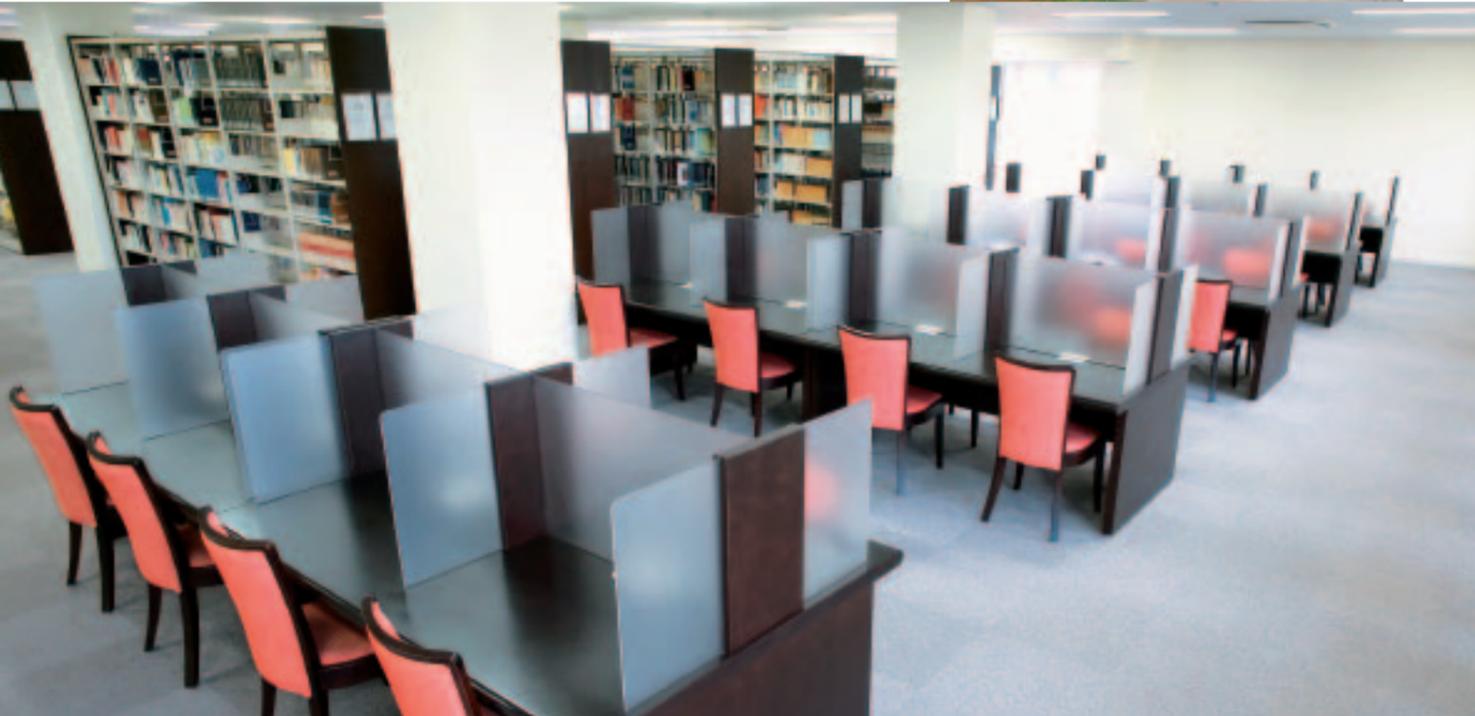
1食あたりの目標

赤	緑	黄
たんぱく資源	ビタミン・ミネラル源	エネルギー源
2点	2点	男子7点 女子4点
魚介類/肉類 大豆製品/牛乳 乳製品/卵	野菜120g 芋類/果物 きのこ/海藻	穀物(メイン) 油脂/砂糖

総合図書館 【文京キャンパス】

居心地の良い空間で、新しい学びのスタイルを提案

主に教育地域科学部と工学部の学生が利用する総合図書館は、2009年6月にリニューアルしました。社会や自然、工学分野を中心に、人文系から理工系まで幅広い分野の図書を48万冊所蔵しています。グループで学習するためのスペースや講習会が行える研修室、飲食できるスペースなど設備も充実しています。



閲覧室・書庫

48万冊の蔵書の他にも、過去の新聞や雑誌のバックナンバー、視聴覚資料などが揃う。県内大学や全国図書館からの取り寄せもできます。



グループ学習室

少人数で話し合いながらの学習に適しています。



ラウンジ

庭園を眺めながらくつろげる飲食スペース。新聞、雑誌、自動販売機があり、勉強の合間のひと息つきたい時に便利。



ラーニング・アドバイザー

館内で大学院生が図書館資料の探し方から学習面や大学生活まで何でも相談にのってくれます。

Library Navi 広報誌「ふくだいプレス」を制作する学生広報スタッフに聞きました



牧田 恵実さん
工学部
材料開発工学科1年次
(現・2年次)

大木 怜さん
教育地域科学部
地域科学課程1年次
(現・2年次)

広報誌「ふくだいプレス」のスタッフ会議で図書館をよく利用します。締め切りが近くなると、遅くまでかかってしまうことも。平日は夜8時まで開いているので、講義後も使えるのが便利です。1階のラウンジでは飲食もOK。新聞を読んだり、ちょっとした空き時間に使っている人が多いみたいです。ノートパソコンの貸出をしていたり、数人で利用できるグループ学習室もあるので、試験前は友達と一緒に図書館で勉強することも。窓に面した席が多くて、居心地が良いのも魅力です。

医学図書館 【松岡キャンパス】

最先端の医学情報と充実した設備を提供

医学部の学生が利用する医学図書館は、自然分野を中心とした12万冊を所蔵しています。医学や看護に特化した学習図書館として、電子ジャーナルの閲覧や学術文献データベースの検索サービスなども充実。自動入退館装置と自動貸出・返却装置によって24時間利用が可能です。2011年12月に14のグループ学習室「情報工房」ができました。



閲覧室

座席数は287席。国家試験前の混雑時にも対応したゆとりのスペース。最適な学習環境で学生をサポートします。



ブラウジングコーナー

利用者がリラックスしてくつろげるようにと作られた空間。一般教養雑誌や初心者向け「心とからだの本コーナー」があります。



メディアルーム／福井県医学資料室

ノートパソコンが利用できます。図書館主催の研修会や講習会なども開催。／福井県内の医学関連資料を揃えています。



休憩コーナー

2階の閲覧室を仕切って設けた休憩コーナーからは、遠くの山々が望めます。勉強の合間の息抜きにぴったりです。



情報工房グループラボ

学*論*究*創*現=情報工房
「共に学び、論じ、究め、創り、現わす」が、情報工房のコンセプトです。グループでの学習に利用できます。

語学センター 【文京キャンパス】 【松岡キャンパス】

グローバル社会での飛躍をサポートします

学内や海外での英語研修や英語学習、海外留学の相談、留学生との交流イベントなどを通して、グローバル社会で求められる英語力、コミュニケーション力の向上を支援します。

①「使える英語」教育の実施

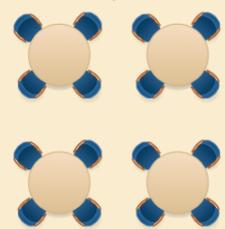
社会で実際に使える英語力を身に付け、向上できるように、英語ネイティブ等のインストラクター陣が支援します。授業をはじめ、学内や海外で実施する短期英語研修プログラムを通じて、英語力・コミュニケーション力を鍛えることができます。

②国際ラウンジの開設 ※文京キャンパスは2012年10月に松岡キャンパスは2013年4月に設置予定

英語学習や海外留学についての相談を受け付けます。また、各種情報の提供や交流イベントの場として気軽に利用できるスペースです。

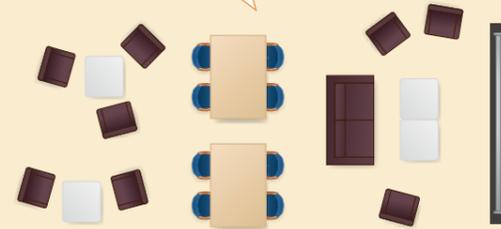
国際ラウンジイメージ

語学学習・留学情報コーナー



語学学習・留学相談コーナー

交流ラウンジ



③講演会の開催

社会で求められる英語力・コミュニケーション力とは何かをテーマに、学外の講師による講演会を開催します。

④英語等自習教材(CALLシステム)の提供

英語等の語彙、リスニング、リーディング等の力を伸ばす自習教材を導入。学内や自宅のパソコンからインターネットを経由して無料で利用できます。いつでもどこでも語学学習が可能です。

CALLシステムのイメージ



CALLシステム導入教室



学内外どこからでもオンライン語学学習が可能です。



英語学習や留学について、さまざまな相談に対応します



国際ラウンジでは、留学生と日本人学生の交流の場を提供します



留学生と日本人学生が英語と日本語で会話を楽しむ「お話し会」等、各種イベントを実施します



平成24年度入学式では、元テニスプレーヤー杉山愛さんの海外での体験談に学生たちが聞き入りました

学生生活サポート

学生生活の悩みごとをサポートします

○ 学生支援センター(文京キャンパス)

○ 学務室(松岡キャンパス)

あらゆる悩みごと、相談ごとに応えます

履修の相談や単位・成績の照合、各種証明書の発行、授業料免除や奨学金の相談を受け付けています。留学情報も提供しています。



学生支援センター(文京キャンパス)



学務室(松岡キャンパス)

頼りになる全学サポート体制

全学「学生支援体制」

学科・課程、学生支援センター、保健管理センター、学生総合相談室が連携し、学業、学生生活、経済面、悩みやさまざまな相談などに対応し、快適で充実したキャンパスライフを支援します。

オフィスアワー

全ての教員が学生の相談に応じるための時間(オフィスアワー)を設定しています。たとえば、授業の内容について質問したい時、質問したい先生のオフィスアワーを確認して研究室を訪ねることができます。

学年主任・助言教員制度

キャンパスライフ全般の学生のさまざまな悩みを、教員が相談相手となり指導し、助言します。

○ 学生総合相談室(文京キャンパス、松岡キャンパス)

学業のこと、将来のこと、人間関係の悩みなど、さまざまな相談に常駐しているスタッフが対応します。「直接行くのはどうも…」という方には、とりあえずメールを送るという方法もあるので安心です。

スタッフ

文京キャンパス

カウンセラー(非常勤を含め2名)
事務(非常勤を含め2名)

松岡キャンパス

カウンセラー(非常勤3名)



文京キャンパス



松岡キャンパス

○ 保健管理センター(文京キャンパス)

○ 保健センター(松岡キャンパス)

ここからあなたの悩みをサポートします

健康相談やけがの応急処置、健康診断やカウンセリングなど、身体と心の健康を支援します。静養室、検査室、カウンセリング室があり、リラクゼーション、ヒーリング設備も揃っています。



リラックスできる環境でカウンセラーが悩みごとを聞きます



静養室にはリラクゼーションやヒーリング器具が設置

スタッフ

文京キャンパス

医師(1名) / 学校医(非常勤2名)
カウンセラー(1名) / 看護師(2名)、保健師(1名)

松岡キャンパス

学校医(非常勤6名) / カウンセラー(1名)
看護師(1名)

主なサービス

定期(不定期)健康診断 / 健康相談 / 精神衛生相談 / 伝染病の予防

奨学金制度 / 学びたい学生を経済面でサポート

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人等の奨学金制度があります。また、学資支援や研究者・医療人育成のための大学独自奨学金制度もあります。

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構奨学金は、貸与型の奨学金です。この奨学金は、大学卒業又は退学後、必ず返還しなければなりません。また、この奨学金は大学の在籍状況等で申込要件を満たすことができないとき、申請できない場合がありますので、詳しくは大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

種類及び貸与月額

<学部>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	自宅通学者 45,000円 自宅外通学者 51,000円 又は、30,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 30,000円、50,000円、80,000円、 100,000円、120,000円	有利子(在学期間中は無利子) 利率は固定型、又は見直し型 より選択

<大学院>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	修士・博士前期課程 88,000円 又は、50,000円の何れかを選択 博士後期課程 122,000円 又は、80,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円	有利子(在学期間中は無利子) 利率は固定型、又は見直し型 より選択

日本学生支援機構が定める基準を満たす場合には、「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の併用貸与を受けることができます。ただし、返還総額が多額になりますので、特に第二種奨学金の月額については、卒業後返還する場合のことを考えて慎重に選択してください。

地方公共団体、公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので、申請を希望する学生は、大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

福井大学生協奨学金

福井大学生協協同組合からの寄附による奨学金制度です。学部学生の授業料免除申請者のうち、全額免除の基準を満たしていたが審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時学資支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

福井大学大学院医学系研究科 基礎医学振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科博士課程における基礎医学系分野の研究者育成を図ることを目的とした奨学金制度です。医学部医学科を卒業後、基礎医学系分野に入学し、将来基礎医学系研究者を目指す学生を対象とし、選考により入学料及び授業料相当額が給付され、返還の必要はありません。(入学料及び授業料の支払いを確認後給付されます。)

福井大学大学院医学系研究科振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科の高度専門医療人育成を図ることを目的とした奨学金制度です。将来医学領域又は看護領域における優れた研究・実践力を有する医療人を目指す社会人大学院生(医師は除き、4月入学生に限る。)を対象とし、選考により入学料及び授業料相当額が給付され、返還の必要はありません。(入学料及び授業料の支払いを確認後給付されます。)

福井大学大学院医学系研究科 画像医学振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科博士課程における画像診断分野の高度専門医療人育成を目的とした奨学金制度です。博士課程医科学専攻医科学コース機能画像医学部門に入学した学生(医師は除く。)を対象とし、選考により入学料及び授業料相当額が給付され、返還の必要はありません。(入学料及び授業料の支払いを確認後に給付されます。)

福井大学大学院医学系研究科 私費外国人留学生振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科博士課程における私費外国人留学生の経済支援を目的とした奨学金制度です。博士課程に入学した私費外国人留学生を対象とし、選考により入学料及び授業料半額相当額が給付され、原則返還の必要はありません。(入学料及び授業料の支払いを確認後給付されます。)

大学の奨学金窓口(問い合わせ先)

文京キャンパス 学生サービス課(奨学担当) TEL 0776-27-8716
松岡キャンパス 松岡キャンパス学務室学生係 TEL 0776-61-8266

学費 / 国立大学ならではの初年度納付金の安さ

福井大学の初年度納付金額(入学金と授業料の合計額)は3学部とも817,800円。国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文系で約35万円、理系で最大約400万円以上の開きがあります。

初年度納付金 **817,800円**
(入学金 282,000円、授業料 535,800円)

■私立大学(初年度納付金の平均)との比較



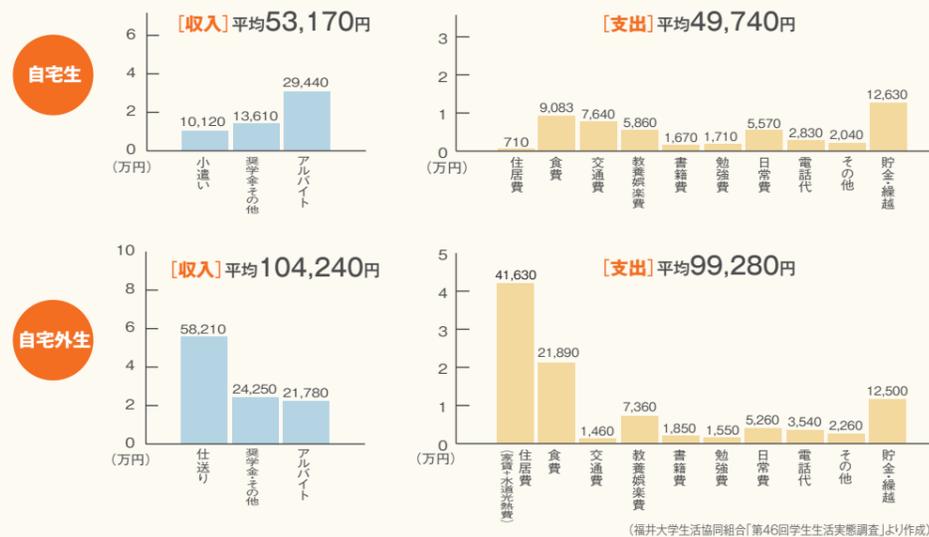
免除・猶予制度

学費の納付が困難かつ学業優秀と認められる学生について、本学では以下の制度を設けています。*免除・猶予には、学生本人の申請と審査機関での選考が必要です。

入学料免除制度	入学料の全額もしくは半額を免除します
入学料徴収猶予制度	入学料の徴収を一定期間猶予します(免除ではありませんので納付が必須)
授業料免除制度	授業料の全額もしくは半額を免除します

生活費 / 福大生の1ヶ月の収入と支出(平均)

入学金や授業料以外にかかる「生活費」。自宅から通う学生と、一人暮らしをする学生とではかかる金額も違います。1ヶ月にかかる平均的な生活費をチェック!



住まい / アパート、下宿のサービスは地元企業と連携

一人暮らしを始める学生のために、アパートや下宿などの住まい探しをお手伝いします。福井で初めて暮らす学生も安心のサポート体制。

アパート・マンション・下宿

アパートやマンションの入居、下宿を希望する学生のために、不動産会社の協力のもと、大学周辺のアパートや下宿のオーナーなど、住まいの紹介サービスを行っています。福井大学生協同組合(TEL 0776-21-2956)にご相談ください。

福井大学国際交流学生宿舎

学生の勉学及び生活のための良好な環境を整備するとともに、日本人学生と外国人留学生との相互理解を深め、国際交流を促進することを目的とした国際交流学生宿舎があります。宿舎生活は入居学生で組織する自治会が支えています。

入居費用	寄宿料4,700円/月額、共益費1,000円/月額、光熱水料等約10,000円/月額、自治会費(入会費500円、会費1,000円/年間)、共用施設費(シャワー100円/1回、ランドリー100円/1回)
居室設備	机、椅子、ベッド、吊り棚、ワードローブ、ミニキッチン、ユニットトイレ、冷蔵庫、空調機、時計、カーテン

詳細は、学生サービス課学生企画係(TEL 0776-27-8403)にお問い合わせください。

就職サポート

一人ひとりの夢の実現をサポートします

高い就職率
高い定着率を
誇っています!

就職に強い! 福井大学!!

高い就職率

国立大学 4年連続 No.1

「サンデー毎日」(2011年7月24日号)の「全国240大学就職率ランキング」において、卒業生1000人以上の国公立大学において全国1位となった福井大学。国立大学では、4年連続1位となりました。学部別の実績(2010年度卒業生)でも、高い就職率を誇っています。

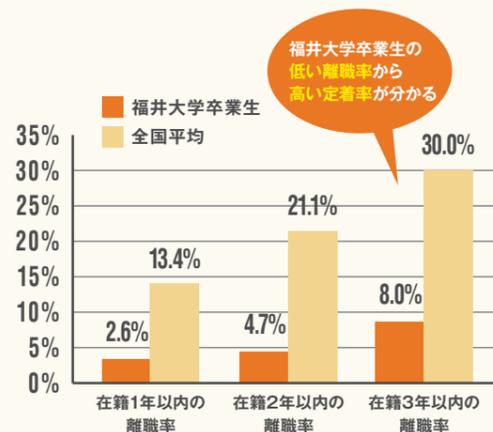


※学部の就職率には、その他・帰国を含みます。

高い定着率

企業から 高評価

就職先企業の質の高さや学生の社会人基礎力の高さから、在籍3年以内の離職率は8%と全国平均(30%)に比べ、非常に低い数字となっています。入職した福井大学生は、幹部候補生として長く活躍が期待されています。



高い就職率・高い定着率を支える3つの柱

1 積極的なキャリア形成支援

地域と密着した人間力育成事業の実施 (教育地域科学部/大学院教育学研究科)

地域との関わり合いを通して、学生が人間力を体得する取り組みを数多く実施。地域の子どもたちと実際に関わり合いながら教育を創造していくことで、問題解決能力やコミュニケーション能力が養われる「探求ネットワーク事業」や、地域の方々と議論し合い知識や経験を共有し、課題探求能力やプレゼンテーション能力を養う「地域課題ワークショップ」などを行っています。

日々進歩・変化する医療現場への適応能力を育成(医学部)

日々進歩し、変化する医療現場への適応に不可欠である“生涯にわたり学ぶ姿勢”を育成するため、少人数の学生が問題を討論しながら課題探求・問題解決を繰り返すチュートリアル教育を実施。また、医療現場や医学研究等で必要とされる医学英語教育にも力を注ぐなど適応力を醸成しています。



夢をかたちにする技術者育成の徹底 (工学部/大学院工学研究科)

専門的知識だけでなく、コミュニケーション能力や主体性など「社会人基礎力」も併せて育む取り組みを実施しています。学部では、学科・学年の枠を越えた少人数グループにより課題解決に取り組む活動(統合型体験学習)を行うなど、主体的に考え、問題を解決する力を育成。また大学院では、大学が保有するシーズ(特許等)を基に、学生たちが技術移転を意識して「ものづくり」を行い、実際に販売するなど、計画力や創造力、実行力などを育む取り組みをしています。



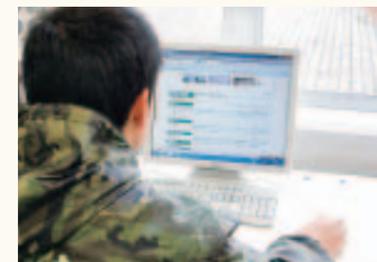
2 学生を支える充実した就職支援体制

就職担当教員とキャリアカウンセラーが内定までサポート

各学部と大学院に就職委員、就職担当教授が配置されており、学生は就職に関する相談をいつでも行うことができます。また、本学専属キャリアカウンセラーによる就職相談やエントリーシートの添削、模擬面接などは平日10時~17時の間はいつでも利用できます。

大学独自の求人票閲覧システムの提供

本学に対する企業などからの求人票の情報をデータベース化し、学内や自宅のパソコンを使用してweb上から閲覧できる「福大求人票等閲覧システム」を構築しています。当システムでは、他にも学内外で実施される就職イベント情報や、先輩が記した就活体験記の閲覧も可能です。登録学生には、メールによる情報発信も行っています。



3 きめ細かな就職支援活動の実施

充実した就職支援講座の開催

外部団体の協力を得て、就職ガイダンスや教職ガイダンスを実施。ガイダンス・講座は、年間を通して約60回以上を開催しています。
※有料のものを除く



【主なガイダンス・講座内容】

- 企業就職・公務員志望者対象/進路選択スタートアップ講座、エントリーシート作成講座、公務員試験対策講座など
- 教員志望者対象/教職ガイダンス、教員採用試験対策勉強会など
- 医療系就職志望者対象/進路懇談会、マナー講座など

多くの企業との出会いの場の提供

企業の情報収集やマッチングの機会として、県内外の企業の人事担当者を招いて、学内合同企業説明会や学内個別企業説明会を実施しています。2011年度は、合同企業説明会を冬季に3回、個別企業説明会を通年で153回、計約500社以上との出会いの場を提供しました。また、学部3年次や大学院1年次とともに、県内外企業へ訪問し、業界や企業についての理解、早期に職業観を構築するお手伝いをしています。2012年度夏には、計10社への企業訪問を実施予定です。



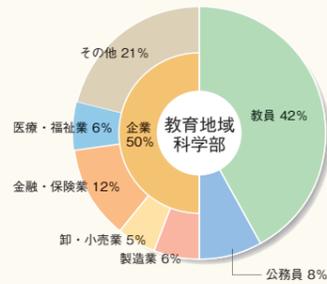
スケジュール (2011年度実績)

※通年開催
 ・キャリアカウンセラー等による就職相談及び模擬面接
 ・学内公務員講座
 ・教員採用試験対策勉強会

- 4 April**
 - 公務員試験対策学内講座説明会
 - 就職ガイダンス—就活再スタート講座(教・工の4年次)
 - 教員採用試験対策模擬試験
- 5 May**
 - インターンシップ制度事前説明会(教・工)
 - 他府県及び市町村教員採用試験説明会
 - 福井県臨床研修病院合同説明会(医)
- 6 June**
 - 就職ガイダンス—進路選択スタートアップ講座(教・工)
 - 就職ガイダンス—キャリアデザイン入門(教・工の1・2年次)
- 7 July**
 - 福井県インターンシップ参加申込者の事前研修会(教・工)
 - 就職ガイダンス—自己分析講座(教・工)
 - 就職ガイダンス—業界・企業研究講座(教・工)
 - 進路指導懇談会(医)
 - 卒後臨床研修説明会(医)
 - 企業OB・OG参加による業界企業研究会(教・工)
- 8 August**
 - 学生の就活・大学の就活支援リーフレットを保護者へ郵送
 - 企業訪問(教・工)
- 9 September**
 - 企業訪問(教・工)
- 10 October**
 - 就職ガイダンス—進路選択スタートアップ講座(教・工)
 - 就職ガイダンス—メイクアップ講座(教・工)
 - 就職ガイダンス—就活復習・スタート講座(教・工)
 - 就職ガイダンス—エントリーシート作成講座1(教・工)
- 11 November**
 - 資格ガイダンス
 - 講演「就職活動を生き抜く秘訣」
 - 就職ガイダンス—就職活動体験報告会
 - 就職ガイダンス—合説攻略講座&県外就職対策講座
 - 就職ガイダンス—教員採用試験対策講座(教)
 - 国家試験受験説明会(医)
 - 就職ガイダンス—エントリーシート作成講座2(教・工)
 - 就職ガイダンス—卒業生と就職を語る会(教・工)
- 12 December**
 - 就職ガイダンス—就活復習講座(教・工)
 - 就職ガイダンス—SPI対策講座(教・工)
 - 就職ガイダンス—面接対策講座(教・工)
 - 産学官連携本部合同企業説明会(教・工)
 - 就職ガイダンス—業界・企業研究のため合説訪問(教・工)
 - 建築業界研究セミナー
 - 就職ガイダンス—産業・職業研究セミナー
- 1 January**
 - 企業説明会・懇話会(教)
 - 学内合同企業説明会(教・工)
 - 免許申請説明会(医)
 - 就職ガイダンス マナー面接対策・スーツ着こなし・メイクアップ講座(医)
- 2 February**
 - 福井県臨床研修病院合同説明会(医)
- 3 March**
 - 福井県臨床研修病院合同説明会(医)

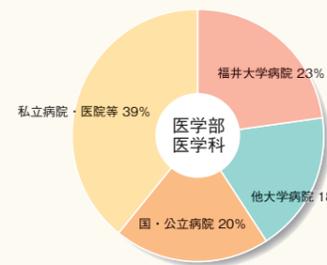
学部別の就職状況 (2010年度卒業生)

教育地域科学部



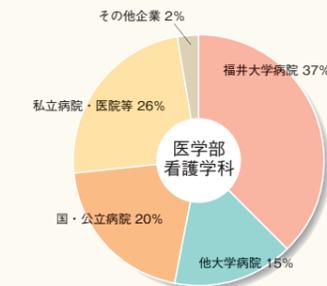
主な就職先(順不同)
 福井県内教員、県外教員、福井市役所、愛知県警察本部、福井県警察本部、敦賀市役所、あわら市役所、砺波市役所、坂井市役所、笠松刑務所、福井銀行、福井信用金庫、福邦銀行、北陸銀行、武生信用金庫、第一生命保険、アクサ損害保険、日本興亜損害保険福井支店、郵便局、福井大学、サカイオーベックス、ゲンキー、日華化学

医学部医学科



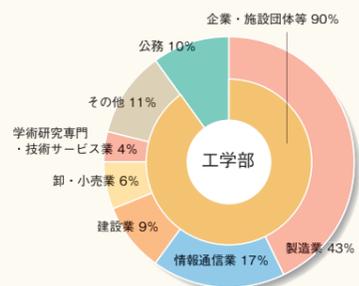
主な臨床研修先(順不同)
 福井大学医学部附属病院、京都第一赤十字病院、金沢大学医学部附属病院、福井赤十字病院、福井県立病院、福井総合病院、杉田玄白記念公立小浜病院、東北大学医学部附属病院、筑波大学医学部附属病院、社会保険中京病院、刈谷豊田総合病院、中部労災病院、岐阜県総合医療センター、武田総合病院

医学部看護学科



主な臨床研修先(順不同)
 福井大学医学部附属病院、福井県立病院、福井県済生会病院、金沢大学医学部附属病院、福井赤十字病院、名古屋大学医学部附属病院、石川県立中央病院、名古屋第二赤十字病院、草津総合病院、富山県立中央病院

工学部



主な就職先(順不同)
 サカイオーベックス、セーレン、きんでん、JR西日本、福井銀行、北陸電力、中部電力、東海理化、オムロン、大林組、大和ハウス工業、スズキ、日本電産、高圧ガス工業、ゴールドウイン、大同工業、北陸電気工業、ダイコク電機、今仙電機製作所、ゲンキー、トヨタ車体、福井県警察本部、福井県庁、富山県警察本部、国土交通省北陸地方整備局、労働基準監督官、愛知県庁、長野県庁、小牧市役所、あわら市役所、京丹後市役所、おおい町役場、大府市役所、石川県警察本部

主な進学先(順不同)

福井大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学

工学部



工学部知能システム工学科
山森文生さん

「Virtual Space OEKAKI2」を開発
 ふくいソフトウェア2011で福井県ソフトウェア大賞を受賞

タッチペンやマウスを用いて描くのが一般的な「お絵かき」ソフト。山森さんはコントローラを用いずにジェスチャーで操作できるシステムKinectを使用し、3次元の世界でお絵かきが楽しめるソフトの開発に挑戦しました。新しい感覚とアーティストや子供に向けた幅広い活用も見込めることなどが高く評価されました。

カヌー部



工学部機械工学科 宮尾崇宏さん
 工学部知能システム工学科 堀江優樹さん

カヌーボロ日本代表として出場、
 アジア大会で優勝

カヌーボロ日本代表(10名のうちの2名)に選ばれ、2011年秋にイランで開催されたアジア大会に出場し、見事優勝しました。カヌーボロは、一人乗りのカヌーに乗って水上で行う、ハンドボールとバスケットボールを融合したような激しいスポーツで「水上の格闘技」とも呼ばれています。2012年9月にポーランドで開催予定のカヌーボロ世界大会では、世界一を目指します。

Pick Up 福大生

多彩なフィールドで活躍する学生を紹介します。

工学研究科



大学院工学研究科建築建設工学専攻
福原輝幸研究室

UAE農業漁業省と連携した
 節水灌漑の研究

1996年から進めているUAEでの節水灌漑研究。地下水の枯渇が深刻な問題となっているUAEで、土壌からの水分蒸発を極力おさえる技術の開発に努めています。2011年9月から10月にかけて学生12名が現地にて、水分の蒸発量を調べる気象ステーションの設置などを行いました。

教育学研究科



大学院教育学研究科 明城千佳子さん
 大学院教育学研究科 吉村 遥さん

福井県デザインコンクールで
 グランプリを受賞

2人のポスター作品「女子力」が福井県デザインコンクール一般・グラフィック部門でグランプリを受賞しました。「力」という漢字を逆さにして1本の線を加えると「女」という漢字になることから、女性が誇りを持って強く生きることをテーマに、無限に広がる「女子力」を表現しました。

医学部



海水浴場の救護所で活動する学生たち

高浜町と医学部地域プライマリケア講座が共催
 地域医療を学ぶ体験ツアーを開催

医学部学生を対象に地域医療の魅力を伝える体験ツアーを行いました。2011年7月から5週にわたって行われ、1班5日間の日程で、診療所での診察や往診、デイサービスセンターなどで高浜町の医療体制を学びました。空き時間には海水浴などで町の魅力にも触れることができました。

産学官連携本部

大学と産業界が協力してより高度な技術を創出



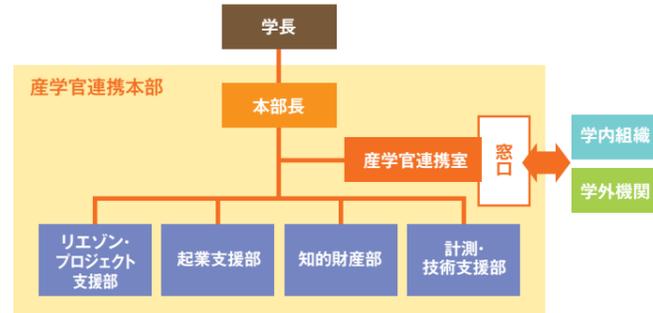
「知の融合」「人の交流」を基本に、産(産業界)・学(大学)・官(公的機関)が協力して研究・開発を進める産学官連携活動を的確かつ迅速に遂行する全学組織。産業界のノウハウを研究に反映させ、より実践的な研究を行っています。

【活動の目的】

- ・研究教育現場の活性化
- ・知的創造サイクルの加速及び拡大
- ・得られた識見やノウハウを実践的手法として教育現場での活用
- ・イノベーション資質及び実践的感覚を持った人材育成の支援

【活動内容】

- ・大学の研究を企業などに積極的に公開
- ・大学の持つ知的財産の適切な管理・運用
- ・民間企業や公的な試験・研究機関との開発・研究を支援し研究プロジェクトを創出
- ・教員・学生の起業マインドの育成や研究の支援
- ・研究をベースにした試作開発やそのマーケティングなどを通じた教育活動
- ・大学の持つ計測・分析機器などを学内外に提供
- ・学内外からの技術相談への対応



産学官連携本部・工学研究科と産業界が協力して進める実践教育プログラム

創業型実践大学院工学教育プログラム (大学院工学研究科博士前期課程副専攻)

実践的スキルを有する視野の広い人材の育成を目的とした教育プログラムで、技術経営に関する講義と、ビジネスプラン作成やものづくり、インターンシップなどの実習からなり、規定単位取得により「技術経営カリキュラム修了証」を学長名で授与します。

産業現場に即応する実践道場

(大学院工学研究科博士後期課程、ポスドク、社会人対象)

産業界の幅広い分野のエキスパートのご協力をいただき、自らの技術優位性を維持し、企業現場に柔軟に対応し、問題発見・課題解決能力を持ち、次世代産業を支えていく「自律型産業人材」の育成を目指しています。

学内共同教育研究施設等

附属国際原子力工学研究所

世界トップレベルの 原子力研究開発

【敦賀キャンパス】

福井県嶺南地域の原子力関連施設を活用した原子力の基礎・基盤研究及び応用研究を進めていくとともに、安全性向上、防災危機管理の向上に資する研究をはじめ、海外の研究機関との学術交流を通じた国際的な原子力安全基盤研究を進めています。



子どものこころの発達研究センター

All Japanで 子どもの「こころ」の研究を実施

子どもの「こころ」の問題を解明、さらには治療・支援するための研究・社会支援活動を行うことを目指して設立されたセンターです。このセンターでは、大阪大学、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学と協働し、子どもの「こころ」の問題解決をめざし活動しています。



遠赤外領域開発 研究センター

高出力遠赤外光源の開発と 広範な分野に応用する 国際的研究拠点

高出力遠赤外光源「ジャイロトロン」を高性能化して画期的な学術研究や新技術開発に応用する研究、新着想のテラヘルツ波科学の研究を進めています。また、多数の国内外研究機関と共同研究を実施し、国際的研究拠点機能を強化しています。



高エネルギー 医学研究センター

放射線のもつ可能性を追求し 世界最先端の研究を進める

ガンなどの診断に威力を発揮するポジトロンCT (PET) 装置や、導入例の少ない高精度の装置を設置。生体の機能や病状を画像化し、疾患の診断と予防の基礎的、臨床的な研究を実施するなど世界最先端の画像医学研究を進めています。



地域環境研究 教育センター

産学官の連携で地域の 環境をサポート

地域に密着した環境問題を調査し、地域の環境を保全、改善するための研究を行っています。環境に対する一般の方々への理解を促進するための活動も重要視。紀要「日本海地域の自然と環境」を発行し、環境や関連分野の情報を全国に発信しています。



ライフサイエンスイノベーション推進機構

生命科学およびその関連分野の活動を世界トップレベルで維持、推進する機構で3つのセンターで構成されています。

ライフサイエンス 支援センター

3つの専門部門から構成 先端技術をバックアップ

バイオ実験機器部門、生物資源部門、放射性同位元素実験部門からなり、生命科学複合研究教育センターとトランスレーショナルリサーチ推進センターを支援するとともに、設備・機器等の共同利用や研究及び教育の発展に寄与します。



生命科学複合研究 教育センター

先端的生命科学研究と 人材育成

先端的生命科学研究を高水準で推進するセンターです。生命科学を複合的な観点から捉え直し、異なる専門の教員が参加し研究を展開しています。同時に高度な専門教育を行い、生命科学の将来を担う人材の育成にも取り組んでいます。



トランスレーショナル リサーチ推進センター

健康増進につながる幅広い 分野での実用化を目指す

生命科学及び関連分野の活動において、臨床応用に向けた橋渡し研究の拠点としての役割を果たすとともに、将来の先端医療、QOL (Quality of Life) の向上及び健康増進に繋がる幅広い分野での実用化を目指した応用的研究を行っています。



国際交流



世界に広がる学びのフィールド

福井大学では世界19カ国、65の大学や研究機関と連携し、学術・文化交流を行っています。また、本国に帰国した外国人留学生を中心とした「留学生同窓会」が、海外に12支部設立されています。本学学生が上海や杭州に留学するプログラムでは、「留学生同窓会」が全面的にバックアップしています。

総合情報基盤センター

最新のICT技術を駆使し 学内の情報システムを担う

学内の情報ネットワーク及び情報システムを管理運用し、本学における教育、研究、医療、学術情報サービス及びその他の業務の利用を支援しています。松岡キャンパスでは、教育研究施設のみではなく、病院のための高度なセキュリティ対策を実施しています。



留学生センター

外国人留学生のサポートと 日本人学生の海外留学支援

外国人留学生に対する日本語教育、修学上及び生活上の指導助言を行っています。また、日本人学生の海外留学支援や個別相談にも対応しています。



広報センター

HP運営や広報誌発行で 学内のホットな話題を提供

「コミュニケーションを通じて、学内外の人々につながる喜びを広げる!」ことを目指して、HP「情報創庫」の運営や広報誌「ふくだいプレス」を発行し、教育活動や研究、そして大学内のホットな話題を提供しています。



災害ボランティア活動 支援センター

災害ボランティアを支援し 仕組みづくりと研修の場を提供

災害時に、ボランティアが実際に活躍できる仕組みづくりを行うと同時に、活動に必要なさまざまな研修の場を提供することにより、災害ボランティア活動の支援を行います。



地域貢献推進センター

教育や研究を地域に還元し キャリアアップや生涯学習を支援

公開講座をはじめ、「福井大学 きてみてフェア」などの事業を通じて、広く地域のみならず福井大学の教育や研究を還元し、キャリアアップや生涯学習を支援しています。また、地域との連携を推進しています。



アドミッションセンター

入試の選抜方法と 評価基準を改善

入試の形態や内容、方法などを検討し、各学部と連携して試験を実施。選抜方法と評価基準を改善する活動を行っています。また、高校と大学との教育における円滑な接続を図る高大連携活動や入試相談に応える広報活動を行っています。



高等教育推進センター

長期目標をビジョンに 大学教育改革を進める

長期目標を踏まえた大学教育改革を進めることを目的に、政策立案・企画を行うために2009年に設置。入試企画部門、FD・教育企画部門、学生支援部門の3部門からなり、教育改革の中心的な役割を果たしています。

共通教育センター(教・工)

広く学問の知識を身につける 共通教育を実施

特定の専門に偏ることなく、広く学問の知識や方法を学び、普遍的な学究態度を養い、人間性豊かな社会人となるための「教養」を身に付ける共通教育を実施しています。文京キャンパスの教員全員で構成する組織です。

重点教育高度化推進本部

研究領域の高度化と 世界的研究拠点の形成

本学が重点的に推進する研究領域「分子イメージングをはじめとするライフサイエンス研究」「原子力工学研究」及び「遠赤外線開発・応用研究」等をさらに高度化し、世界的研究拠点形成を推進します。

Europe

ロシア
ロシア科学アカデミー応用物理学研究所
D.Y.Efremov電気物理研究所精密理工学センター
ロシア科学アカデミーシベリア地区物理学研究所

ドイツ
カールスルーエ研究センター パルス出力・マイクロ波研究所
シュトゥットガルト大学プラズマ研究所
ハンブルク大学人文科学部アジア・アフリカ研究所

フランス
リヨン繊維・化学技術院
メーン大学
ジョセフフーリエ大学

ブルガリア
ブルガリア科学アカデミー電子工学研究所

ポーランド
ワルシャワ工科大学化学プロセス工学部

Africa

ウガンダ
マケレレ大学医学部

America

アメリカ合衆国
ラトガース大学
クレムソン大学
テキサス大学 M. D. Anderson がんセンター
フィンドレー大学
ワシントン大学医学部
マリンクロット放射線医学研究所

カナダ
オタワ大学医学部

Asia

中国
西安外国語大学
西安理工大学
浙江大学
北京信息科技大学
浙江理工大学
南昌航空大学
江南大学
北京化工大学
蘇州大学
東華大学
瀋陽師範大学
天津科技大学
武漢科技大学
中国電子科技大学プラズマ研究所
上海師範大学
天津工業大学
内蒙古工業大学
東南大学動力工程系
中国科学院南京土壤研究所
上海理工大学動力工程学院
蘭州交通大学機械電子工学院
華東理工大学機械・動力工学院

韓国
東義大学校
釜山大学校師範大学
延世大学工科大学
東亜大学校工科大学
金慶大学校工科大学
嶺南大学校工科大学
成均館大学校工科大学
ソウル国立大学テラヘルツバイオ応用システムセンター

Oceania

オーストラリア
シドニー大学 School of Physics
(工学部、遠赤外線開発研究センター)

モンゴル
モンゴル科学技術大学

台湾
國立雲林科技大學
國立臺灣科技大學工程學院
國立清華大學工学院

インド
インド工科大学カラプール校
インド国立鉱業医学研究所

インドネシア
インドネシア大学
ジャクアラ大学
ハルオレオ大学 数理・自然科学部

タイ
キングモンクト工科大学
タイ王国中央胸部疾患研究所

バングラデシュ
イーストウエスト大学
クルナ科学技術大学

アラブ首長国連峰
イティハッド大学

フィリピン
フィリピン大学物理学研究所

大学間交流協定 28校
部局間交流協定 37校

(2012年4月現在)

留学生

Akmal Hadi Bin Ma'Radzi (アクマル ハディビン マラジ) さん
大学院工学研究科 博士後期課程 物質工学専攻

私は物質工学専攻で、バームオイルから抽出されるポリマー素材を探し、重合することで何が作れるかを研究しています。化粧品や接着剤、塗料などや、新しい素材の開発に結びつけたいと考えています。マレーシアではバームオイルを原材料とした産業が大きなウェイトを占めていますので、この研究を通して、将来は母国の産業

に貢献したいと思っています。
学部から大学院まで、福井大学で学びました。修士課程を卒業し、マレーシアの大学で教員をしていましたが、昨年10月に3年半ぶりに福井へ戻って来ました。研究に打ち込める静かな環境がありますし、そして何よりも福井の人たちの優しさが大好きです。



入試情報

平成24年度 福井大学入学試験実施状況

学部	学科・課程・コース等	一般入試(前期)					一般入試(後期)					特別入試(推薦・AO)					特別入試(私外他)					計					
		募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	
教育地域科学部	言語教育コース	10	35	29	11	11	6	49	20	6	5	4	16	16	4	4	若干名	0	0	0	0	20	100	65	21	20	
	理数教育コース	14	40	33	15	13	-	-	-	-	-	6	16	14	6	6	若干名	0	0	0	0	20	56	47	21	19	
	芸術・保健体育教育コース	音楽教育サブコース	3	10	9	4	4	-	-	-	-	-	2	10	10	2	2	若干名	0	0	0	0	5	20	19	6	6
		美術教育サブコース	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-	2	4	4	3	3	若干名	0	0	0	0	5	7	7	6	6
	保健体育サブコース	3	65	60	4	4	-	-	-	-	-	2	8	8	2	2	若干名	0	0	0	0	5	73	68	6	6	
	生活科学教育コース	4	16	14	5	5	2	26	13	2	1	4	15	14	4	4	若干名	0	0	0	0	10	57	41	11	10	
	社会系教育コース	5	10	8	6	6	3	16	10	3	3	2	6	6	2	2	若干名	0	0	0	0	10	32	24	11	11	
	教育実践科学コース	3	10	9	4	3	2	15	8	3	3	2	5	5	2	2	若干名	0	0	0	0	7	30	22	9	8	
	臨床教育科学コース	3	12	12	4	3	2	30	16	3	3	3	13	9	3	3	若干名	0	0	0	0	8	55	37	10	9	
	障害児教育コース	3	10	10	4	4	3	29	20	3	3	4	11	7	4	4	若干名	0	0	0	0	10	50	37	11	11	
小計		51	211	187	60	56	18	165	87	20	18	31	104	93	32	32	若干名	0	0	0	0	100	480	367	112	106	
地域科学課程		35	79	66	39	37	15	68	22	17	16	10	21	21	10	10	若干名	2	2	1	1	60	170	111	67	64	
学部計		86	290	253	99	93	33	233	109	37	34	41	125	114	42	42	若干名	2	2	1	1	160	650	478	179	170	
医学部	医学科	55	425	339	55	55	25	384	124	26	25	30	98	90	30	30	-	-	-	-	110	907	553	111	110		
	看護学科	30	48	45	30	30	10	90	26	10	10	20	40	40	20	20	-	-	-	-	60	178	111	60	60		
	学部計	85	473	384	85	85	35	474	150	36	35	50	138	130	50	50	-	-	-	-	170	1085	664	171	170		
工学部	機械工学科	35	60	56	37	36	20	233	76	29	22	20	61	35	18	18	若干名	7	7	4	1	75	361	174	88	77	
	電気・電子工学科	29	42	37	29	28	22	174	53	28	24	13	40	30	14	14	若干名	7	7	4	2	64	263	127	75	68	
	情報・メディア工学科	30	72	64	31	31	20	179	66	22	19	15	40	36	15	15	若干名	4	4	2	0	65	295	170	70	65	
	建築建設工学科	30	103	102	35	33	25	130	64	26	23	10	26	26	11	11	若干名	8	7	2	1	65	267	199	74	68	
	材料開発工学科	45	185	174	52	48	20	497	199	24	22	10	10	10	8	7	若干名	7	7	5	2	75	699	390	89	79	
	生物応用化学科	40	104	99	47	44	15	109	47	19	16	10	19	12	9	9	若干名	3	2	2	0	65	235	160	77	69	
	物理工学科	20	68	63	24	21	31	295	130	46	37	若干名	2	2	0	0	若干名	0	0	0	0	51	365	195	70	58	
	知能システム工学科	30	185	177	39	37	23	170	81	24	20	12	29	19	13	13	若干名	1	1	0	0	65	385	278	76	70	
	学部計		259	819	772	294	278	176	1787	716	218	183	90	227	170	88	87	若干名	37	35	19	6	525	2870	1693	619	554
	合計		430	1582	1409	478	456	244	2494	975	291	252	181	490	414	180	179	若干名	39	37	20	7	855	4605	2835	969	894

医学科一般入試受験者は2段階選抜後の受験者数を加算。AO入試及び医学科推薦入試受験者は最終選考の受験者数を加算。工学部にはマレーシア政府派遣留学生を含む

一般入試(前期日程・後期日程)

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書等を総合して選抜します。詳細は、「一般入試学生募集要項」(10月発表予定)でご確認ください。工学部の前期日程では、名古屋会場で受験することもできます。

推薦入試

出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除。面接、小論文、実技及び調査書等を総合して選抜します。大学入試センター試験を課さない選抜(推薦I)と課す選抜(推薦II)があります。詳細は「推薦入試学生募集要項」(9月発表予定)でご確認ください。なお、医学部医学科では、地域枠(福井県)や福井健康推進枠による募集も行います。

AO入試

専門分野の探求に強い意欲を持つ志願者が対象です。能力、意欲、目的意識等を総合的に評価して選抜します。書類審査と時間をかけた丁寧な面接や口述試験、実技や小論文、模擬講義とその小テスト、プレゼンテーションやグループ討論等を行います。大学入試センター試験を課さない選抜(AOI)と課す選抜(AOII)があり、工学部では、出身学科を分けて選抜を行っています。詳細は「AO入試学生募集要項」(6月発表予定)でご確認ください。

※各入試の概要や総合的な案内は、「入学者選抜要項」(7月発表予定)でお知らせします。
※学生募集の概要は、本学ホームページ「入試情報」もご覧ください。様々な入試情報をタイムリーに確認することができます。

平成25年度 募集人員

学部	学科・課程・コース等	入学定員	募集人員																								
			一般入試		推薦入試		AO入試I		AO入試II																		
			前期	後期	I	II	①	②	①	②																	
教育地域科学部	言語教育コース	10	6	4																							
	理数教育コース	14		6																							
	芸術・保健体育教育コース	音楽教育サブコース	3		2																						
		美術教育サブコース	3																								
	保健体育サブコース	3																									
	生活科学教育コース	4	2																								
	技術科教育サブコース																										
	家庭科教育サブコース																										
	社会系教育コース	5	3																								
	教育実践科学コース	3	2																								
臨床教育科学コース	3	2																									
障害児教育コース	3	3																									
計		51	18	6	16	9																					
地域科学課程		35	15		10																						
学部計		160	86	33	6	26	9																				
医学部	医学科	110	55	25		30																					
	看護学科	60	30	10		20																					
学部計		170	85	35		20	30																				
工学部	機械工学科	75	35	20																							
	電気・電子工学科	64	29	22																							
	情報・メディア工学科	65	30	20																							
	建築建設工学科	65	30	25																							
	材料開発工学科	75	50	15																							
	生物応用化学科	65	40	15																							
	物理工学科	51	20	31																							
知能システム工学科	65	37	23																								
学部計		525	271	171																							
合計		855	442	239	26	56	49	43																			

※上記のほか、私費外国人入試を教育地域科学部及び工学部で行います。(募集人員は各コース、各学科とも若干名)
※工学部のAO入試I及びAO入試IIにおける①、②の区分は出願条件の違いによります。
※上記の募集人員は予定ですので、7月発表予定の「入学者選抜要項」及び各募集要項で確認して下さい。

平成25年度 入試日程(一般入試)

- 7月~12月 「入学者選抜要項」公表
- 7月 1月28日(月)~2月6日(水) 一般入試出願期間
- 8月8日(水) オープンキャンパス(文京)
- 8月9日(木) オープンキャンパス(松岡)
- 9月~ 「大学入試センター受験案内」請求 ※26日(火) (個別学力検査第2日) ※医学部のみ
- 10月~ 大学入試センター試験出願、「学生募集要項」請求
- 11月 3月6日(水) 前期日程合格発表
- 1月19日(土)、20日(日) 大学入試センター試験 3月12日(火) 後期日程個別学力検査
- 3月20日(水) 後期日程合格発表

編入学、大学院入試について

編入学(3年次:医学部看護学科、工学部)、学士編入学(2年次後期:医学部医学科)及び大学院(修士課程、博士課程、博士(前期・後期)課程、教職大学院)の詳細については、個々の学生募集要項及び福井大学ホームページで確認してください。

入試に関するお問い合わせ

学務部入試課(教育地域科学部・工学部) TEL 0776-27-9927
学務部松岡キャンパス学務室 入試試験係(医学部) TEL 0776-61-8246
※お問い合わせはできる限り、志願者本人が行ってください。また、必要に応じてメモをとってください。

地区別志願者・入学者

全体	志願者	入学者
教育	650	170
医(医)	907	110
医(看)	178	60
工	2,870	554
合計	4,605	894

石川県	286	40
教育		

UNIVERSITY OF FUKUI

福井大学をもっと知りたい方へ

ホームページへアクセス!
何でも調べてみよう



<http://www.u-fukui.ac.jp/>

オープンキャンパスに行こう!
体験しよう、確かめよう

教育地域科学部、
工学部(文京キャンパス)
平成24年8月8日(水)

医学部(松岡キャンパス)
平成24年8月9日(木)



進学相談会に行ってみよう!

○国立12大学入試広報
東海地区及び北陸地区の12大学(信州大学を含む)が合同して、名古屋など各地で説明会を行います。また、11月下旬に願書を配布(会場は名古屋駅近くを予定)もします。

○民間業者等主催の進学相談会
民間の進学情報を提供する会社や新聞社等が主催する進学相談会に、アドミッションセンターや入試担当職員が出向き説明します。

高校訪問説明会を
行っています

○教員や学生、職員が説明
アドミッションセンターや学部教員が北陸・東海・関西地区等の高校を個別訪問し、教育研究内容・入試情報・就職情報等のほか本学の優れた取り組みなどを高校教員に説明しています。また、福井県内(近県の一部を含む)の高校には6月~7月に教育地域科学部及び医学部看護学科の教員、入試担当職員及び学生が訪問し、教育研究内容、学生生活や入試情報・就職情報等について説明します。

進学相談、説明等は
専任スタッフがサポート
(アドミッションセンター)

入試や大学生活に関する質問にお応えします。AO入試合格者への入学前教育も行っています。



他には何かありますか?

○大学ではいろんなイベントをやっています
大学祭 文京キャンパス: 大学祭
松岡キャンパス: 医学部晩餐
外科手術体験セミナー(医学部)
教育交流会 講座(生命科学複合研究教育センター)など

○保護者等の大学訪問にも応じています
入試課までお問い合わせください

お問い合わせ 学務部入試課 0776-27-9927

福井ってどんなところ?

福井の名物やおすすめスポットを紹介します。



足羽川桜並木

福井市の中心を流れる足羽川の堤防は、「桜の名所100選」にも選ばれた桜並木があります。桜の木が約500本、距離にすると約2kmもある並木道は、日本一のスケールといわれる。満開時には、大きな桜のトンネルをくぐって楽しめます。

ソースカツ丼

テレビ、雑誌などで有名な福井のソースカツ丼。秘伝のソースと、サクとした食感のカツ、そして福井産のお米の組み合わせが絶妙。福井でしか食べられないカツ丼です。



おろしそば

すりおろした大根とたっぷりのつゆ、さっと茹で上げた麺が人気の福井名物、越前そば。そばに含まれる良質のタンパク質と豊富なビタミン、そして消化を助ける働きのある大根おろしと一緒に食べることで栄養的にも高く評価されています。福井県内には、そば打ち体験ができる施設やお店もたくさんあります。



一乗谷朝倉氏遺跡

戦国時代、朝倉氏が103年間にわたって越前の国を治めた城下町跡。福井市から南東に約10kmのところにあります。武家屋敷、寺院、町屋、職人屋敷や道路に至るまで町並がほぼ完全な姿で復元され、国の特別史跡・特別名勝に指定されています。



福井県立恐竜博物館

国内最大級の恐竜と古生物・地学専門の博物館。30体以上の恐竜全身骨格をはじめとする数百点もの標本、大型復元ジオラマや迫力満点のダイノシアター(200インチの対面スクリーン)など子供から大人まで楽しめます。



えちぜん鉄道

福井市から勝山市、坂井市を結ぶえちぜん鉄道は、永平寺や三国港、あらわ温泉など、近郊の観光地に行くことができます。日中の時間帯ではアテンダント(接客乗務員)が乗務しており、きっぷの販売なども行っています。

三国花火大会

毎年8月11日に、三国サンセットビーチで行われます。北陸最大規模の花火大会で、最大2尺の打ち上げ花火をはじめ、仕掛け花火、スターマインなど、7000発の花火が真夏の夜空を美しく染めます。中でも、北陸の夏の風物詩ともいわれる三国花火の名物、水中花火は必見。



東尋坊

奇勝として名高い東尋坊。周辺にみる断崖は迫力満点。東尋坊の魅力は、古くから名勝として称えられてきた断崖絶壁。水面から25mもの高さ(ビルの8~9階に相当)から見下ろす景色はまさに絶景。東尋坊先端に浮かぶ雄島とともに、日本の天然記念物に指定されています。

アクセス



文京キャンパス (教育地域科学部・工学部)

- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅(約10分)→福大前西福井駅 [JR福井駅東口から出て三国芦原線に乗り] ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- バス** JR福井駅(約10分)→福井大学前停留所 [JR福井駅西口から出て市内バス乗り場10番より乗車]
- タクシー** JR福井駅(約10分)→福井大学文京キャンパス [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北I.Cから国道416号線で西へ約7km または福井I.Cから国道158号線で西へ約8km



松岡キャンパス (医学部・附属病院)

- バス** JR福井駅(約35分)→福井大学病院 [JR福井駅西口から出て市内バス乗り場11番より乗車]
- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅(約20分)→松岡駅(バス約5分)→福井大学病院 ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー** JR福井駅(約30分)→福井大学松岡キャンパス [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北I.Cから北へ約4km、または丸岡I.Cから南へ約5km



敦賀キャンパス (附属国際原子力工学研究所)

- 鉄道** JR敦賀駅から徒歩約3分
- 自家用車** 北陸自動車道 敦賀I.Cから敦賀バイパス 国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

※掲載のバス停の一部に見られる「福井医大」「福井大学病院」も福井大学医学部を指します

※掲載の地図は略図のため、省略している道路等があります。



福井大学広報センター

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号
TEL.0776-27-9733 FAX.0776-27-8518

文京キャンパス(教育地域科学部・工学部)
〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

松岡キャンパス(医学部・附属病院)
〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地

敦賀キャンパス(附属国際原子力工学研究所)
〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目2街区4

<http://www.u-fukui.ac.jp>

E-mail : koho@ad.u-fukui.ac.jp



本学の許可なく、掲載の記事や写真等を複製・転写することを禁じます

入試に関するお問い合わせ

学務部入試課(教育地域科学部・工学部)
TEL.0776-27-9927
学務部松岡キャンパス学務室 入学試験係(医学部)
TEL.0776-61-8246